



～ 誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり ～

 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

令和元年度 シンクタンク事業 調査報告書

目 次

I	社協シンクタンク事業について	1
II	事業の柱【中期計画：5年間】	1
III	令和元年度実施事業	2
1	令和元年度 地域福祉分野での ICT 利活用についての調査研究「黒部市におけるスマートフォン等の活用と普及率」調査報告	7
2	令和元年度 小地域福祉活動リフォーム事業における調査研究 小地域福祉活動実態調査報告.....	25
	(1) 令和元年度『大布施納涼盆踊り』参加者アンケート調査報告.....	29
	(2) 令和元年度『大布施公民館まつり』参加者アンケート調査報告	47
3	2019年度 黒部市社会福祉法人連合会『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』調査報告	67
4	社協広報誌「福祉くろべ」読者アンケート調査報告	83
5	くろベネット ICT 実証実験における社会的受容性の調査報告 ※本調査については別冊子で作成 (「くろベU-ネット」からの名称変更)	
IV	令和2年度 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 事業計画	107

I 社協シンクタンク事業について

1 社協シンクタンクの位置づけ

社会福祉協議会の役割である地域福祉に関する調査・研究機能をより高めるために、情報の集積、分析、研究、事業化への企画立案を行うものである。

「人（ヒト）」・「物（モノ）」・「資金（カネ）」をより効果的に活かすために、中長期のスパンで「時（トキ）」と「情報（過去・未来）」の概念を加えた、地域福祉の将来像を探っていくことが目的である。

○シンクタンクとは

シンクタンクとは、政治、経済、科学技術など、幅広い分野にわたる課題や事象を対象とした調査・研究を行い、結果を発表したり解決策を提示したりする研究機関。think tank という言葉通り、頭脳集団などと表現されることもある。

II 事業の柱【中期計画：5年間】

1 「人（ヒト）」・・・担い手、人材育成

- (1) 黒部市内での人材育成に関する調査分析
- (2) 各種研修に一貫した人材育成プランをもとに見直しと修正を行う。

2 「物（モノ）」・・・事業、政策

- (1) 第9回全国校区・小地域福祉活動サミットの開催並びに開催後の社会的インパクトの評価
- (2) 地域福祉、地域包括ケアの拠点となる場の整備計画
(=「地域福祉推進の拠点に関するあり方検討委員会」)

3 「資金（カネ）」・・・地域福祉財源、共同募金、社協自主財源

- (1) 事業計画と資金計画（ファンドレイジングプラン）の整合性
資金計画は、行政補助に限らず、民間助成金や地域福祉財源である共同募金の強化、活用しながら必要とされる事業へ必要な資金を投資できる環境を整備していく。

4 「情報（過去・未来）」・・・情報の蓄積、分析、研究

- (1) 小地域福祉活動研究会の設置
平成27年11月のサミット開催に向けての前後を含めた3年間、小地域での福祉活動にスポットを当てた研究会を設置する。市町村・県社協職員や福祉関係、NPO、企業、行政など分野を問わず興味関心がある方を募る。また、外部有識者を交え分析と研究を

高める。

(2) 地域福祉調査

地区単位で行われている地域活動の過去から現在までの情報を収集し整理する。また将来の人口動向や社会変化などを予測しながら地域の将来像を探っていく。そのデータは研究会等で分析・研究したものを市民に公開していく。

5 「時（トキ）」・・・中長期ビジョン、事業計画の立案

(1) 社協基盤強化計画

黒部市社会福祉大会決議からなる中期ビジョン、単年度事業計画までの一貫性。それに基づく社協の基盤強化計画への落とし込みを行う。

III 令和元年度実施事業

1 令和元年度 地域福祉分野での ICT 利活用についての調査研究「黒部市におけるスマートフォン等の活用と普及率」調査

○調査期間

令和元年 9 月 21 日、9 月 22 日

○調査対象

くろべフェア来場者（一般市民）

○調査分析方法

（調査方法）

アンケート調査

（実施方法）

くろべフェアの開催に合わせ、来場者にアンケートを依頼し回収

（回 収）

回収数—200 枚

○実施主体

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 総務課 経営戦略係

2 令和元年度 小地域福祉活動リフォーム事業における調査研究 小地域福祉活動実態調査

(1) 令和元年度『大布施納涼盆踊り』参加者アンケート調査

○調査期間

令和元年 8 月 14 日

○調査対象

- ①大布施納涼盆踊り来場者（一般市民）
- ②大布施納涼盆踊り実行委員並びにイベント担当者

○調査分析方法

（調査方法）

アンケート調査

（実施方法）

大布施納涼盆踊りの開催に合わせ、来場者にアンケートを依頼し回収

（回収）

- ①回収数—93 枚
- ②回収数—46 名

○実施主体

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 総務課 経営戦略係

(2) 令和元年度『大布施公民館まつり』参加者アンケート調査

○調査期間

令和元年 11 月 10 日

○調査対象

- ①大布施公民館まつり来場者（一般市民）
- ②大布施公民館まつり実行委員並びにイベント担当者

○調査分析方法

（調査方法）

アンケート調査

（実施方法）

大布施公民館まつりの開催に合わせ、来場者にアンケートを依頼し回収

（回収）

- ①回収数—98 枚
- ②回収数—31 名

○実施主体

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 総務課 経営戦略係

3 2019 年度 黒部市社会福祉法人連合会『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』調査

○調査期間

令和元年 12 月 21 日

○調査対象

黒部市社会福祉法人連合会主催「ふくし丸ごと合同相談会」来場者

○調査分析方法

(調査方法)

アンケート調査

(実施方法)

ふくし丸ごと合同相談会（黒部市福祉センター一年越しまつり）開催に合わせ、来場者にアンケートを依頼し、相談員と共に回答してもらう。

(回収)

回収数—100 枚

○実施主体

黒部市社会福祉法人連合会事務局（社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会）

4 社協広報誌「福祉くろべ」読者アンケート調査

○調査期間

令和元年 11 月 26 日～令和 2 年 1 月 7 日

○調査対象

令和元年度共同募金 福祉くろべ送付団体 38 団体

令和元年度賛助会員 福祉くろべ送付団体 41 団体

地区社協 16 団体

市内小中学校、保育施設、福祉施設など 49 団体

県社協（他市町村社協含む）16 団体

計 160 団体

一般市民（福祉くろべ 12 月号・黒部市社会福祉協議会ホームページに掲載）

○調査分析方法

(調査方法)

アンケート調査

(実施方法)

福祉くろべ 12 月号(No. 165)の送付に合わせ、アンケート用紙を 1 団体(施設)に 3 枚ずつ送付し、本会へ返送

(回収)

回収団体・個人—27 団体・20 個人

回収数—187 枚

○実施主体

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 総務課 経営戦略係

5 くろベネット ICT 実証実験における社会的受容性の調査報告 ※本調査については別冊子で作成 （「くろベUーネット」からの名称変更）

○調査期間

令和元年9月24日～令和2年1月18日

○調査対象

- ・要支援者（実証実験対象者）：荻生地区20名、下立地区20名
- ・実験対象者の中心的な支援者：
荻生地区民生委員児童委員8名、下立地区民生委員児童委員5名
- ・実証に関わったサービス提供協力者：
商工会議所青年部5名、生活協同組合職員1名
- ・社協職員15名

○調査分析方法

（調査方法）

ヒアリング及びアンケート調査

（実施方法）

くろベネット ICT 実証実験に関わった要支援者（実証実験の対象者）40名と支援者となる民生委員や地区関係者、並びにサービス提供に関わる企業や団体からヒアリングやアンケート調査を行った。

○実施主体

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 総務課 経営戦略係

令和元年度 地域福祉分野での ICT 利活用についての調査研究
「黒部市におけるスマートフォン等の活用と普及率」

調査報告書

令和元年 1 1 月

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

1 アンケート調査目的

黒部市社会福祉協議会では、ICT の力を地域福祉分野に利活用していく可能性について、平成29年度より調査を開始し研究事業を進めている。

この調査では、市民のスマートフォンの所有状況や活用手段、各世帯における IT 環境の現状を調べ、地区、地域福祉分野への ICT の利活用をどの角度から取り組むことができるか等を検討することを目的としている。

2 調査対象

一般市民 200 名(くろべフェア来場者)

3 調査実施期間

令和元年 9 月 21 日～令和元年 9 月 22 日

4 アンケート調査方法

くろべフェア(9月21日、22日)の開催に合わせ、来場者にアンケートを依頼し、回答してもらう。

回収： 回収—くろべフェア 200 枚

対象者数	有効回答者数	有効回答率
200 名	200 名	100.0%

5 調査結果まとめ

今回のアンケート調査では、くろべフェア来場者 200 名より回答を得ることができた。市内に限らず、市外及び県外在住者からの回答もあったが、全体 200 名と市内在住者 150 名のスマホ所有率に大きな差異はなく、結果全体に大きな影響をもたらすことはないと考ええる。

<設問に対する回答結果>

1. 「スマートフォン(スマホ)」を持っていますか

「持っている」が全体の約 8 割、「持っていない」が約 2 割であった。さらに年代別でみると、20 代は 100%、30 代、40 代は約 9 割、50 代が約 8 割、60 代が約 7 割、70 代が約 5 割所有していた。年代が高くなるにつれて所有率は低くなってはいるが、2 年前と比較し、30 代～70 代以上の所有率が各段に上がっていた。

2. 「アプリケーション(アプリ)」を使っていますか (1で持っていると答えた方)

「はい」が 91.5%と高く、スマホ所有者のほとんどがアプリを使用していた。

3. どのようなアプリをよく使いますか (2ではいと答えた方)

「LINE」が最も多く全体の約 8 割、「Google」、「カメラ」、「Yahoo」、「YouTube」が約 4～5 割、「Facebook」、「Instagram」が約 3 割使われていた。さらによく使用するアプリを年代別にみると、どの年代にも多く使用されていたのが、「Google」、「LINE」、「カメラ」で、年代で大きな差があったアプリは、「Twitter」、「Instagram」、「ゲームアプリ」で、20 代の使用が圧倒的に多かった。その他、「YouTube」は 30 代以下、「Facebook」は 40 代以下の使用が多かった。これについては、2年前の結果と大きな変化は見られなかった。

4. 「スマホのアプリ」機能について (2ではいと答えた方)

「大変便利である」が約 6 割、「まあまあ便利である」が約 3 割と全体の約 9 割が便利と感じていることがわかった。

5. 月々どれくらい使用料をお支払いされていますか

3,001 円～4,000 円代が 1 番多かったが、特定の金額に大きく偏ることはなかった。ただ、1 円～3,000 円代の人もいれば、9,001 円～10,000 円以上通信費がかかっている人もあった。

6. 今後スマホを持つ予定はありますか(1で持っていないと答えた方)

スマホ未所有者で、今後スマホを「持つ予定がある」が約 1 割、「迷っている」が約 3 割であった。一方で、スマホ未所有者の約 5 割は「今後も持つ予定はない」と回答し、そのうちの約半分は 70 代と 80 代であったが、30 代～60 代からも今後も所有しないと回答があった。

7. スマホを持つ予定のない方の理由は(6で持つ予定はないと答えた方)

約 8 割が「今持っている機器で事が足りている」と回答し、スマホがなくても不便ではないと感じていた。

8. スマホを持つか迷っている方の理由は(6で迷っていると答えた方)

約 4 割が「いずれ使ってみたいが、今は必要性をあまり感じない」、「使い方を教えてもらえるなら使ってみたい」と回答し、約 6 割が「料金がもう少し安ければ使ってみたい」と、迷う理由として料金の問題が大きいことがわかった。

9. ご自宅に固定電話は設置されていますか

「はい」が7割、「いいえ」が 3 割であった。

◎スマホの所有状況及び年代別固定電話設置状況

スマホを所有している 20 代、30 代の約 6 割は固定電話を設置していなかった。

逆に 40 代～60 代はスマホと固定電話両方を所有している世帯が約 6 割あった。70 代、80 代は 100%設置されていた。

10. 現在どのような場面で使っていますか(9ではいと答えた方)

「電話があれば受けている」が約 8 割、「電話を掛ける時に使用している」が約 3 割と電話を受ける目的での使用が多く、かける目的での使用は少なかった。その他、全体の約 1 割は「ほとんど使っていない」と答えていた。

11. 現在どのような場面で使っていますか(9ではいと答えた方)

「連絡手段として必要なので引き続き設置しておく」が約 5 割、「あまり使っていないが必要な時もあるので解約はしない」が約 3 割と、スマホは普及してきてはいるが固定電話所有者の全体の約 8 割は固定電話の設置は必要としていることがわかった。

12. 現在所有している通信機器は

「携帯(ガラケー)」が 23.5%、「パソコン」が 67.5%、「タブレット」が 31.0%、「FAX」が 11.5%であった。

<回答者情報>

13. 住んでいる地域

居住地は、約 7 割が市内、約 2 割が市外、票数は少ないが県外在住者からも回答が得られた。

14. 性別

回答者の性別は、男性が 30%、女性が 70%であった。

15. 年代

年代は、30 代～40 代が多く全体の約 5 割、50 代～60 代が約 3 割占めていた。全体的に 20 代～80 代まで満遍なく回答を得ることができた。

16. 職業

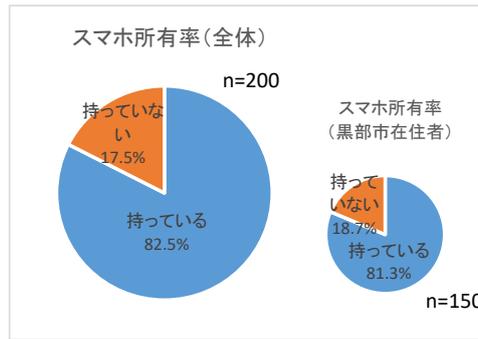
職業は、全体の約 4 割が会社員で、次いで主婦、パート・アルバイトが多かった。

アンケート結果報告書

「スマートフォンの活用と普及率に関する」調査

1. 「スマートフォン（スマホ）」を持っていますか

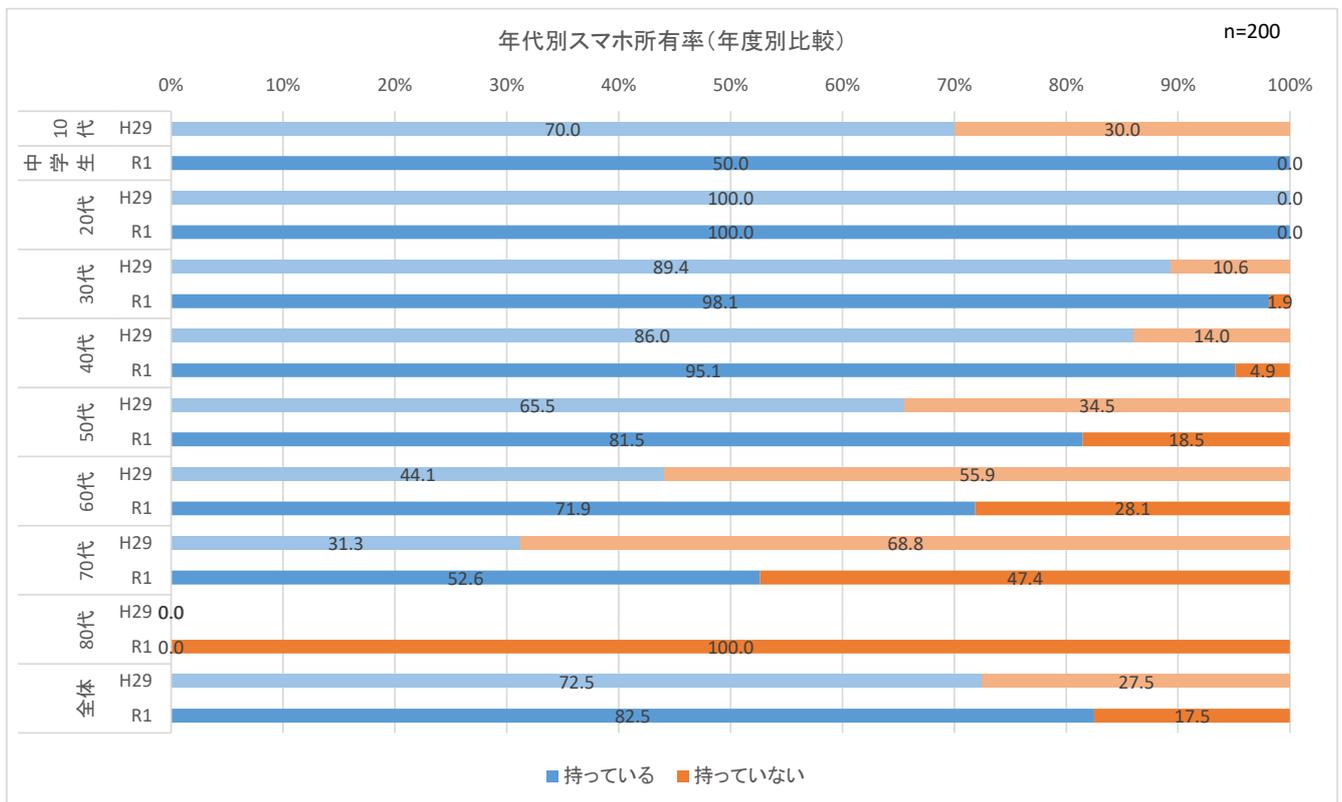
	回答(人)	%
持っている	165	82.5
持っていない	35	17.5
全体	200	100.0



○年代別スマホ所有率（年度別比較）

年代	中学生	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
持っている	2	16	53	39	22	23	10	0	165
持っていない	2	0	1	2	5	9	9	7	35
全体	4	16	54	41	27	32	19	7	200

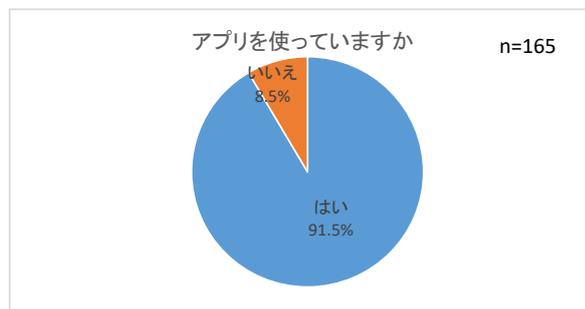
※無回答の年代は除く



問1でスマホを「持っている」とお答えの方

2. 「アプリケーション（アプリ）」を使っていますか

	回答(人)	%
はい	151	91.5
いいえ	14	8.5
全体	165	100.0

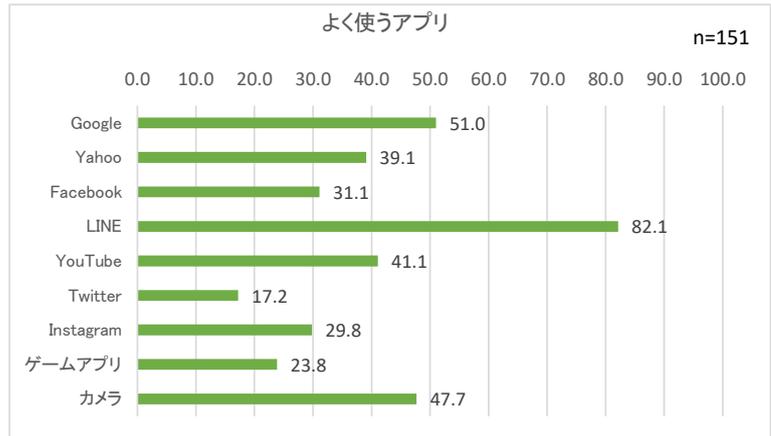


問2ではいとお答えの方

3. どのようなアプリをよく使いますか（複数回答可）

151 名中

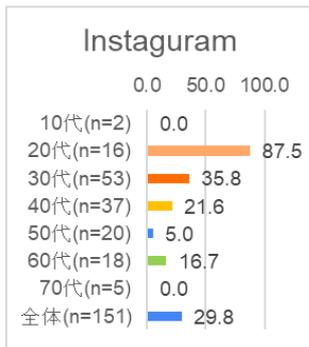
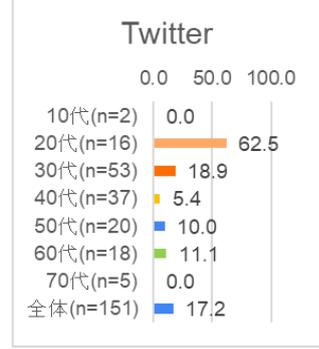
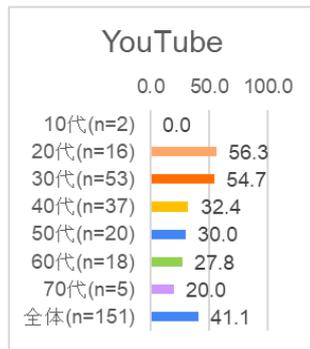
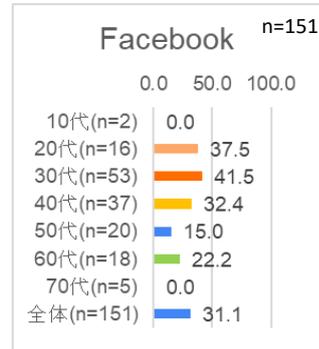
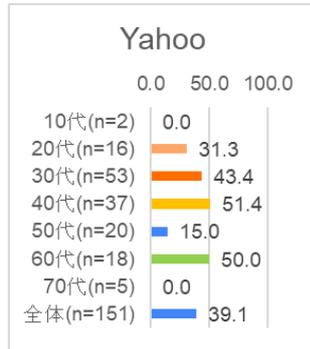
使用アプリ	回答(人)	%
Google	77	51.0
Yahoo	59	39.1
Facebook	47	31.1
LINE	124	82.1
YouTube	62	41.1
Twitter	26	17.2
Instagram	45	29.8
ゲームアプリ	36	23.8
カメラ	72	47.7
その他	3	2.0



【その他】

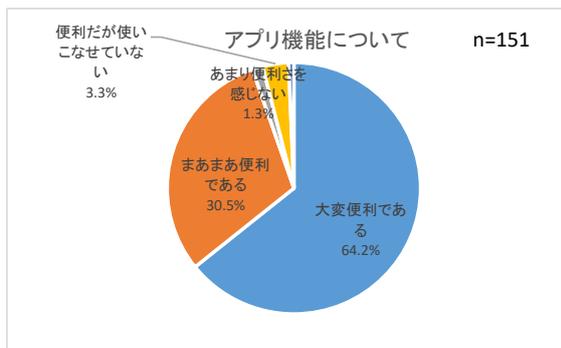
- ・交通機関検索
- ・服薬管理アプリ
- ・グーグルマップ

○年代別アプリ利用率



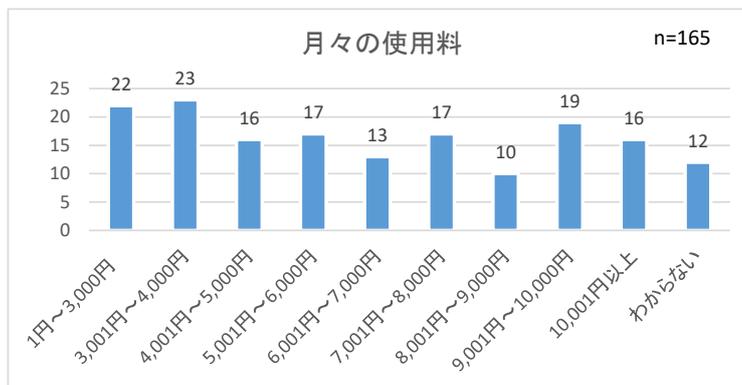
4. 「スマホのアプリ」機能について

	回答 (人)	%
大変便利である	97	64.2
まあまあ便利である	46	30.5
あまり便利さを感じない	2	1.3
便利だが使いこなせていない	5	3.3
無回答	1	0.7
全体	151	100.0



5. 月々どれくらい使用料をお支払いされていますか

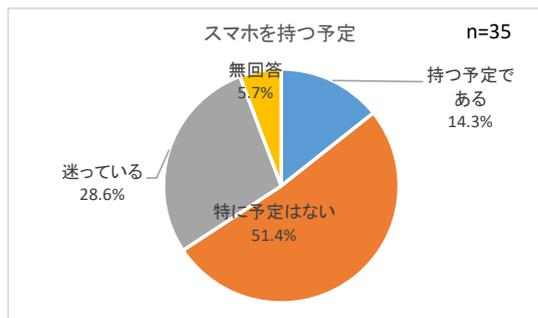
	回答 (人)	%
1円～3,000円	22	13.3
3,001円～4,000円	23	13.9
4,001円～5,000円	16	9.7
5,001円～6,000円	17	10.3
6,001円～7,000円	13	7.9
7,001円～8,000円	17	10.3
8,001円～9,000円	10	6.1
9,001円～10,000円	19	11.5
10,001円以上	16	9.7
わからない	12	7.3
全体	165	100.0



問1でスマホを「持っていない」とお答えの方

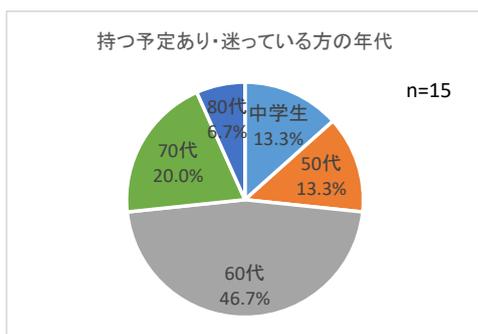
6. 今後、スマホを持つ予定はありますか

	回答 (人)	%
持つ予定である	5	14.3
特に予定はない	18	51.4
迷っている	10	28.6
無回答	2	5.7
全体	35	100.0



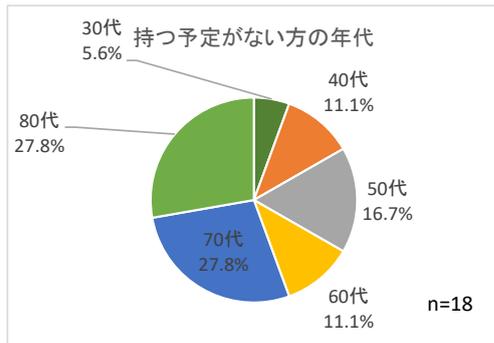
○持つ予定である、迷っている方の年代別比率

年代	中学生	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
持つ予定あり・迷っている	2	0	0	0	2	7	3	1	15



○持つ予定がない方の年代別比率

年代	中学生	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
持つ予定なし	0	0	1	2	3	2	5	5	18



問6で特に予定はないとお答えの方

7. 具体的な理由があればお聞かせください(複数回答可)

18 名中

	回答(人)	%
今持っている機器で事が足りている	15	83.3
お金がかかる	6	33.3
使い方がむずかしそう	6	33.3
必要ないと家族や知人に言われている	0	0.0



問6で迷っていると答えの方

8. 具体的な理由があればお聞かせください(複数回答可)

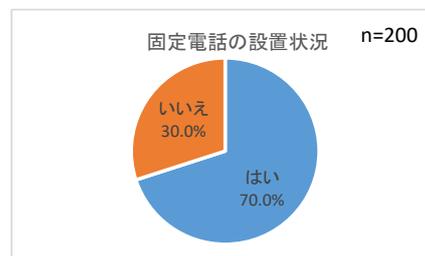
10 名中

	回答(人)	%
使い方を教えてもらえるなら使ってみたい	4	40.0
料金がもう少し安ければ使ってみたい	6	60.0
いずれ使ってみたいが、今は必要性をあまり感じない	4	40.0

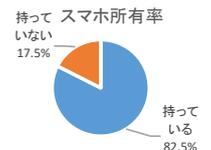
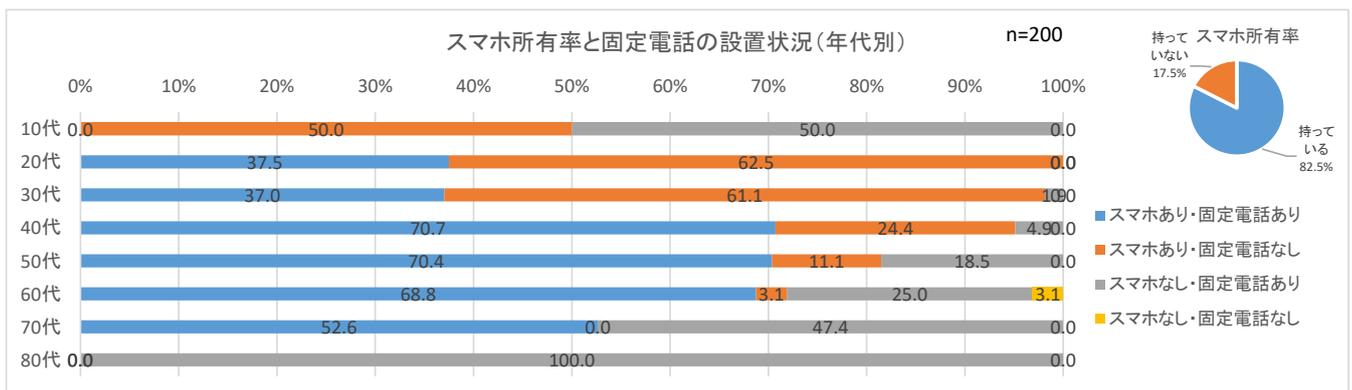


9. ご自宅に固定電話は設置されていますか

	回答(人)	%
はい	140	70.0
いいえ	60	30.0
全体	200	100.0



◎スマホの所有状況及び年代別固定電話設置状況

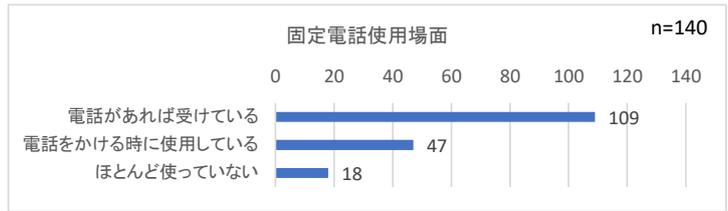


- スマホあり・固定電話あり
- スマホあり・固定電話なし
- スマホなし・固定電話あり
- スマホなし・固定電話なし

問9で「はい」とお答えの方

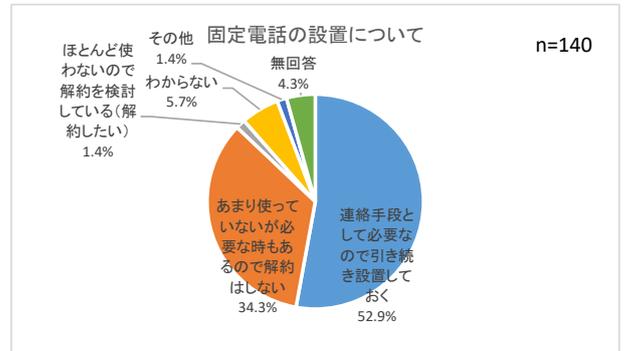
10.現在どのような場面で使っていますか(複数回答可)

140 名中		
	回答(人)	%
電話があれば受けている	109	77.9
電話をかける時に使用している	47	33.6
ほとんど使っていない	18	12.9



11.今後の固定電話の設置について

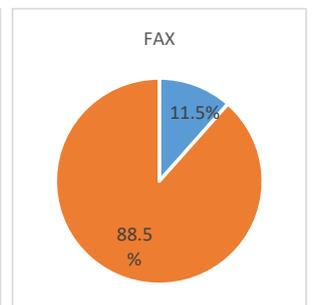
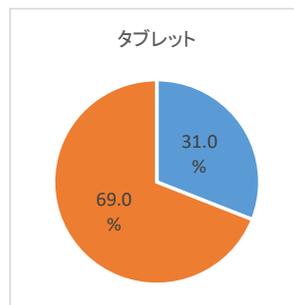
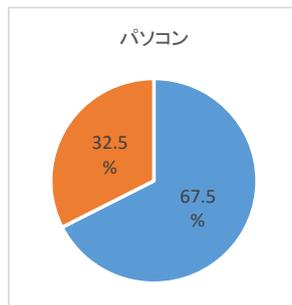
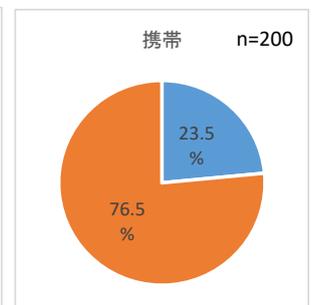
140 名中		
	回答(人)	%
連絡手段として必要なので引き続き設置しておく	74	52.9
あまり使っていないが必要な時もあるので解約はしない	48	34.3
ほとんど使わないので解約を検討している(解約したい)	2	1.4
わからない	8	5.7
その他	2	1.4
無回答	6	4.3
全体	140	100.0



12. 所有している通信機器

○全回答者の電子機器所有状況

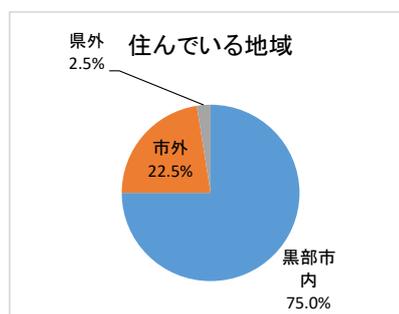
200 名中		
所有機器	所有台数	%
スマートフォン	165	82.5
固定電話	140	70.0
携帯	47	23.5
パソコン	135	67.5
タブレット	62	31.0
FAX	23	11.5



<回答者情報>

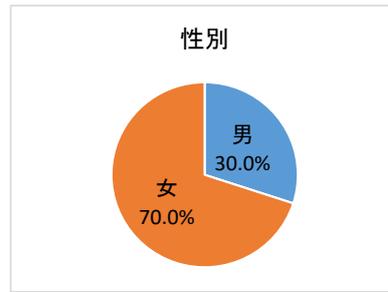
13.住んでいる地域

	回答(人)	%
黒部市内	150	75.0
市外	45	22.5
県外	5	2.5
全体	200	100.0



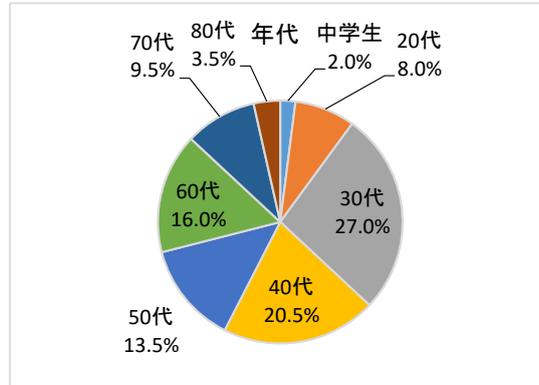
14.性別

	回答(人)	%
男	60	30.0
女	140	70.0
全体	200	100.0



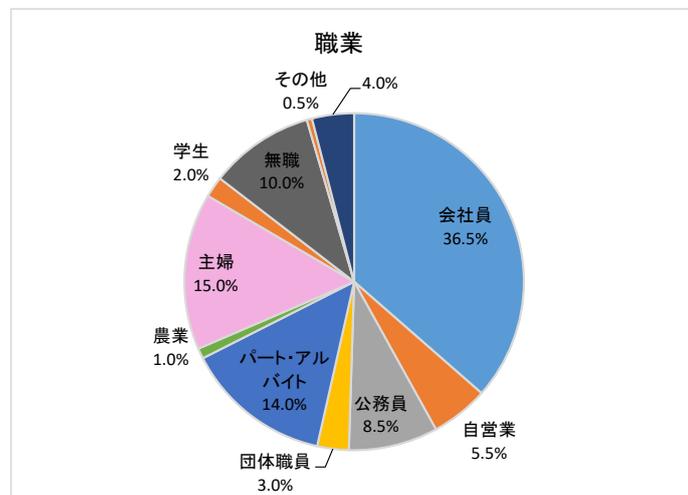
15.年代

	回答(人)	%
中学生	4	2.0
20代	16	8.0
30代	54	27.0
40代	41	20.5
50代	27	13.5
60代	32	16.0
70代	19	9.5
80代	7	3.5
全体	200	100.0



16.職業

	回答(人)	%
会社員	73	36.5
自営業	11	5.5
公務員	17	8.5
団体職員	6	3.0
パート・アルバイト	28	14.0
農業	2	1.0
主婦	30	15.0
学生	4	2.0
無職	20	10.0
その他	1	0.5
無回答	8	4.0
全体	200	100.0



【その他】専門職

17. その他、黒部市社協に対する皆さまの率直なご意見等をお聞かせください。

- いつもありがとうございます。
- いつもお世話になっております。
- いろんな所で活躍されていて有り難いなぁと思います。
- プラント3ができるので人が集まりそうでこれからいろんなイベントが増えたらいいな
- みなさん優しいです。
- もうすぐお世話になります。
- 協力をしたいと思います。
- 高齢になったので社協さんにお世話になる事が多いと思うのでよろしく願う気持ちです。
- 今後もがんばってください。
- 色々な情報を発信してください。
- 大変がんばっておられると思います。
- 大変良い活動です。
- 地域福祉になるべく協力しています。

アンケートフォーマット

◎固定電話・その他機器の所有について

問9 ご自宅に固定電話は設置されていますか

- はい →問10へ
 いいえ →問12へ

問10 問9で「はい」と答えた方にお聞きします。現在、どのような場面で使っていますか。

- 電話があれば受けている (複数回答可)
 電話をかける時に使用している
 ほとんど使っていない
 その他 ()

問11 今後の固定電話の設置について、**最もあてはまるものを1つ**お選びください。

- 連絡手段として必要なので引き続き設置しておく
 あまり使っていないが必要な時もあるので解約はしない
 ほとんど使わないので解約を検討している (解約したい)
 わからない
 その他 ()

問12 その他、所有している通信機器をお聞かせください。(複数回答可)

- 携帯(ガラケー) パソコン タブレット FAX

◎あなた自身の情報について

問13 今日はどちらから参加されましたか。

- 黒部市内 市外 県外

問14 性別をお聞かせください。

- 男性 女性

問15 年代をお聞かせください。

- 小学生 中学生 高校生 大学生(短大・専門学校含む)
 20代 30代 40代 50代
 60代 70代 80代以上

問16 職業をお聞かせください。

- 会社員 自営業 公務員 団体職員
 パート・アルバイト 農業 主婦
 学生 無職 その他 ()

問17 黒部市社協に対する皆さまの率直なご意見等をお聞かせください。

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

お答えいただいた内容を、今後の福祉事業の効率化に役立ててまいります。

令和元年度 地域福祉分野での ICT 利活用についての調査研究
「黒部市におけるスマートフォン等の活用と普及率」

調査報告書

発 行 令和元年 11 月

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp

令和元年度 黒部市社会福祉協議会

小地域福祉活動リフォーム事業における調査研究

小地域福祉活動実態調査報告書

令和元年 1 1 月

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

(富山県社協：市町村社協総合力強化事業)

この調査は、コミュニティーサポートプログラム（CSP）の開発に向けての基礎調査として大布施地区をモデル地区とし、現在実施している事業について、参加者への意識調査を行うものである。

1 「大布施納涼盆踊り」参加者アンケート調査

- (1) 「大布施納涼盆踊り」来場者向け
- (2) 「大布施納涼盆踊り」実行委員・イベント担当者向け

2 「大布施公民館まつり」参加者アンケート調査

- (1) 「大布施公民館まつり」来場者向け
- (2) 「大布施公民館まつり」実行委員・イベント担当者向け

3 資料：アンケートフォーマット

1 アンケート調査目的

黒部市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせるやさしいまちづくり」を目指し、第3次地域福祉活動計画の活動方針（5GORLS 黒部）と共に、3つの重点事業に取り組んでいる。

この調査では、重点項目の1つに挙げられている「小地域福祉活動の強化」に向け、今年度、大布施地区をモデル地区とし、これまで実施されてきた事業を整理し、時代のニーズに合った小地域活動が展開できるよう活動のリフォーム(小地域リフォーム事業)を検討している。既存事業や活動において、活動担当者、参加者からの意見を集約し、今後どのような形で事業に取り組むべきか等を検討することを目的としている。

2 調査対象

- (1) 一般市民 約 100 名（大布施納涼盆踊り来場者）
- (2) 一般市民 約 100 名（大布施公民館まつり来場者）
- (3) 両イベント実行委員・イベント担当者 約 40 名

3 調査実施期間

- (1) 令和元年 8 月 14 日（大布施納涼盆踊り）
- (2) 令和元年 11 月 10 日（大布施公民館まつり）

4 アンケート調査方法

大布施納涼盆踊り（8月14日）と大布施公民館まつり（11月10日）に来場された方及び実行委員・イベント担当者にアンケートを依頼し、回答してもらう。

回収：(1) 大布施納涼盆踊り

- ①一般市民（来場者） 93 名
- ②実行委員・イベント担当者 46 名

(2) 大布施公民館まつり

- ①一般市民（来場者） 98 名
- ②実行委員・イベント担当者 31 名

5 調査結果まとめ

※別紙調査結果参照

令和元年度

『大布施納涼盆踊り』参加者アンケート
調査報告書

(1) 「大布施納涼盆踊り」来場者向け

(2) 「大布施納涼盆踊り」実行委員・イベント担当者向け

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

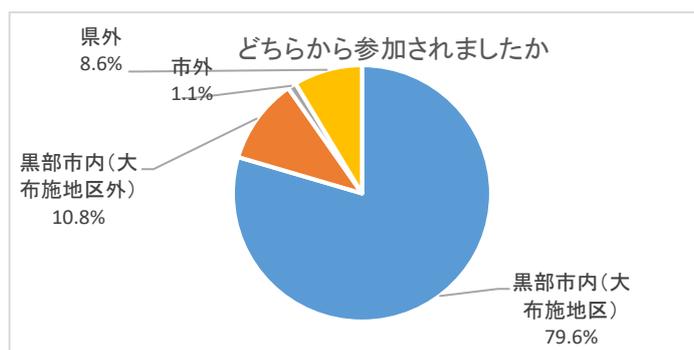
「大布施納涼盆踊り」来場者アンケート調査結果

調査依頼者総数…93名

◎盆踊りの参加について

1. どちらから参加されましたか

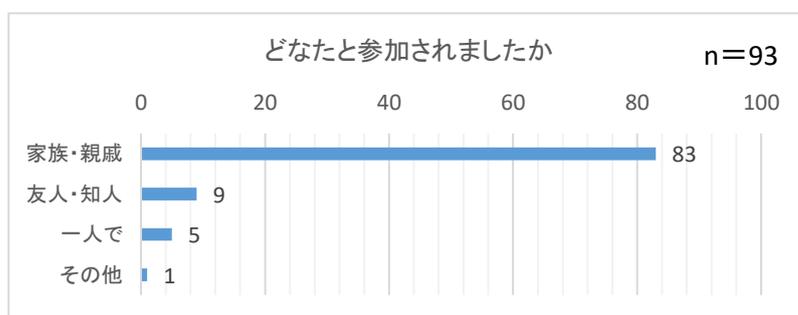
	回答数	%
黒部市内（大布施地区）	74	79.6
黒部市内（大布施地区外）	10	10.8
市外	1	1.1
県外	8	8.6
全体	93	100.0



大布施地区からの参加が79.6%と最も多く、県外からの参加も8.6%(8名)あった。

2. どなたと参加されましたか(複数回答可)

	回答数
家族・親戚	83
友人・知人	9
近所の方	0
一人で	5
その他	1

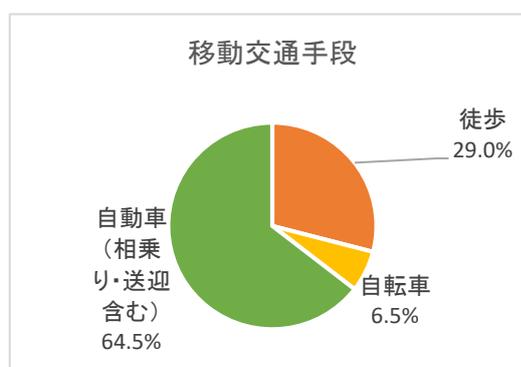


【その他】女性委員

約9割が「家族・親戚」との参加であった。

3. どのように来られましたか（移動交通手段）

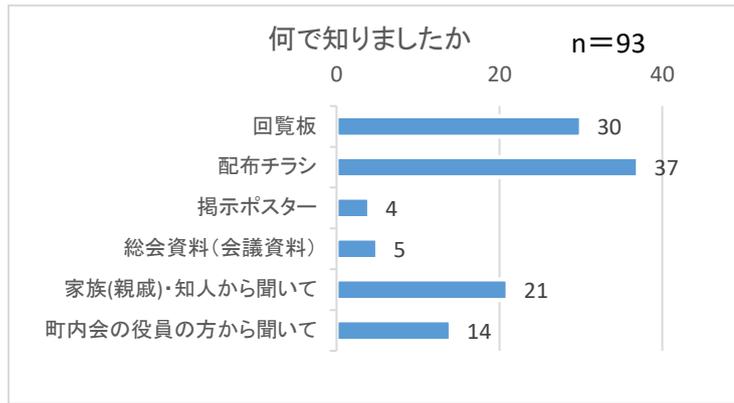
	回答数	%
徒歩	27	29.0
自転車	6	6.5
バイク	0	0.0
セニアカー	0	0.0
自動車（相乗り・送迎含む）	60	64.5
公共交通機関（電車・バス）	0	0.0
全体	93	100.0



自動車が64.5%と最も多く、次いで徒歩が29.0%、自転車が6.5%であった。この結果からも、駐車スペースの確保がイベント開催には重要で、大きな影響を与えていることがうかがえる。

4. 日程は、何で知りましたか(複数回答可)

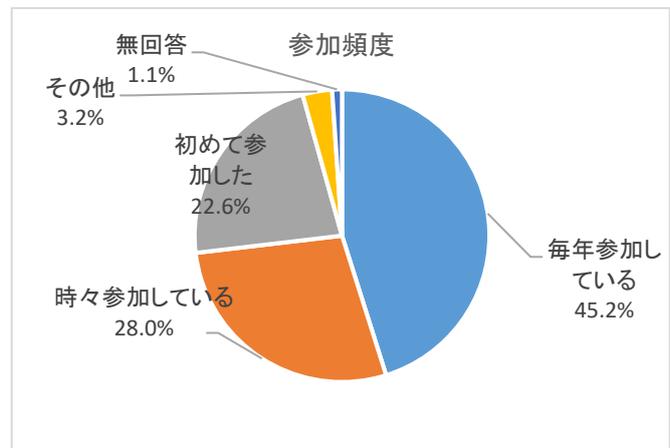
	回答数
回覧板	30
配布チラシ	37
掲示ポスター	4
総会資料(会議資料)	5
ご近所の方から聞いて	0
家族(親戚)・知人から聞いて	21
町内会の役員の方から聞いて	14



「回覧板」や「配布チラシ」によって情報を知り、参加された方が全体の約6割で、広報によるPRの重要性がうかがえる。

5. 参加頻度

	回答数	%
毎年参加している	42	45.2
時々参加している	26	28.0
役員の年だけ参加している	0	0.0
初めて参加した	21	22.6
その他	3	3.2
無回答	1	1.1
全体	93	100.0



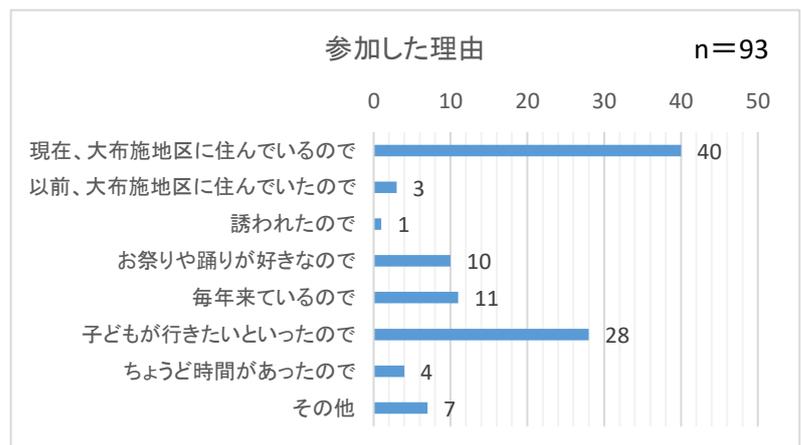
【その他】

- ・踊りにはまだ参加したことがない(3名)

「毎年参加している」が45.2%、「時々参加している」が28.0%であった。また、22.6%(21名)が初めての参加であった。

6. 参加した理由

	回答数
現在、大布施地区に住んでいるので	40
以前、大布施地区に住んでいたため	3
誘われたので	1
お祭りや踊りが好きなので	10
毎年来ているので	11
子どもが行きたいといったので	28
ちょうど時間があつたので	4
その他	7



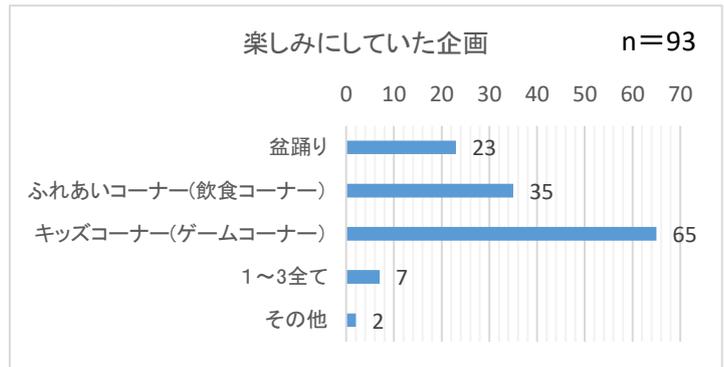
【その他】

- ・ 割引券をもらったので
- ・ 家族が三味線に参加しているから
- ・ ママが働いているから
- ・ 太鼓をたたくので参加
- ・ 姉が近くに住んでいるので
- ・ 行きたかったから(来たかったから)
- ・ 県外から来てて昔がなつかしくて

大布施地区に住んでいる(40名)、子どもが行きたいといった(28名)ことがきっかけで参加している人が多かった。

7. どの企画を楽しみに参加されましたか(複数回答可)

	回答数
盆踊り	23
ふれあいコーナー(飲食コーナー)	35
キッズコーナー(ゲームコーナー)	65
1～3全て	7
その他	2



【その他】

- ・ 越中おわら節を楽しみに(2名)
- ・ 無料コーナー (4名)

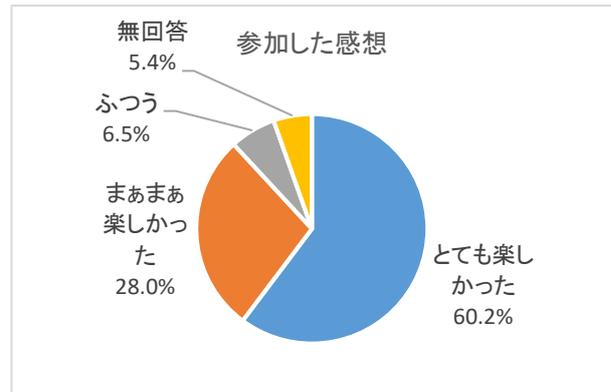
アンケートの約3割は、小学生からの回答である中、キッズコーナーを楽しみに参加された人が約6割と、小学生に限らず、子ども向けの企画を楽しみに参加していることがうかがえる。

8. 納涼盆踊りの企画として今後取り入れてほしいこと

- ・ スイカの種飛ばし大会
- ・ ちびっこ用で簡単なものを
- ・ 子どもが楽しめること
- ・ 抽選会
- ・ 宝探し
- ・ フードコートがもう少し多ければよい。飲食物の売り上げも伸びると思う。
- ・ 手打ちそばは完売でいつも食べそびれているので残念
- ・ 昔の行灯みたいな作品を展示する。学校で作った作品でもよい。
- ・ 今まで通りでも十分楽しいと思うが、盆踊りに参加する人がもう少し多いとよいと思う。
- ・ 若い人達にも多く参加してほしい。
- ・ 都会からきて参加したため、よくわからない。

9. 納涼盆踊りに参加した感想

	回答数	%
とても楽しかった	56	60.2
まあまあ楽しかった	26	28.0
ふつう	6	6.5
あまり楽しくなかった	0	0.0
全然楽しくなかった	0	0.0
無回答	5	5.4
全体	93	100.0

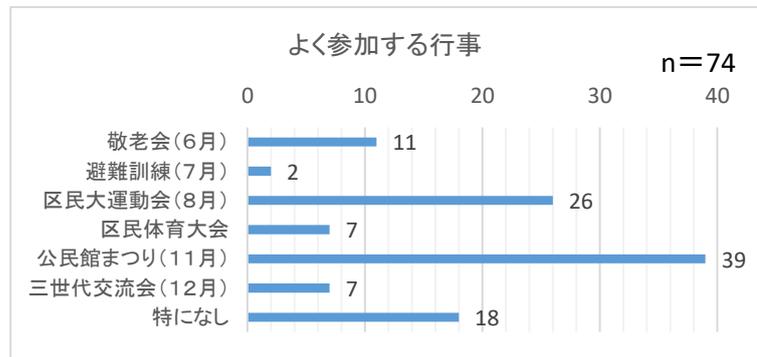


「とても楽しかった」が60.2%、「まあまあ楽しかった」が28.0%と参加者の約9割は、納涼祭を楽しかったと感じていることがうかがえる。

◎地区行事について（設問10～13は大布施地区在住者のみ回答）

10. 納涼盆踊り以外に大布施地区の行事でよく参加する行事

	回答数
敬老会（6月）	11
避難訓練（7月）	2
区民大運動会（8月）	26
区民体育大会	7
公民館まつり（11月）	39
三世代交流会（12月）	7
特になし	18



「公民館まつり(39票)」が最も多く、次いで「区民大運動会(26票)」であった。納涼盆踊りに引き続き、公民館まつりへの参加も高いことがうかがえる。

11. 今後、地区で取り入れてほしい行事（内容）

- ・お楽しみ会
- ・バーベキュー大会
- ・餅つき
- ・魚のつかみ取り
- ・健康マージャン大会
- ・楽しい催しなら大歓迎
- ・皆が楽しめること
- ・子どもが楽しめるものがあるとうれしい
- ・子ども中心のこと
- ・他地区からで取り入れたものに参加したい。
- ・公民館祭りを拡大し、芸術文化祭的にする。
- ・公民館まつりの内容の検討、マンネリしている。

12.地区行事に参加してもらうためのアイデア

- ・子どものゲームが色々あればよい
- ・一人一つ景品を渡す
- ・参加型のイベントなら何でも可
- ・近所の呼びかけ
- ・SNS等での情報発信
- ・ネットやSNSなど気軽に情報が見られたら良い。
- ・宣伝、PRをして、昔のように他地区の参加を呼び掛けると若者が集まるのでは

13.その他、地区の行事全体に対するご意見ご感想

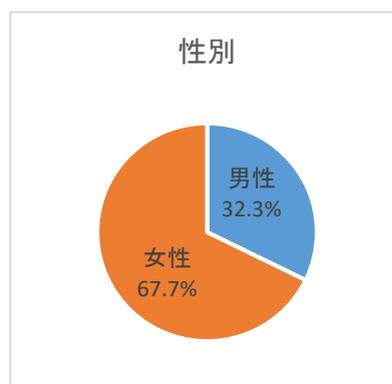
- ・いつも楽しいです。
- ・いつも楽しみにしています。
- ・いつも盛り上がっていて楽しいと思います。
- ・このようにやっている地区が少ないので団結力があると感じている。
- ・関係者の皆様、ご苦労様です。
- ・盆踊りをしている地区は県内でもとても貴重です。これからも後世につなげていってほしいです！

◎回答者情報

14.性別

	回答数	%
男性	30	32.3
女性	63	67.7
全体	93	100.0

回答者の性別は、男性が32.3%、女性が67.7%であった。

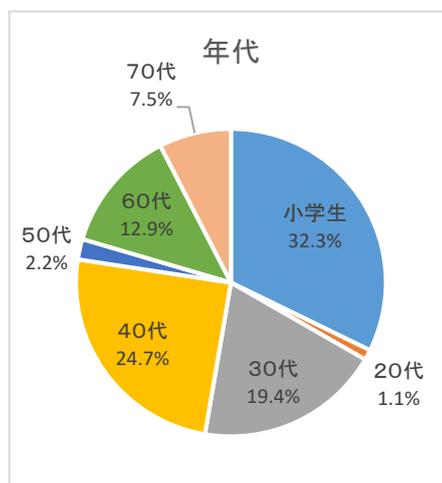


15.年代

	回答数	%
小学生	30	32.3
20代	1	1.1
30代	18	19.4
40代	23	24.7
50代	2	2.2
60代	12	12.9
70代	7	7.5
全体	93	100.0

※回答者なしの年代は省略している

回答者の年代は、小学生が32.3%、30～40代が44.1%、50～60代が15.1%と、小学生とその親世代の回答(参加)が多かった。中高大学生、80代以上の回答はなかった。



「大布施納涼盆踊り」実行委員・イベント担当者向けアンケート調査結果

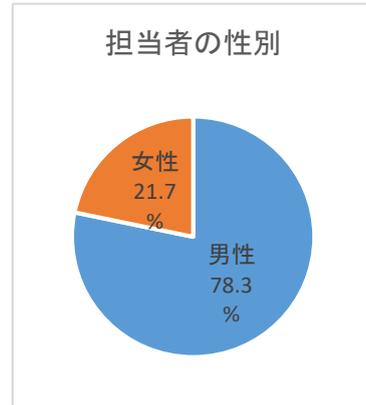
回答者数…46名

◎回答者情報

1. 担当者の性別

	回答数	%
男性	36	78.3
女性	10	21.7
全体	46	100.0

回答者の性別は、男性が78.3%、女性が21.7%であった。



2. 担当者の年代

	回答数	%
30代	2	4.3
40代	9	19.6
50代	9	19.6
60代	19	41.3
70代	7	15.2
全体	46	100.0

※回答者なしの年代は省略している

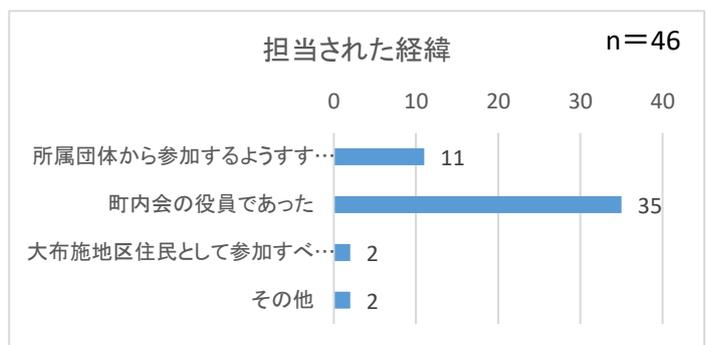
回答者の年代は30代～70代と幅広く、中でも60代が41.3%と最も多かった。



3. 今回納涼盆踊りの実行委員並びにイベント担当になられた経緯は（複数回答可）

	回答数
所属団体から参加するようすすめられた	11
町内会の役員であった	35
個人的に参加したく希望した	0
大布施地区住民として参加すべきだと思った	2
その他	2

【その他】 児童会役員、欠員補充

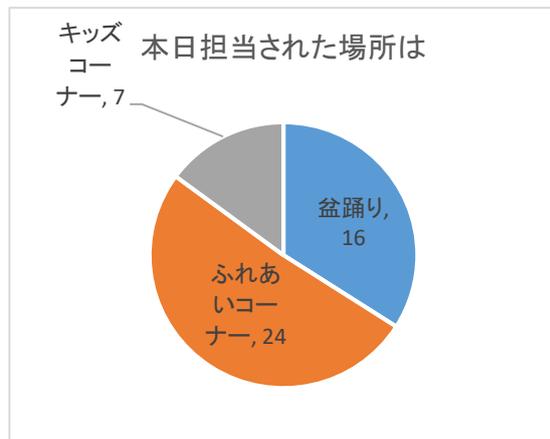


担当した経緯として「町内会の役員であった」が最も多かった。

4. 本日担当された場所は（複数回答可）

	回答数
盆踊り	16
ふれあいコーナー	24
キッズコーナー	7

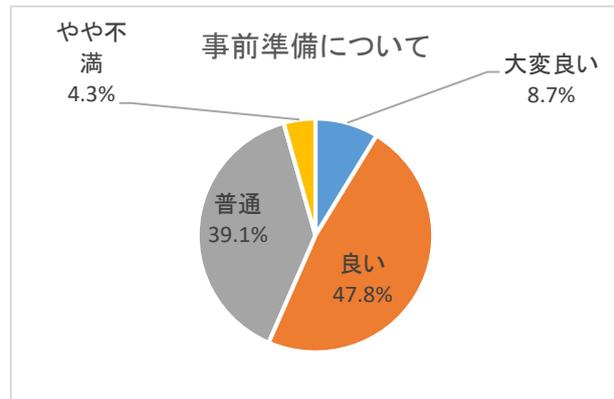
ふれあいコーナー担当者からの回答が最も多かったが、他のコーナー担当者からも満遍なく回答が得られた。



5. 今回の納涼盆踊りの内容についての評価

1) 事前準備について

	回答数	%
大変良い	4	8.7
良い	22	47.8
普通	18	39.1
やや不満	2	4.3
不満	0	0.0
全体	46	100.0



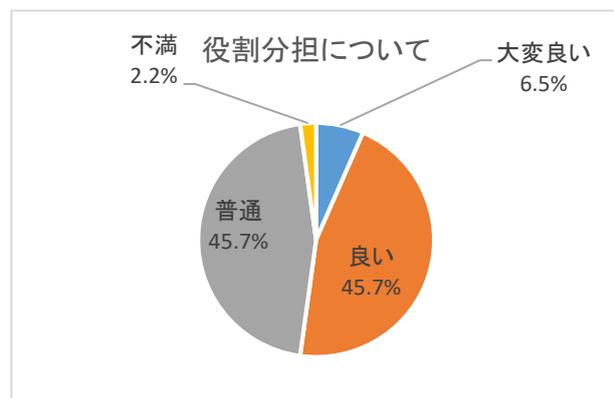
【感想】

- ・企画委員会、実行委員会役員で協議して準備に取り組んだ。各役員、町内会等、一致協力して出来た。
- ・去年より明るくて踊りやすかった。
- ・事前準備も実施しており、予定通り（時間通り）に進められると思う。
- ・台風の心配をしないで事前準備をすることが出来た。
- ・別に大きな問題なく準備が出来た。
- ・練習など、もっと参加者を増やす工夫をどんどんやる。
- ・練習不足（うまく踊れなかった）
- ・暑かった

担当者の約半数が事前準備については、「大変良い」、「良い」との回答であった。

2) 役割分担について

	回答数	%
大変良い	3	6.5
良い	21	45.7
普通	21	45.7
やや不満	0	0.0
不満	1	2.2
全体	46	100.0



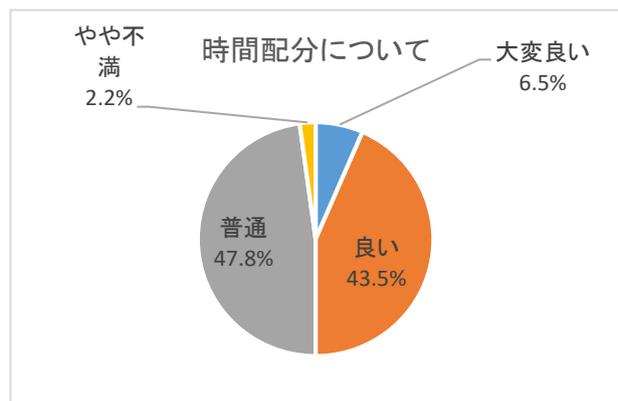
【感想】

- ・うまく出来ていたと思いました。
- ・それぞれに責任をもって行っておられた。
- ・各地区ごとに、色んな出し物があってよかったです。焼きそばが美味しかったです。
- ・各町内での出し物（物店）が事前に決めてあって良い。
- ・生ビール担当と言うことを前の人より聞いていたので問題なし
- ・問題なし
- ・強制的に参加させられた感があり不満。好きな人でやれば良いと思う。

担当者の約半数が役割分担については、「大変良い」、「良い」との回答であったが、強制的に参加させられた感があり不満との声もあった。

3) 当日の時間配分について

	回答数	%
大変良い	3	6.5
良い	20	43.5
普通	22	47.8
やや不満	1	2.2
不満	0	0.0
全体	46	100.0



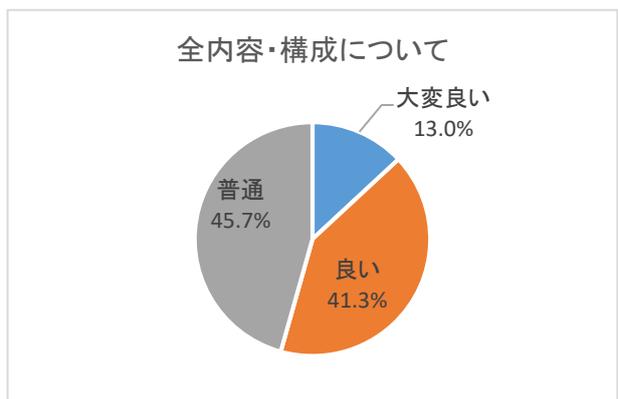
【感想】

- ・おわらが少し長く感じた。
- ・年々暑くなっているので、盆踊りの時間帯をもう少し短くした方がよいかもしれません。
- ・別に大きな問題なし
- ・踊りの時間の制限がわからない。
- ・踊りの時間をもう少し長くしてもと思いますが、音頭取りの方々、又会場の片付けを考えると現状で良いのではと考えます。

担当者の半数が時間配分については、「大変良い」、「良い」との回答であった。その他の感想として、盆踊りの時間配分についての意見があった。

4) 納涼盆踊りの全内容・構成について

	回答数	%
大変良い	6	13.0
良い	19	41.3
普通	21	45.7
やや不満	0	0.0
不満	0	0.0
全体	46	100.0



【感想】

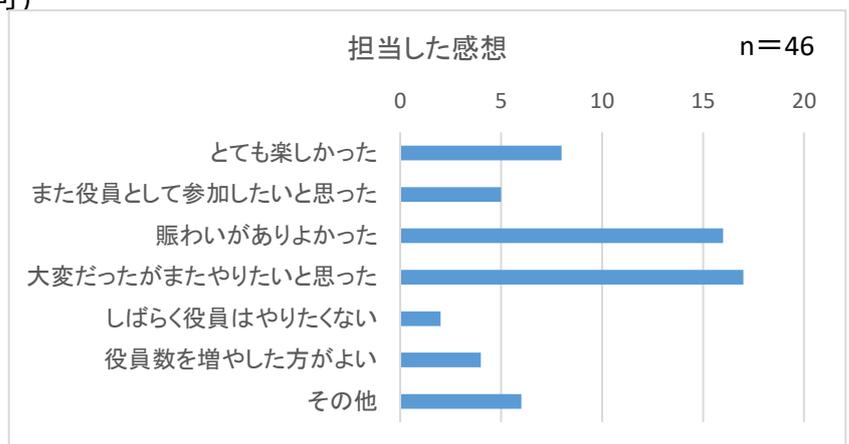
- ・大変うまくいっていると思います。
- ・各役割が先に準備されており、わかりよくて良い。
- ・子ども達からみんなで楽しめてよかった。
- ・子ども達が遊べるヨーヨーすくい、ボールすくいなどが早い時間に終了したので、もう少し多く用意してもらえたらいいなあと思いました。
- ・まわりにいる人達がもう少し長く踊ってほしかった。
- ・初めての参加でよくわからない。

担当者の約半数が納涼盆踊りの内容・構成については、「大変良い」、「良い」との回答であった。その他の感想として、キッズコーナー、盆踊りの時間についての意見があった。

6. 個人的に感じた率直な感想

1) 担当した感想について(複数回答可)

	回答数
とても楽しかった	8
また役員として参加したいと思った	5
賑わいがありよかった	16
大変だったがまたやりたいと思った	17
しばらく役員はやりたくない	2
内容を変えてもらいたい	0
役員数を増やした方がよい	4
その他	6



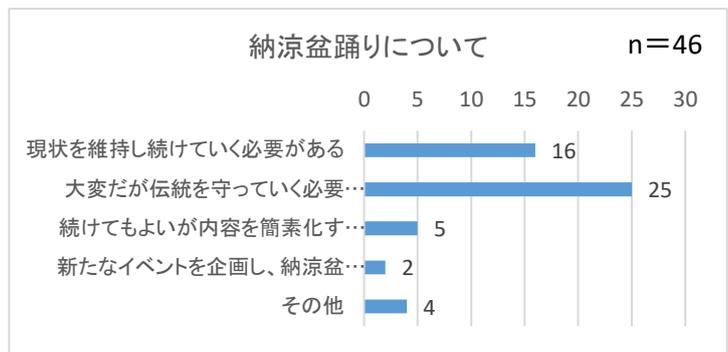
【その他】

- ・どの役員も熱心に取り組んでおられた。
- ・毎年盆はやはり盆踊り!! 家族全員檀家している人達もおられて、そういう家族が増えるといいな!!
- ・多くの方の参加(各役割を含めて)進めてほしい。
- ・若い踊り手が少ない。
- ・やりたくないが仕方ない。強制感があり嫌だった。
- ・荻生地区の住民なのでなんとも…

「賑わいがありよかった」、「大変だったがまたやりたいと思った」という感想が多くあった。全体的によかったと感じておられたが、一部、盆踊りの会場設営担当者、焼き物(ふれあいコーナー)担当者から「役員数を増やした方がよい」という感想もあった。

2) 納涼盆踊りについて（複数回答可）

	回答数
現状を維持し続けていく必要がある	16
大変だが伝統を守っていく必要がある	25
続けてもよいが内容を簡素化する必要がある	5
新たなイベントを企画し、納涼盆踊りはやめる方向で	2
その他	4



【その他】

- ・ 伝統を続けていくべきと思います。
- ・ 続けていくことが大切だと思います。
- ・ 浴衣は盆踊りらしくてよかったです。着ている方たちは大変だろうと思います。
- ・ 荻生地区の住民なのでなんとも…

回答者の約半数は、「大変だが伝統を守っていく必要がある」と答えていたが、一方で、少数ではあるが、内容の簡素化、新たなイベントを求める声もあった。

7. 今回の納涼盆踊り全体に対するご意見・ご感想等

- ・ 14日は家でもお客さんが来られるので、なかなか参加することができませんでしたが、今年は役員として参加してみて、いいものだなあと感じました。
- ・ うまくいったと思います。
- ・ お盆中ですが、沢山の方が来られていて驚きました。皆さん楽しそうで良かったです。
- ・ 今回は今まで以上に子どもたちの参加が多かったので、大きな賑わいがあり楽しめたと思います。
- ・ 他県から来てはじめて、楽しかったです。
- ・ よりたくさんの方の参加を勧めたい。
- ・ 現状を維持して行く必要がある。今後、維持していくための地区の人たちへ関心をもってもらうための工夫。保存会音頭取りの方々の後継者の問題が重要ではなからうか。
- ・ 若手が少ないので、継続できるのか心配
- ・ これからも続けてほしいが、若い人達も参加できる踊りもあればいいのかな？
- ・ 小学生は運動会等で大布施の盆踊りを踊るよう学校に働きかけてほしい。
- ・ 暑さ対策が必要
- ・ 日程を変更しても良いかと思う（暑い日を外す）
- ・ 地域を盛り上げていて非常に良いと思います。このまま続けてほしい。役員や地域の方、大変お疲れ様です。
- ・ 踊り手参加人数の増員を図る。踊り手が時間が経つと休憩に入り、踊りの輪がくずれるので、踊り手のタイムスケジュールを作成して行ってみれば…
- ・ 荻生地区の住民なのでなんとも…

8. 今後、納涼盆踊りを実行していく上で、取り入れてほしいこと、改善した方がよい点等

- ・ この文化を大切にしたい。また、するべきである。
- ・ よさこい、DISCOなどのコーナーも有りか
- ・ 学校行事の中に盆踊りを取り入れて、地域での活動を広く浸透していけばよいと感じます。
- ・ 今年は法被の人が多かったのですが、浴衣の人を少しでも増やす方法を考えた方がよいのでは？
- ・ 盆踊り練習会に参加したが、もう少し詳しく教えてほしかった。

アンケートフォーマット

「大布施納涼盆踊り」 参加者アンケート調査

本会では今年度、大布施地区をモデル地区とし、活動のリフォームを検討していきたいと考えております。つきましては、大布施納涼盆踊りにご参加の皆様方を対象とし、アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◎大布施納涼盆踊りへの参加について

問1 今日は、どちらから参加されましたか

1. 黒部市内（大布施地区）
2. 黒部市内（大布施地区外）
3. 市外
4. 県外



スマホからもご回答いただけます

問2 今日は、どなたと参加されましたか(複数回答可)

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 近所の方
4. 一人で
5. その他（ ）

問3 大布施公民館までは、どのように来られましたか。（移動交通手段）

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. セニアカー
5. 自動車（相乗り・送迎含む）
6. 公共交通機関（電車・バス）

問4 納涼盆踊りの日程は、何で知りましたか。(複数回答可)

1. 回覧板
2. 配布チラシ
3. 掲示ポスター
4. 総会資料（会議資料）
5. ご近所の方から聞いて
6. 家族（親戚）・知人から聞いて
7. 町内会の役員の方から聞いて
8. その他（ ）

問5 納涼盆踊りは毎年参加していますか

1. 毎年参加している
2. 時々参加している
3. 役員の年だけ参加している
4. 初めて参加した
5. その他（ ）

問6 参加した理由として、最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 現在、大布施地区に住んでいるので
2. 以前、大布施地区に住んでいた（里帰り・帰省中等）
3. 誘われたので（どなたに： ）
4. お祭りや踊りが好きなので
5. 毎年来ているので
6. 子どもが行きたいといったので
7. ちょうど時間があつたので
8. その他（ ）

問7 どの企画を楽しみに参加されましたか。(複数回答可)

1. 盆踊り
2. ふれあいコーナー(飲食コーナー)
3. キッズコーナー(ゲームコーナー)
4. 1～3全て
5. その他（ ）

うら面につづく⇒

問8 納涼盆踊りの企画として今後取り入れてほしいことがございましたらお聞かせください。

問9 納涼盆踊りに参加した感想をお聞かせください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても楽しかった | 4. あまり楽しくなかった |
| 2. まあまあ楽しかった | 5. 全然楽しくなかった |
| 3. ふつう | 6. その他 () |

◎地区行事について

※大布施地区外の方は設問14へお進みください。

問10 納涼盆踊り以外に大布施地区の行事でよく参加する行事があれば教えてください。

1. 敬老会（6月）
2. 避難訓練（7月）
3. 区民大運動会（8月）
4. 区民体育大会（ソフトボール・ビーチボール・卓球・バドミントン（9月））
5. 公民館まつり（11月）
6. 三世代交流会（12月）
7. その他 ()
8. 特になし

問11 今後、地区で取り入れてほしい行事(内容)等がございましたらお聞かせください。

問12 納涼盆踊りをはじめ、今後、より多くの方に地区行事に参加してもらうためのアイデアがあればお聞かせください。

問13 その他、地区の行事全体についてご意見ご感想がございましたらお聞かせください。

◎あなた自身の情報について

問14 性別をお聞かせください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問15 年代をお聞かせください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------------------|
| 1. 小学生 | 2. 中学生 | 3. 高校生 | 4. 大学生(短大・専門学校含む) |
| 5. 20代 | 6. 30代 | 7. 40代 | 8. 50代 |
| 9. 60代 | 10. 70代 | 11. 80代 | 12. 90代以上 |

ご協力ありがとうございました

「大布施納涼盆踊り」アンケート調査（実行委員・イベント担当者向け） 8月26日(月) 〆切

日頃より、本会の事業に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では今年度、大布施地区をモデル地区とし、これまで実施されてきた事業を整理し、時代のニーズに合った小地域活動が展開できるよう活動のリフォームを検討していきたいと考えております。

つきましては、大布施納涼盆踊りに関しては実行委員並びにイベント担当として運営に携わられた皆様方を対象とし、アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※該当箇所に○をつけてください

1 性別（ 男性 / 女性 ）

2 年齢（ 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上 ）



↑ ↑ ↑ ↑

スマホからもご回答いただけます

3 今回納涼盆踊り実行委員になられた経緯は(複数回答可)

- ・所属団体から参加するようすすめられた
- ・町内会の役員であった
- ・個人的に参加したく希望した
- ・大布施地区住民として参加すべきだと思った
- ・その他()

4 本日担当された場所は

- ・盆踊り（具体的に:)
- ・ふれあいコーナー(飲食コーナー)（具体的に:)
- ・キッズコーナー（ゲームコーナー）（具体的に:)
- ・その他()

5 今回の納涼盆踊りの内容について5段階で評価し、項目ごとの感想をお聞かせください。

（該当する番号に○印をつけてください）

1) 事前準備について

大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

2) 役割分担について

大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

3) 当日の時間配分について

大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

4) 納涼盆踊りの全内容・構成について 大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

6 納涼盆踊りを担当したことに対し、個人的に感じた率直な感想(心情)をお聞かせください。
(該当する箇所に○印をつけてください)

1) 担当した感想について (複数回答可)

- ・とても楽しかった
- ・また役員として参加したいと思った
- ・賑わいがありよかった
- ・大変だったがまたやりたいと思った
- ・しばらく役員はやりたくない
- ・内容を変えてもらいたい
- ・役員数を増やした方がよい
- ・その他の感想

2) 納涼盆踊りについて(複数回答可)

- ・今後も現状を維持し、続けていく必要がある
- ・大変だが伝統を守っていく必要がある
- ・続けてもよいが内容を簡素化する必要がある
- ・新たなイベントを企画し、納涼盆踊りはやめる方向で進める必要がある。
- ・その他の意見

7 今回の納涼盆踊り全体に対するご意見・ご感想等をお聞かせください。

8 今後、納涼盆踊りを実行していく上で、取り入れてほしいこと、改善した方がよい点等があればお聞かせください。

令和元年度
『大布施公民館まつり』参加者アンケート
調査報告書

- (1) 「大布施公民館まつり」来場者向け
- (2) 「大布施公民館まつり」実行委員・イベント担当者向け

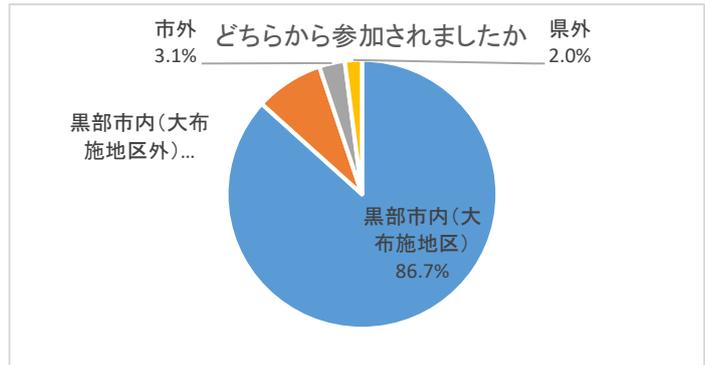
「大布施公民館まつり」来場者アンケート調査結果

調査依頼者総数…98名

◎公民館まつりの参加について

1. どちらから参加されましたか

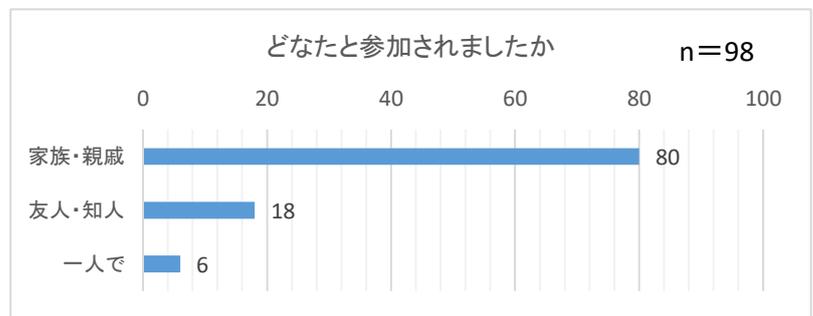
	回答数	%
黒部市内（大布施地区）	85	86.7
黒部市内（大布施地区外）	8	8.2
市外	3	3.1
県外	2	2.0
全体	98	100.0



大布施地区からの参加が86.7%と最も多かった。市外・県外からの参加も5.1%(5名)あった。

2. どなたと参加されましたか(複数回答可)

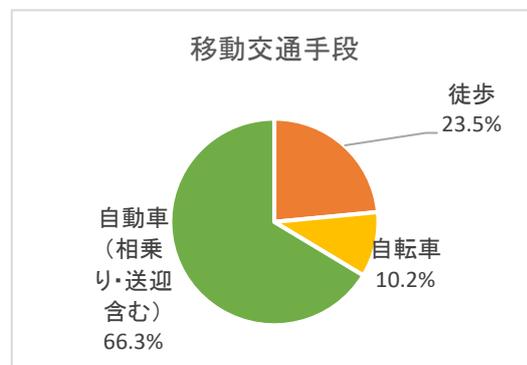
	回答数
家族・親戚	80
友人・知人	18
近所の方	0
一人で	6
その他	0



8割が「家族・親戚」との参加であった。

3. どのように来られましたか（移動交通手段）

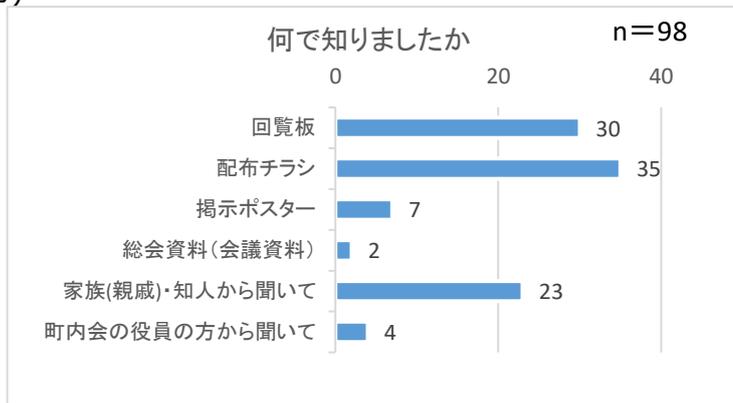
	回答数	%
徒歩	23	23.5
自転車	10	10.2
バイク	0	0.0
セニアカー	0	0.0
自動車（相乗り・送迎含む）	65	66.3
公共交通機関（電車・バス）	0	0.0
全体	98	100.0



自動車が66.3%と最も多く、次いで徒歩が23.5%、自転車が10.2%であった。この結果からも、駐車スペースの確保がイベント開催には重要で、大きな影響を与えていることがうかがえる。

4. 日程は、何で知りましたか(複数回答可)

	回答数
回覧板	30
配布チラシ	35
掲示ポスター	7
総会資料(会議資料)	2
ご近所の方から聞いて	2
家族(親戚)・知人から聞いて	23
町内会の役員の方から聞いて	4
その他	19



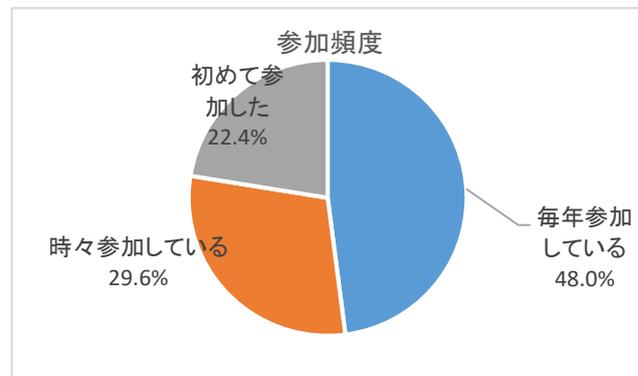
【その他】

- ・ 保育所・小学校からのお知らせを見て (12名) ・ 毎年あるから (3名)
- ・ 子供(家族)の発表があったので (4名)

「回覧板」や「配布チラシ」によって情報を知り、参加された方が全体の約6割で、広報によるPRの重要性がうかがえる。また、保育所や小学校に配布されたチラシもPR手段として重要であると考えられる。

5. 参加頻度

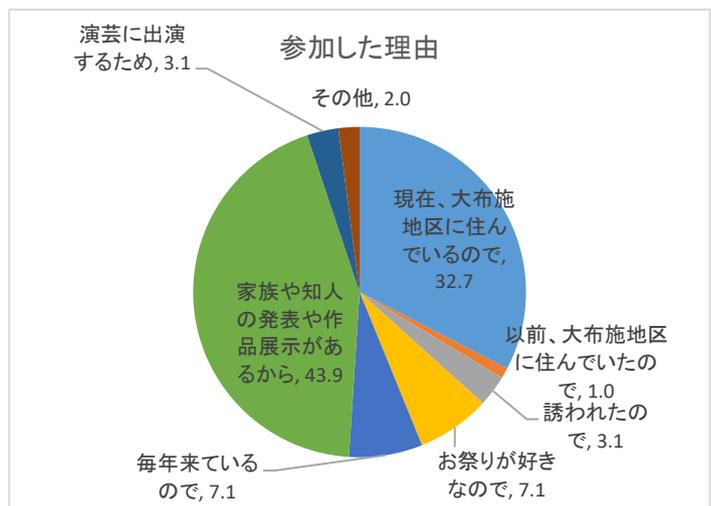
	回答数	%
毎年参加している	47	48.0
時々参加している	29	29.6
役員の年だけ参加している	0	0.0
初めて参加した	22	22.4
全体	98	100.0



「毎年参加している」が48.0%、「時々参加している」が29.6%であった。また、22.4%(22名)が初めての参加であった。

6. 参加した理由(最もあてはまるもの)

	回答数	%
現在、大布施地区に住んでいるので	32	32.7
以前、大布施地区に住んでいたの	1	1.0
誘われたので	3	3.1
お祭りが好きなので	7	7.1
毎年来ているので	7	7.1
家族や知人の発表や作品展示があるから	43	43.9
芸能に出演するため	3	3.1
その他	2	2.0
全体	98	100.0



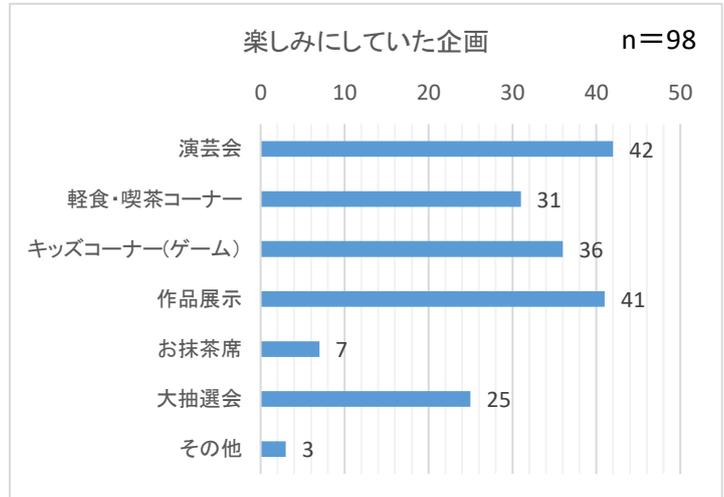
【その他】

- ・ 保育園の出し物のため
- ・ 地区役員だから

参加している理由として、「家族や知人の発表や作品展示があるから」が最も多く43.9%、次いで、「大布施地区に住んでいる」が32.7%であった。

7. どの企画を楽しみに参加されましたか(複数回答可)

	回答数
演芸会	42
軽食・喫茶コーナー	31
キッズコーナー(ゲーム)	36
作品展示	41
お抹茶席	7
大抽選会	25
その他	3



【その他】

- ・ お父さんが係をしているから
- ・ 発表
- ・ 出店

演芸会、軽食・喫茶コーナー、キッズコーナー、作品展示を全体の3~4割の人が楽しみな企画としていた。

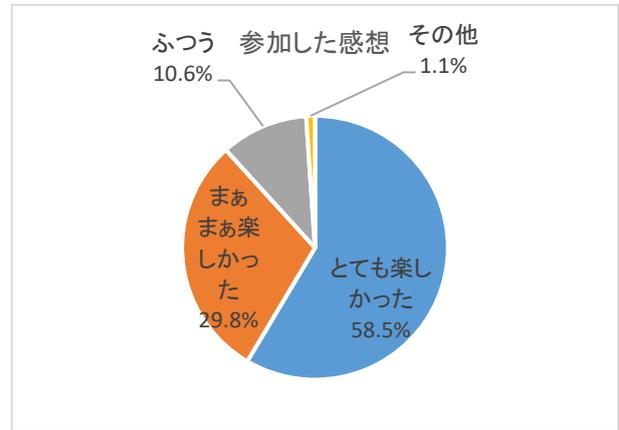
8. 公民館まつりの企画として今後取り入れてほしいこと

- ・ クイズラリー
- ・ 手品
- ・ 迷路
- ・ 優良の作文の発表会など
- ・ 楽しいことをしたい
- ・ 子供の参加
- ・ おやきの販売個数を増やしてほしい。
- ・ 通路テーブルを確保してほしい。
- ・ 食事をもっと充実させてほしい。
- ・ 子どものゲームを増やしてほしい。(2名)
- ・ スクイズやスライムを景品に増やしてほしい(3名)
- ・ 遊びに来た子供が遊ぶ遊びを長い時間していただけたら嬉しい。(参加時、終了していた為)
- ・ 綿菓子の子供にさせてほしい。
- ・ 体がほてるのでアイスコーヒー取り入れてほしい。
- ・ 特産品コーナー(野菜などもっと多くあったらうれしい)
- ・ 作品出品が少ないので、より多くの方の出品を
- ・ 駐車場の止める所を誘導してほしい。
- ・ ある年とない年がありますが、沓掛のお祭りをみるのが楽しみなので、ぜひやってほしいです。

- ・地域の住民それぞれに総力をあげて（令和の和にふさわしい）取り組まれている空気がどのブース、ステージ、展示等々に見受けられ感動と感謝いっぱい。
- ・リサイクル衣装、ととてもすてきでした!!

9. 公民館まつりに参加した感想

	回答数	%
とても楽しかった	55	56.1
まあまあ楽しかった	28	28.6
ふつう	10	10.2
あまり楽しくなかった	1	1.0
全然楽しくなかった	0	0.0
その他	1	1.0
無回答	3	3.1
全体	98	100.0

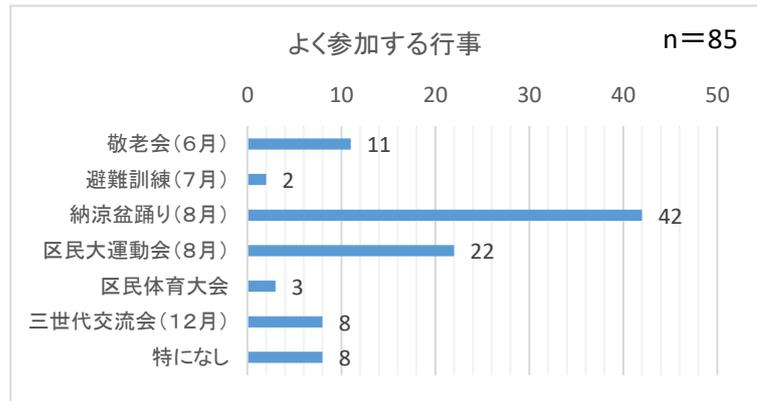


「とても楽しかった」が56.1%、「まあまあ楽しかった」が28.6%と参加者の約9割は、楽しかったと感じていることがうかがえる。

◎地区行事について（設問10～13は大布施地区在住者のみ回答）

10. 公民館まつり以外に大布施地区の行事でよく参加する行事

	回答数
敬老会（6月）	11
避難訓練（7月）	2
納涼盆踊り（8月）	42
区民大運動会（8月）	22
区民体育大会	3
三世代交流会（12月）	8
特になし	8



【その他】

- ・市長と語る会

「納涼盆踊り(42票)」が最も多く、次いで「区民大運動会(22票)」であった。8月に調査した納涼盆踊りと公民館まつりは大布施地区の行事として、参加される割合が高いことがうかがえる。

11.今後、地区で取り入れてほしい行事（内容）

- ・バザー
- ・行事は充分、参加を多くする工夫を
- ・今のままでいい
- ・成人の方の出番があったら、なおいいなあと思った。
- ・年寄りさん達の歌とか踊りとか、おもしろい昔話のようなもの
- ・夜、公民館を利用して軽体操とかヨガ等が体験出来たらうれしい。
- ・野菜作りの講習会など
- ・旅行的な企画（バスツアーなど）

12.地区行事に参加してもらうためのアイデア

- ・ギネスに挑戦する。
- ・スーパーや図書館などに掲示
- ・チラシを入れる。
- ・できれば各町内ごとの出し物があればなおよし！
- ・どの事業でもキッズコーナーをつける。
- ・ビールを販売する。
- ・広報車で回る。
- ・子どもが喜ぶイベントにすれば、親と祖父母もついてきます。
- ・子どもが気軽に参加できるイベントがあれば良いと思います。
- ・若い世代に積極的に参加してもらうよう、町内会役員など、若い世代にチェンジを促すように働きかけていく。
- ・昔々の地域の暮らしなどの話。はじめて、この地域に越してきたの感想など
- ・送迎バスの運用
- ・地区が大きすぎるので、中の地区から選抜大会してとかにすると回数や参加する機会も増えるし、熱も入ると思います。
- ・地区で工夫している活動などを発表しあう会があればいい。警察・消防の地区での活動等の説明会
- ・地道な取り組みしかない。

13.その他、地区の行事全体に対するご意見ご感想

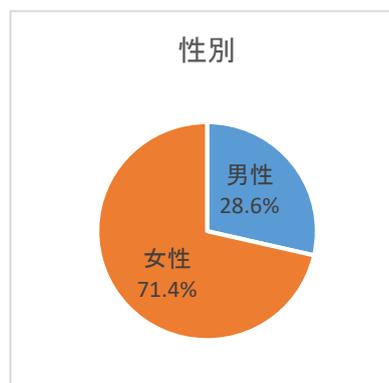
- ・引っ越してきたばかりで、まだなじめていないので参加していきたいです。
- ・楽しかった～！景品をもう少し増やしてほしいです！
- ・楽しかったです。
- ・現在の諸行事には、伝統があり、歴史がある。大切に進めていってほしい。
- ・多数参加できるもの、特技を出してもらいたい！
- ・大変いいことだと嬉しく思っています。年齢相応に、思い出となり、地域を大事にする気持ちが育まれていいと思います。スタッフのみなさんありがとね。
- ・地区の人達と会って話し合うとてもいい機会だと思います。
- ・地区内を歩いて散歩して楽しむなど、歩こう会などの企画
- ・行事を減らしてほしい。
- ・中新フラワーロードの散水当番、年に1回だけど、散水機を使っただけの作業の負担が大きすぎる。除草は大丈夫。他の地域は、負担が小さいように思う。

◎回答者情報

14.性別

	回答数	%
男性	28	28.6
女性	70	71.4
全体	98	100.0

回答者の性別は、男性が28.6%、女性が71.4%であった。

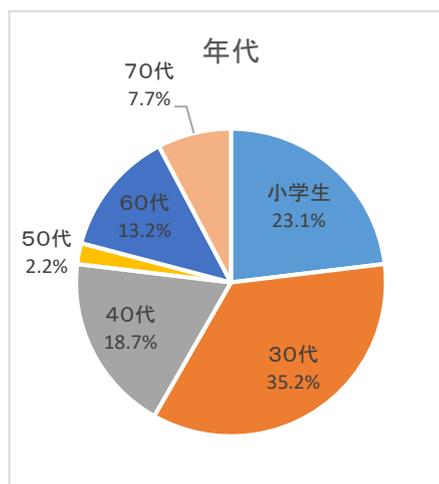


15.年代

	回答数	%
小学生	21	21.4
30代	32	32.7
40代	17	17.3
50代	2	2.0
60代	12	12.2
70代	7	7.1
80代	6	6.1
90代	1	1.02
全体	98	100.0

※回答者なしの年代は省略している

回答者の年代は、小学生が21.4%、30～40代が50.0%、50～60代が14.2%と、小学生とその親世代の回答(参加)が多かった。中高大学生、20代の回答はなかった。



「大布施公民館まつり」実行委員・イベント担当者向けアンケート調査結果

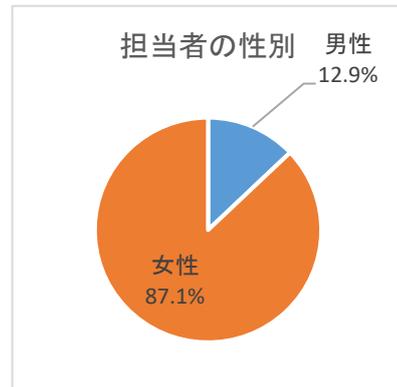
回答者数…31名

◎回答者情報

1. 担当者の性別

	回答数	%
男性	4	12.9
女性	27	87.1
全体	31	100.0

回答者の性別は、男性が12.9%、女性が87.1%であった。

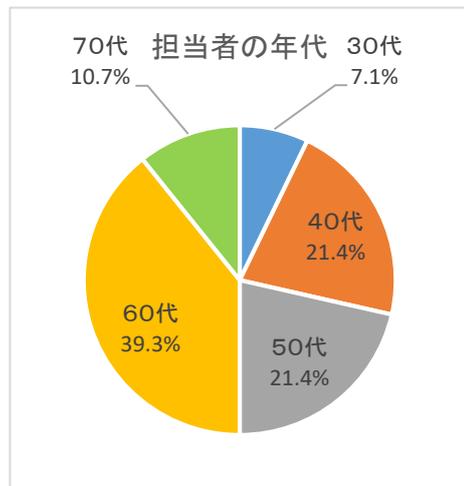


2. 担当者の年代

	回答数	%
30代	2	6.5
40代	6	19.4
50代	6	19.4
60代	11	35.5
70代	3	9.7
80代	3	9.7
全体	31	100.0

※回答者なしの年代は省略している

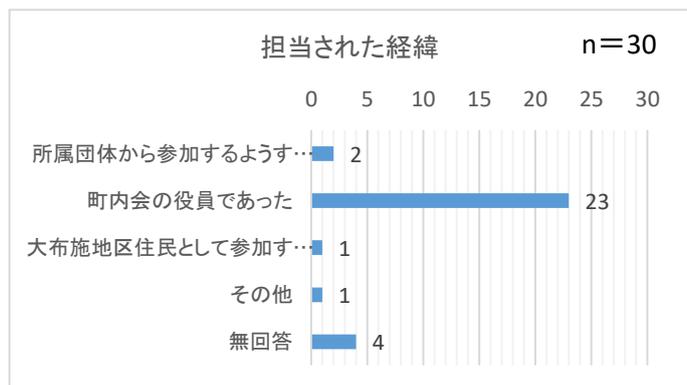
回答者の年代は30代～80代と幅広く、中でも60代が35.5%と最も多かった。



3. 今回公民館まつりの実行委員並びにイベント担当になられた経緯は（複数回答可）

	回答数
所属団体から参加するようすすめられた	2
町内会の役員であった	23
個人的に参加したく希望した	0
大布施地区住民として参加すべきだと思った	1
その他	1
無回答	4

【その他】協力団体役員であった



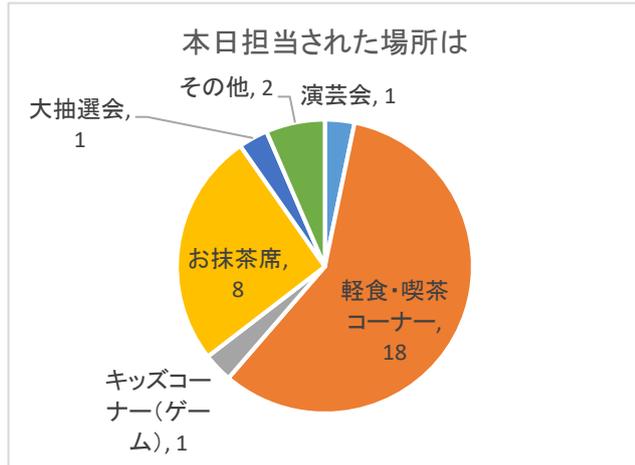
担当した経緯として「町内会の役員であった」が最も多かった。

4. 本日担当された場所は（複数回答可）

	回答数
演芸会	1
軽食・喫茶コーナー	18
キッズコーナー（ゲーム）	1
作品展示	0
お抹茶席	8
大抽選会	1
その他	2

【その他】受付（2名）

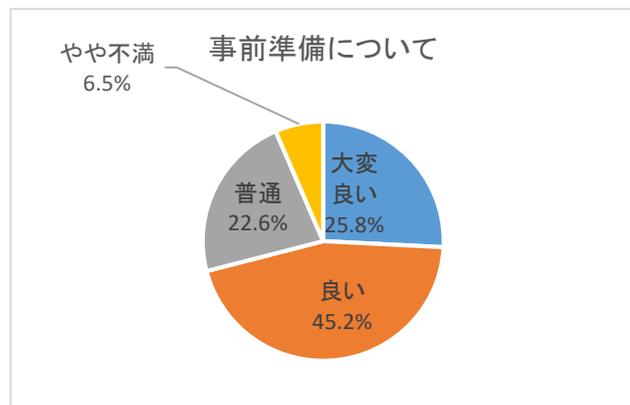
軽食・喫茶コーナー担当者からの回答が最も多かったが、他のコーナー担当者からも満遍なく回答が得られた。



5. 今回の公民館まつりの内容についての評価

1) 事前準備について

	回答数	%
大変良い	8	25.8
良い	14	45.2
普通	7	22.6
やや不満	2	6.5
不満	0	0.0
全体	31	100.0



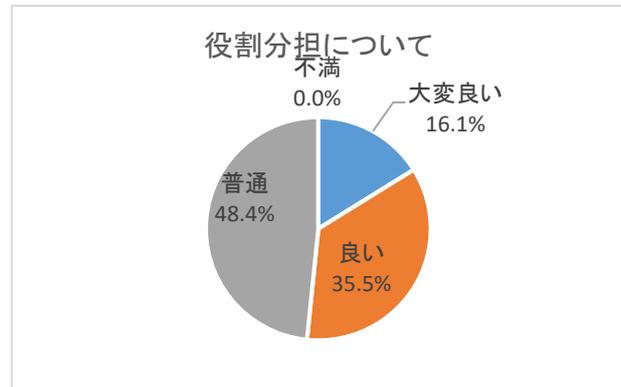
【感想】

- ・決められた場所でいつもどおりでやりやすかったです。
- ・昨年の写真もあって参考になりました。
- ・よくできた。
- ・作業内容がわかりやすかったので早く終わってよかったです。
- ・早く終わってよかった。
- ・早く終わったから
- ・なんとなくもたついてる。
- ・演芸会でステージの出入りの打合せがされていないため、進行に空白時間ができてしまっていた。

担当者の約8割が事前準備については、「大変良い」、「良い」との回答であった。

2) 役割分担について

	回答数	%
大変良い	5	16.1
良い	11	35.5
普通	15	48.4
やや不満	0	0.0
不満	0	0.0
全体	31	100.0



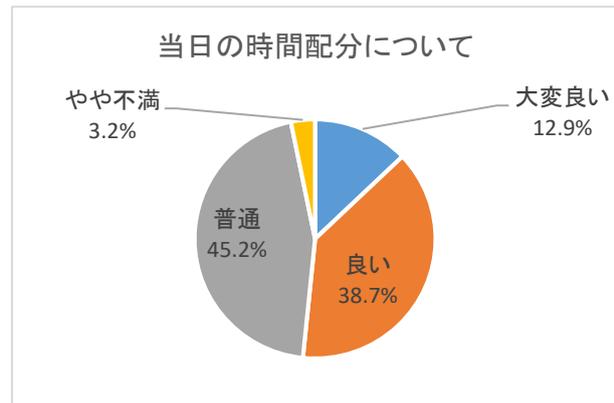
【感想】

- ・部所ごとできていた。
- ・いいと思います。
- ・ステージ上で使用する、机・椅子の運び入れや出しには、人数と若い方の協力がなくてはならないと思う。
- ・「児童クラブのペースでやってください」とのことので、こちらのペースで準備運営することができやりやすかったです。

担当者の半数が役割分担については、「大変良い」、「良い」との回答であった。

3) 当日の時間配分について

	回答数	%
大変良い	4	12.9
良い	12	38.7
普通	14	45.2
やや不満	1	3.2
不満	0	0.0
全体	31	100.0



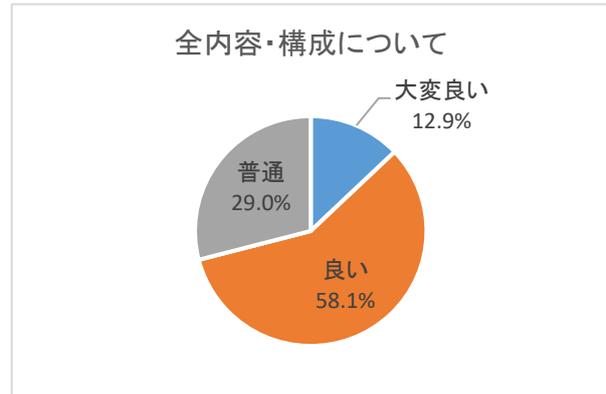
【感想】

- ・終了時間が不明で終わりに人が集中して困った。
- ・良いと思うが、演芸会については2つ程度減らしてもいいと思う。
- ・流れがあるので、それぞれの時間でOKでした。
- ・いいと思います。
- ・開始からすぐお客さんも多く、予算が減ったこともあって、1時間弱でゲームコーナーは終了となりました。お昼時には和室でたくさんの方が食事をしておられたので、お昼前に終わって良かったが、「もう終わったの…」と残念そうにしておられるお子さんもたくさんいました。

担当者の半数が時間配分については、「大変良い」、「良い」との回答であった。

4) 公民館まつりの全内容・構成について

	回答数	%
大変良い	4	12.9
良い	18	58.1
普通	9	29.0
やや不満	0	0.0
不満	0	0.0
全体	31	100.0



【感想】

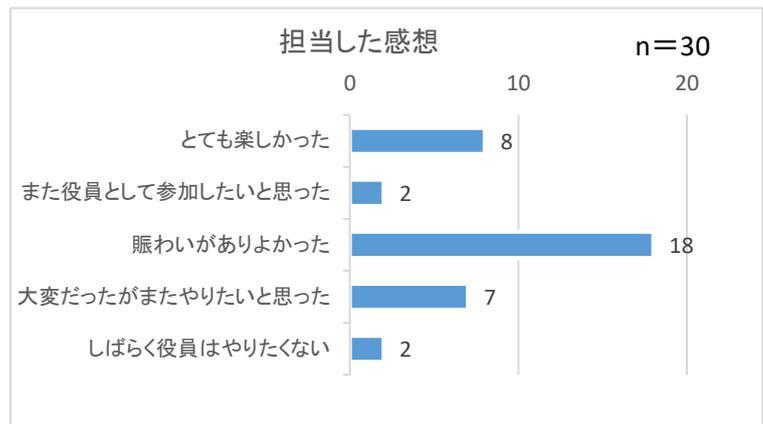
- ・たくさんの方が来られてよかったです。
- ・子供達のダンスでたくさん出て大変元気で良かった。
- ・少し作品の出品数が少なかったような気がしましたが、よかったです。
- ・食券の前売りは不要
- ・綿菓子を担当したが、児童に大人気で待ち時間があり、綿菓子機2台で対応してもよいのではないか。

担当者の7割が公民館まつりの全内容・構成については、「大変良い」、「良い」との回答であった。

6. 個人的に感じた率直な感想

1) 担当した感想について(複数回答可)

	回答数
とても楽しかった	8
また役員として参加したいと思った	2
賑わいがありよかった	18
大変だったがまたやりたいと思った	7
しばらく役員はやりたくない	2
内容を変えてもらいたい	0
役員数を増やした方がよい	0



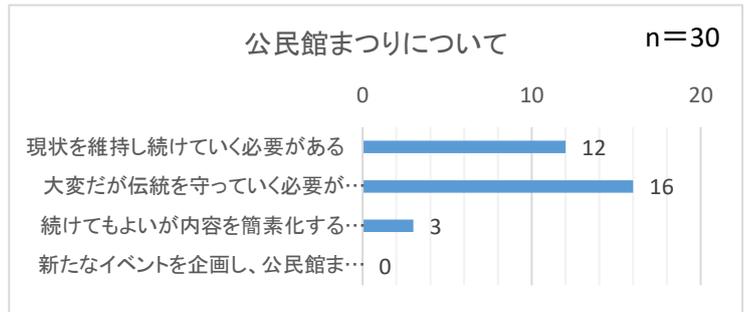
【その他】

- ・面倒だと思っていたが、来るとワイワイ楽しい。
- ・演芸会で様々な物を間近で見ることができたのは大変ありがたいと思うが、協力団体がどこを担当しているのかが分からないので発表の時間があればいいと思う。実際になぜこの仕事をしているの?と聞かれた。
- ・各部所の係の人が最後に来られるので、人数の把握が出来なかった。

「賑わいがありよかった」、「とても楽しかった」、「大変だったがまたやりたいと思った」という感想が多くあった。

2) 公民館まつりについて（複数回答可）

	回答数
現状を維持し続けていく必要がある	12
大変だが伝統を守っていく必要がある	16
続けてもよいが内容を簡素化する必要がある	3
新たなイベントを企画し、公民館まつりはやめる方向で	0



【その他】

- ・子供たちが多く来ていた。友達と楽しそうに遊んでいるのは、良かったと思いました。
- ・やめる必要は無いと思うが、内容の見直しは必要だと思う。

回答者の約半数は、「大変だが伝統を守っていく必要がある」と答えていたが、一方で、少数ではあるが、内容の簡素化、新たなイベントを求める声もあった。

7. 今回の公民館まつり全体に対するご意見・ご感想等

- ・お疲れ様
- ・子供から年配の方まで楽しいでおられ、良かったと思います。
- ・楽しくさせて頂きました。（2名）
- ・楽しんでおられる方がたくさんいて良かったです。
- ・公民館の2人の方とても気がつき感謝します。
- ・大変ですが、懐かしい方に会えて、うれしかったです。
- ・今年、綿菓子を自分で作れず 残念と言っている子供がいました。（去年は、自分で作っていた）
- ・演芸会のLforO（エルフォアオー）の時に、観客がうるさかったのは、かわいそうだった。
- ・他のイベントも少し見たかったです。
- ・もっと子供達の催し物を増やして、多くの大人にきてもらう。
- ・食券の注文は不要だと思います。
- ・数年間行き続けていて、例年とあまり変わらないので、こんなものかなと思う。
- ・全体的に良かったと思います。今後も現状を維持しながら、新しいことを取り入れて公民館まつりを実行してほしい。
- ・わからないことも多く、何度か電話で確認させてもらったのですが、いつも快く丁寧に対応してくださって助かりました。ありがとうございました。

8. 今後、公民館まつりを実行していく上で、取り入れてほしいこと、改善した方がよい点等

- ・みなさんの力でいつもどおりにできてよいと思います。
- ・沢山の人の参加を願う。
- ・他の地域の祭りも参考にして、新しい試みもあっていいのでは…。
- ・市内他地区と相互連携交流でお互いの祭りに出店や出演をする。
- ・子供も呼び込めるような、体験イベント型があればどうか。
- ・呼んで出演料が掛かる内容や機材費の掛かるものは控えた方がよいのではないかと思います。

- ・簡単な手芸等を午前、午後の部に分けて各回（90分程度）を事前に受講者を募集して教室等を行っては？
- ・作品の出品については出品しても良いが名前が出るので恥ずかしくていやと断られる事が数点ありました。今後、匿名で町内会名で出品しても良いコーナーを設置しては？
- ・軽運動室のいすをもう少し増やしたら良いと思います。
- ・大布施保育所の向かいの駐車場の真ん中の列の車が通るスペースまで駐車しており、車の流れが悪かったので、スペースの確保がしてあるとよいと思いました。
- ・盆踊りのように100円券を全戸に配布すれば、もっと人が集まるかも。大変だけど
- ・食券の前売予約を廃止にしてほしい。当日販売のみにしてほしい。
- ・抽選会は、午前中にやった方がよい。帰る人が多い、役員ばかりになる。
- ・午前中に抽選会があった方が盛り上がる。13：00終了を目指せば良いと思う。
- ・出展者にゴミ袋の謝礼はちょっと淋しい。プラス食券？
- ・企画委員会の段階で予算1万円で…ということでしたが、予算を2万円にあげていただいたおかげで、キッズコーナーも盛り上がっていました。多くの子供たちに楽しんでもらったので、2万円にしてもらえて良かったです。

アンケートフォーマット

「大布施公民館まつり」 参加者アンケート調査

本会では今年度、大布施地区をモデル地区とし、活動のリフォームを検討していきたいと考えております。つきましては、大布施公民館まつりにご参加の皆様方を対象とし、アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◎大布施公民館まつりへの参加について

問1 今日、どちらから参加されましたか

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 黒部市内（大布施地区） | 3. 市外 |
| 2. 黒部市内（大布施地区外） | 4. 県外 |



スマホからもご回答いただけます

問2 今日、どなたと参加されましたか(複数回答可)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 家族・親戚 | 4. 一人で |
| 2. 友人・知人 | 5. その他（ |
| 3. 近所の方 | ） |

問3 大布施公民館までは、どのように来られましたか。（移動交通手段）

- | | |
|--------|------------------|
| 1. 徒歩 | 4. セニアカー |
| 2. 自転車 | 5. 自動車（相乗り・送迎含む） |
| 3. バイク | 6. 公共交通機関（電車・バス） |

問4 公民館まつりの日程は、何で知りましたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 回覧板 | 5. ご近所の方から聞いて |
| 2. 配布チラシ | 6. 家族（親戚）・知人から聞いて |
| 3. 掲示ポスター | 7. 町内会の役員の方から聞いて |
| 4. 総会資料（会議資料） | 8. その他（ |
| | ） |

問5 公民館まつりは毎年参加していますか

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 毎年参加している | 4. 初めて参加した |
| 2. 時々参加している | 5. その他（ |
| 3. 役員の年だけ参加している | ） |

問6 参加した理由として、最もあてはまるものを1つ選んでください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現在、大布施地区に住んでいるので |
| 2. 以前、大布施地区に住んでいた（里帰り・帰省中等） |
| 3. 誘われたので（どなたに： |
| ） |
| 4. お祭りが好きなので |
| 5. 毎年来ているので |
| 6. 家族や知人の発表や作品展示があったので |
| 7. 演芸に出演するため |
| 8. その他（ |
| ） |

問7 どの企画を楽しみに参加されましたか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 演芸会 | 6. 大抽選会 |
| 2. 軽食・喫茶コーナー | 7. その他（ |
| 3. キッズコーナー(ゲーム) | ） |
| 4. 作品展示 | |
| 5. お抹茶席 | |

うら面につづく⇒

問8 公民館まつりの企画として今後取り入れてほしいことがございましたらお聞かせください。

問9 公民館まつりに参加した感想をお聞かせください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても楽しかった | 4. あまり楽しくなかった |
| 2. まあまあ楽しかった | 5. 全然楽しくなかった |
| 3. ふつう | 6. その他 () |

◎地区行事について

※大布施地区外の方は設問14へお進みください。

問10 公民館まつり以外に大布施地区の行事でよく参加する行事があれば教えてください。

1. 敬老会（6月）
2. 避難訓練（7月）
3. 納涼盆踊り（8月）
4. 区民大運動会（8月）
5. 区民体育大会（ソフトボール・ビーチボール・卓球・バドミントン（9月））
6. 三世代交流会（12月）
7. その他 ()
8. 特になし

問11 今後、地区で取り入れてほしい行事(内容)等がございましたらお聞かせください。

問12 公民館まつりをはじめ、今後、より多くの方に地区行事に参加してもらうためのアイデアがあればお聞かせください。

問13 その他、地区の行事全体についてご意見ご感想がございましたらお聞かせください。

◎あなた自身の情報について

問14 性別をお聞かせください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問15 年代をお聞かせください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------------------|
| 1. 小学生 | 2. 中学生 | 3. 高校生 | 4. 大学生(短大・専門学校含む) |
| 5. 20代 | 6. 30代 | 7. 40代 | 8. 50代 |
| 9. 60代 | 10. 70代 | 11. 80代 | 12. 90代以上 |

ご協力ありがとうございました

「大布施公民館まつり」アンケート調査（実行委員・イベント担当者向け） 11月20日(水) 〆切

日頃より、本会の事業に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では今年度、大布施地区をモデル地区とし、これまで実施されてきた事業を整理し、時代のニーズに合った小地域活動が展開できるよう活動のリフォームを検討していきたいと考えております。

つきましては、大布施公民館まつりにおいて実行委員並びにイベント担当として運営に携わられた皆様方を対象とし、アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※該当箇所に○をつけてください

1 性別（ 男性 / 女性 ）

2 年齢（ 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上 ）



↑ ↑ ↑ ↑

スマホからもご回答いただけます

3 今回公民館まつりの実行委員になられた経緯は(複数回答可)

- ・所属団体から参加するようすすめられた
- ・町内会の役員であった
- ・個人的に参加したく希望した
- ・大布施地区住民として参加すべきだと思った
- ・その他()

4 本日担当された場所は

- ・演芸会
- ・お抹茶席
- ・軽食・喫茶コーナー
- ・大抽選会
- ・キッズコーナー（ゲーム）
- ・その他()
- ・作品展示

5 今回の公民館まつりの内容について5段階で評価し、項目ごとの感想をお聞かせください。

(該当する番号に○印をつけてください)

1) 事前準備について

大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

2) 役割分担について

大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

3) 当日の時間配分について

大変良い 良い 普通 やや不満 不満
|-----|-----|-----|-----|
5 4 3 2 1

4) 公民館まつりの全内容・構成について 大変良い 良い 普通 やや不満 不満
5 4 3 2 1

--

6 公民館まつりを担当したことに対し、個人的に感じた率直な感想(心情)をお聞かせください。

(該当する箇所に○印をつけてください)

1) 担当した感想について (複数回答可)

- ・とても楽しかった
- ・また役員として参加したいと思った
- ・賑わいがありよかった
- ・大変だったがまたやりたいと思った
- ・しばらく役員はやりたくない
- ・内容を変えてもらいたい
- ・役員数を増やした方がよい
- ・その他の感想

--

2) 公民館まつりについて(複数回答可)

- ・今後も現状を維持し、続けていく必要がある
- ・大変だが伝統を守っていく必要がある
- ・続けてもよいが内容を簡素化する必要がある
- ・新たなイベントを企画し、公民館まつりはやめる方向で進める必要がある。
- ・その他の意見

--

7 今回の公民館まつり全体に対するご意見・ご感想等をお聞かせください。

--

8 今後、公民館まつりを実行していく上で、取り入れてほしいこと、改善した方がよい点等があればお聞かせください。

--

(返信先) 黒部市社会福祉協議会 FAX: 52-2797

ご協力ありがとうございました
黒部市社会福祉協議会

令和元年度 黒部市社会福祉協議会
小地域福祉活動リフォーム事業における調査研究
小地域福祉活動実態調査報告書

発 行 令和元年 11 月

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp

2019 年度 黒部市社会福祉法人連合会
『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』

調査報告書

令和2年1月

黒部市社会福祉法人連合会

【事務局】社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

1 アンケート調査目的

黒部市社会福祉法人連合会(黒部市内に事業所を持つ社会福法人:全11法人)は社会福祉法人の使命として行う地域貢献事業として福祉に関わる相談全般に対応できる「ふくし丸ごと合同相談会」を開催する。

この調査では、各会員法人より、専門職員が集まり、保育、介護、障がいなど、様々な相談に答えることのできる体制をとり、地域福祉の現状把握、並びに今後の事業展開にむけての情報収集を行い、今後どのような形で地域における公益活動に取り組むべきか等を検討することを目的としている。

2 調査対象

一般市民 100名(黒部市福祉センター年越しまつり来場者)

3 調査実施期間

令和元年12月21日

4 アンケート調査方法

黒部市福祉センター年越しまつり(12月21日)と同日開催した黒部市社会福祉法人連合会「ふくし丸ごと合同相談会」に来場された方にアンケートを依頼し、相談員と共に回答してもらう。

回収： 回収—100枚

対象者数	有効回答者数	有効回答率
100枚	100名	100.0%

5 調査結果まとめ

※別紙調査結果参照

黒部市社会福祉法人連合会『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』調査結果

調査依頼者総数…100名 回収枚数…100枚 回収率…100.0%

◎回答者情報

1. 性別

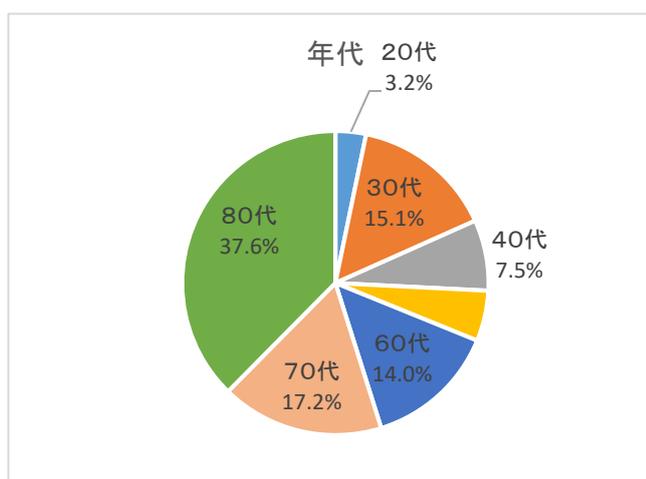
	回答(人)	%
男性	22	22.0
女性	78	78.0
全体	100	100.0

回答者の性別は、女性が78.0%、男性が22.0%と女性の比率が多かった。



2. 年代

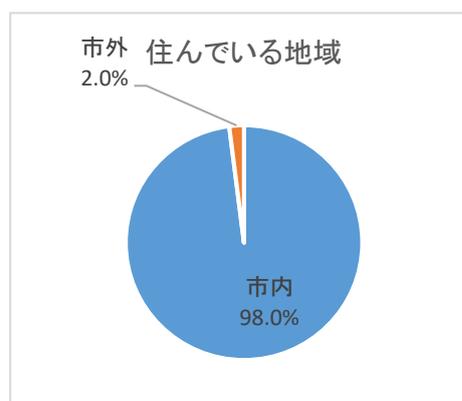
	回答(人)	%
20代	3	3.0
30代	14	14.0
40代	7	7.0
50代	5	5.0
60代	13	13.0
70代	16	16.0
80代	35	35.0
90代以上	7	7.0
全体	100	100.0



回答者の年代は、80代が35.0%、次いで70代が16.0%と多かったが、工作コーナーを目的に来場された20代、30代の子育て世代からも17.0.%と、各年代満遍なく回答を得ることができた。

3. 住んでいる地域

	回答(人)	%
市内	98	96.0
市外	2	4.0
全体	100	100.0

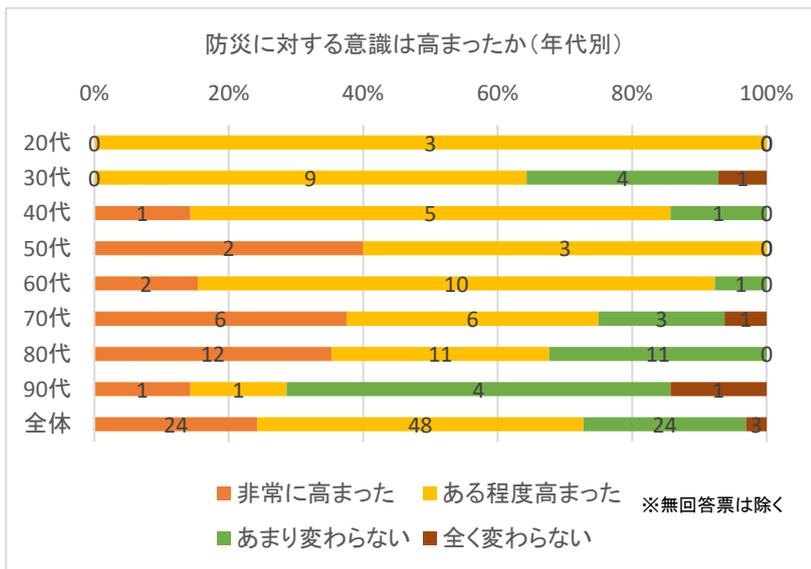
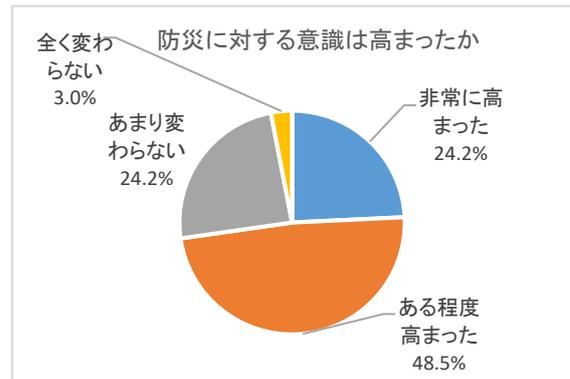


回答者の居住地は、市内在住が96.0%、市外在住が4.0%であった。
市内在住者を地区別にみると、大布施が33.0%、生地14.0%、荻生12.0%の順で多かった。

◎災害への意識について

4. 近年、各地で自然災害が発生しているが、防災への意識は高まったか

	回答(人)	%
非常に高まった	24	24.0
ある程度高まった	48	48.0
あまり変わらない	24	24.0
全く変わらない	3	3.0
無回答	1	1.0
全体	100	100.0

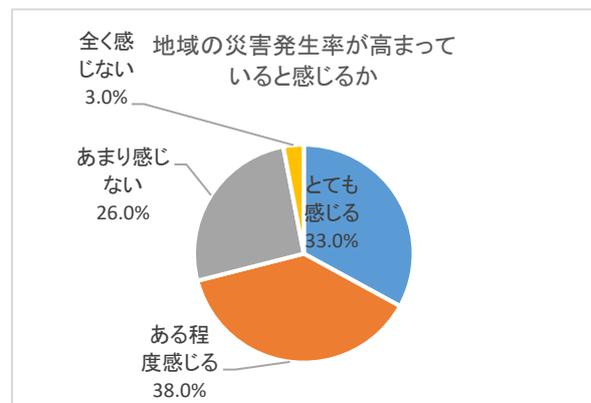


防災に対する意識調査では、各地で起きている自然災害を機に「高まった」と感じているが全体の約7割で、約3割は「変わらない」と回答していた。

年代別にみても回答に大きな偏りはなく、年代問わずその意識は個々に違うことがわかった。ただ、「非常に高まった、ある程度高まった」という回答がどの年代も半数以上占める中で、唯一90代からは、「あまり変わらない、全く変わらない」という回答が半数を超えていた。

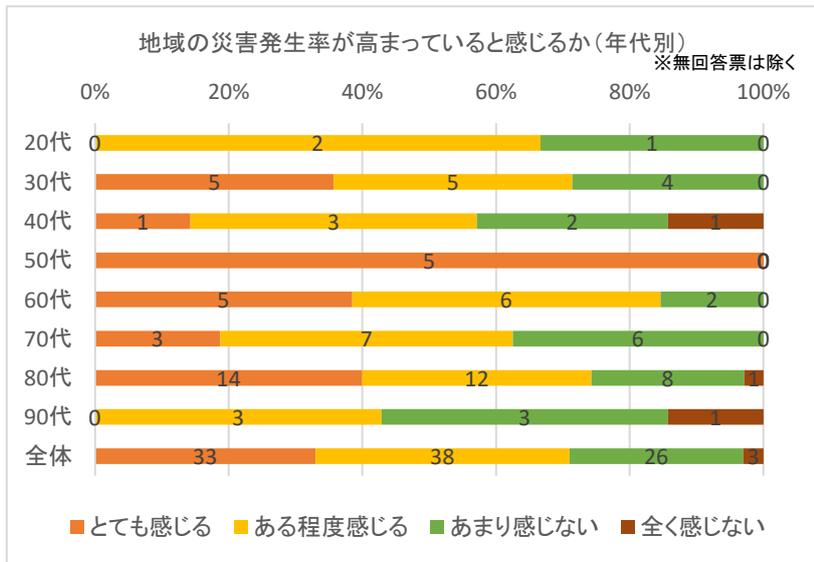
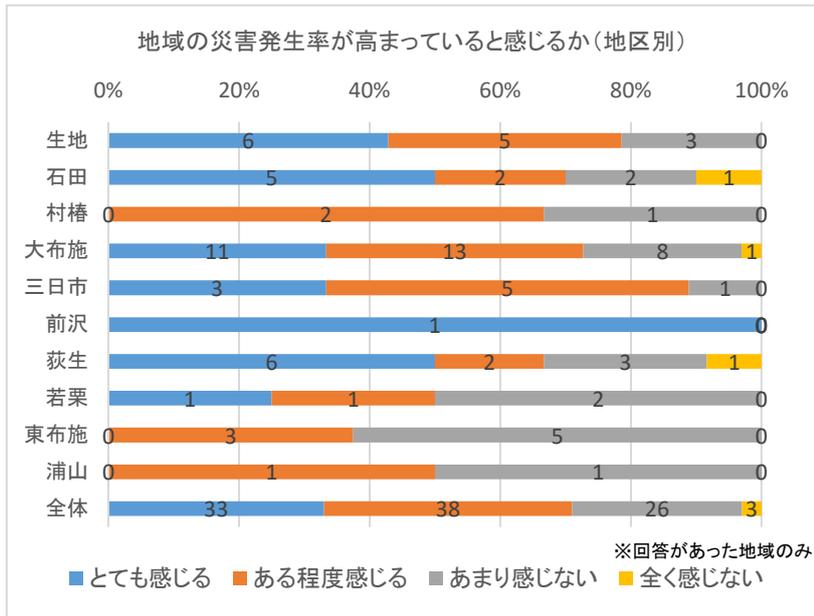
5. お住いの地域において災害発生率が高まっていると感じるか

	回答(人)	%
とても感じる	33	33.0
ある程度感じる	38	38.0
あまり感じない	26	26.0
全く感じない	3	3.0
全体	100	100.0



お住いの地域における災害発生率に関しても、「高まっていると感じる」が約7割、「感じない」が約3割と、回答率は、設問4(防災に対する意識について)とほぼ同じ比率であった。

地域別、年代別にみても回答に大きな偏りはなく、地域、年代問わずその意識は個々に違うことがわかった。こちらも、「とても感じる、ある程度感じる」という回答がどの年代も半数以上占める中で、90代からは、「あまり感じない、全く感じない」という回答が半数を超えていた。



◎災害への備えについて

6. ご家庭で、備えをしている自然災害は

	回答数
地震	28
津波	13
大雨・台風	29
特になし	45
その他	2
無回答	3

【その他】

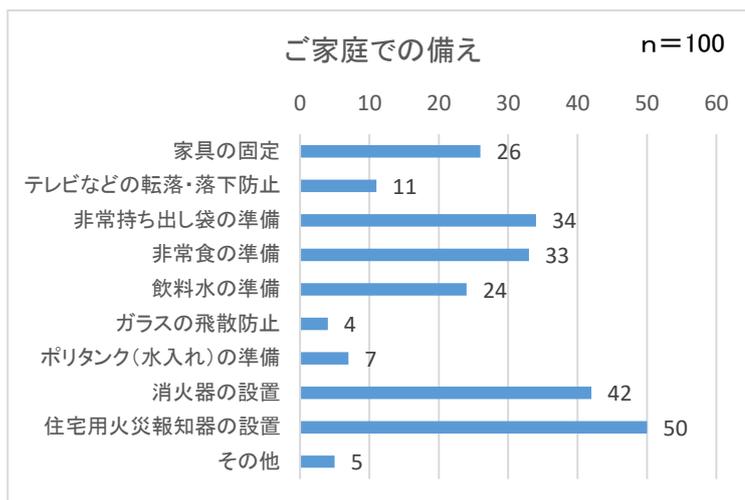
- ・非常食と物品の備えの必要性を痛感
- ・防災グッズ



「大雨・台風」と「地震」に対する備えを全体の約3割が実施していたが、約半数は、「特になし」と回答していた。この結果からも、災害に対する備えにおいては個人差が大きいことがわかった。

7. 地震や津波への備えを何かしているか（複数回答可）

	回答数
家具の固定	26
テレビなどの転落・落下防止	11
非常持ち出し袋の準備	34
非常食の準備	33
飲料水の準備	24
ガラスの飛散防止	4
ポリタンク（水入れ）の準備	7
消火器の設置	42
住宅用火災報知器の設置	50
その他	5



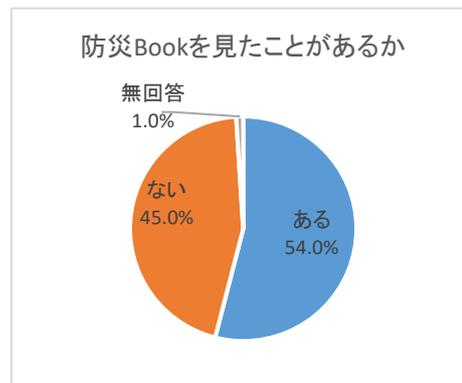
【その他】

- ・避難場所の確認（2名）
- ・自分のことばかり考えている
- ・薬
- ・何もしていない

住宅火災報知器や消火器の設置等、火災に対する備えが多くみられた。その他、持ち出し袋や非常食、飲料水の準備も約3割が実施していた。

8. くろべ防災Bookを見たことがあるか

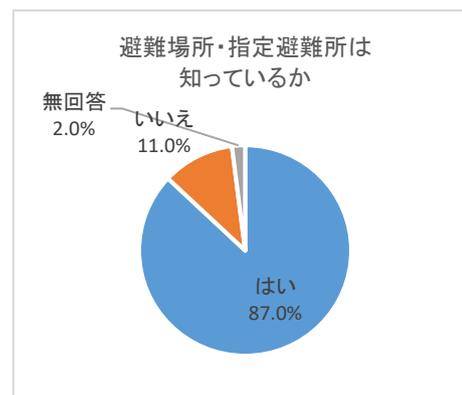
	回答(人)	%
ある	54	54.0
ない	45	45.0
無回答	1	1.0
全体	100	100.0



「ある」が54.0%、「ない」が45.0%と、見たことがある人の割合が若干高かった。

9. 指定緊急避難場所及び指定避難所は知っているか

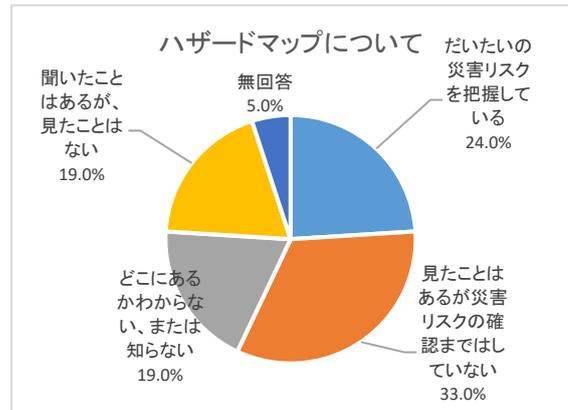
	回答(人)	%
はい	87	87.0
いいえ	11	11.0
無回答	2	2.0
全体	100	100.0



「はい」が87.0%、「いいえ」が11.0%と、知っている人の割合が高かった。

10 ハザードマップなどでご自宅を見たことがあるか

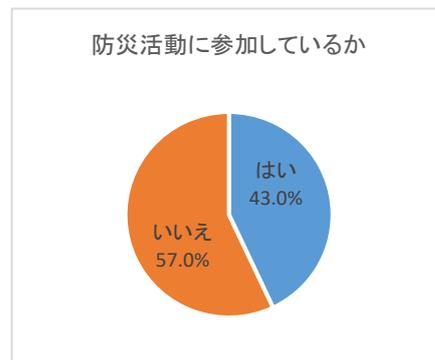
	回答(人)	%
だいたいの災害リスクを把握している	24	24.0
見たことはあるが災害リスクの確認まではしていない	33	33.0
どこにあるかわからない、または知らない	19	19.0
聞いたことはあるが、見たことはない	19	19.0
無回答	5	5.0
	100	100.0



「災害リスクの確認まではしていないが、ハザードマップを見たことがある人」が33.0%、「だいたいの災害リスクを把握している人」が24.0%と、全体の約6割がハザードマップを確認していた。一方で、「わからない、知らない、見たことがない」という方も、全体の約4割いた。

11 地域の防災活動（訓練）に参加しているか

	回答(人)	%
はい	43	43.0
いいえ	57	57.0
全体	100	100.0



防災活動への参加は、「はい」が43.0%で、「いいえ」が57.0%であった。

「はい」と答えた方の理由

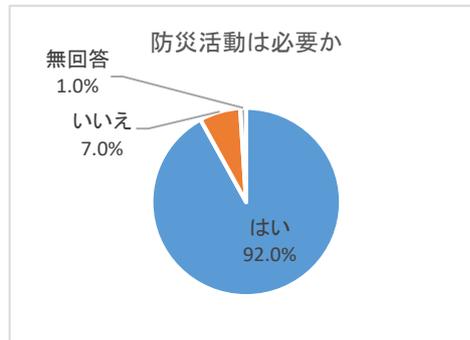
- ・ 会社の方針で
- ・ 自分自身の備え、日頃の準備のため
- ・ 住民の意識が高まる
- ・ 情報を得る機会になる
- ・ 大布施公民館に1泊しました
- ・ 役員の時に参加(2名)
- ・ 夫が役員だったので
- ・ 部落の訓練に参加(2名)
- ・ 防災クラブに入ってます
- ・ 町内の人々とのコミュニティが深まり、防災知識が身につく
- ・ 3年前に1回は参加した
- ・ 1回しか出たことがない

「いいえ」と答えた方の理由

- ・ 都合がつかないため
- ・ 高齢なので
- ・ 家族は参加したが、自分は仕事で参加できず
- ・ 開催日、場所などが分からない
- ・ 見に行く程度
- ・ 子どもが小さいため、大変そう
- ・ 息子は行っている
- ・ 足が良くないため
- ・ 知らなかった
- ・ 宇奈月から引っ越して5～6年で友達も少ない
- ・ 夫が参加しているので
- ・ 忙しくて参加できなかった
- ・ 予定があった
- ・ 老人だから

12. 地域の防災活動（訓練）は必要だと思うか

	回答(人)	%
はい	92	92.0
いいえ	7	7.0
無回答	1	1.0
全体	100	0.0



防災活動への参加は、「はい」が92.0%で、「いいえ」が7.0%と、約9割が必要と感じていた。

「はい」と答えた方の理由

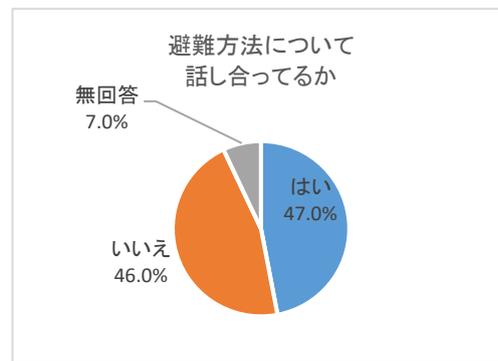
- ・ 3年前の大雨の時、1度玄関に水が上がった。玄関直した。怖かった。
- ・ いざという時あわてない為
- ・ いざという時にもたもたになるので
- ・ いざという時のため
- ・ いつ来るかわからないから
- ・ みんなで参加できたらいいです
- ・ もしもの対策は必要だと思うから
- ・ 意識の向上
- ・ 一人暮らしなので、近所の人と話をしている
- ・ 何かあった時にならっておけばためになる
- ・ 災害時の行動が分からないため
- ・ 自分の身を守るため
- ・ 住民の意識が高まる
- ・ 息子が参加している
- ・ 足がないと不便
- ・ 地域の活動に協力のため
- ・ 避難場所までの移動が心配です
- ・ 非常時、落ち着いて行動がとれるよう訓練しておく
- ・ 非常時の迅速な対応
- ・ 必要
- ・ 富山は災害が少ないので日常の災害意識が薄い
- ・ 万が一災害が起きた際の行動を把握しておくことで、いざという時に落ち着いて行動できるから
- ・ 万一の時に役立つ訓練の有り無しは大違いと思う

「いいえ」と答えた方の理由

- ・ 近所の息子に任せている

13. 家族で避難方法を話し合っているか

	回答(人)	%
はい	47	47.0
いいえ	46	46.0
無回答	7	7.0
全体	100	100.0



避難方法を家族と話し合っているかについては、「はい」が47.0%で、「いいえ」が46.0%と、回答数は半々に分かれた。年代別で比較してみると、20代～50代、90代は、半数以上が話し合っていないと回答し、60代～80代は、半数以上が話し合っていると答えていた。

14. 仮に災害が起きた時、どのようなことが不安であるか【年代別】

【20代】

- ・ いつどこで起こるかわからないので連絡をどう取り合うか、合流できるかが不安
- ・ 食事

【30代】

- ・ オール電化なので、日常的なこと、毎日のこと
- ・ どのように動きどのタイミングで避難すればいいか不安
- ・ ライフライン特に子どもペット同伴の受け入れ
- ・ 仮設施設での過ごし方
- ・ 家が流されたり壊れないか
- ・ 子どもたちの心のケア
- ・ 子どものことが心配。日中、バラバラになっている時。
- ・ 住宅が壊れた際の住まい
- ・ 連絡の取り方

【40代】

- ・ 家族がバラバラに居る時、災害にあった時の避難
- ・ 薬を飲んでいるので、手に入るかどうか家に入れなかった場合

【50代】

- ・ 慌てて大丈夫か心配水分、食品の不足
- ・ 非常食などが足りるのか

【60代】

- ・ ペットと一緒に避難出来るか
- ・ 家族との連絡
- ・ 家族との連絡がとれるか不安です。
- ・ 家族の安否、トイレ、食料
- ・ 皆がバラバラにいるので、その後の安否確認
- ・ 車での避難だと渋滞が心配
- ・ 住まいの確保について
- ・ 食料、家族の安全
- ・ 足が少し悪いので、急げるか
- ・ 老人の避難方法

【70代】

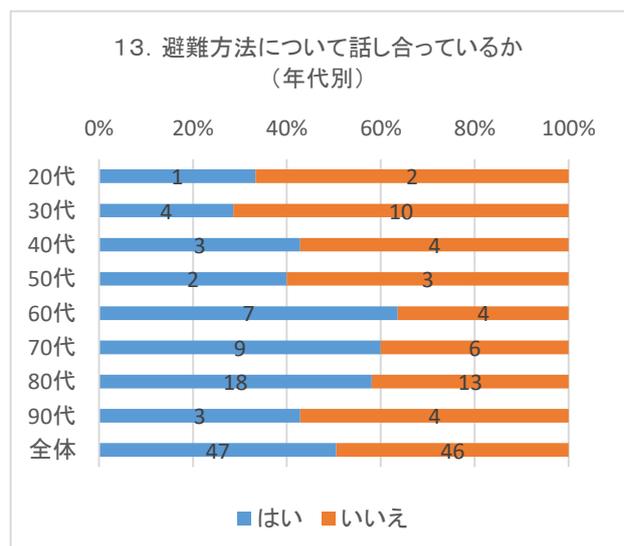
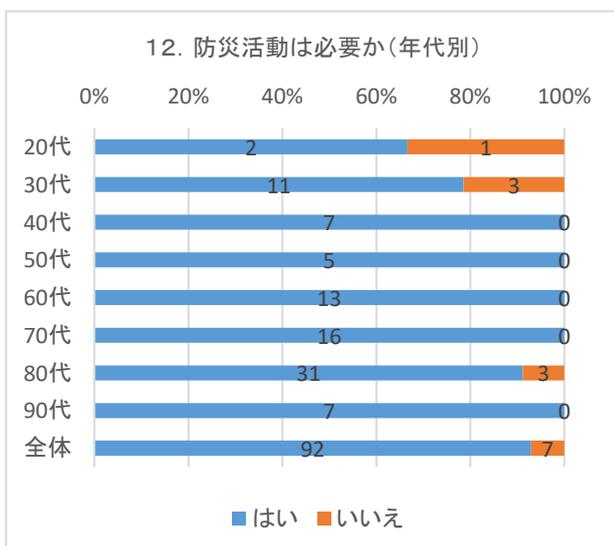
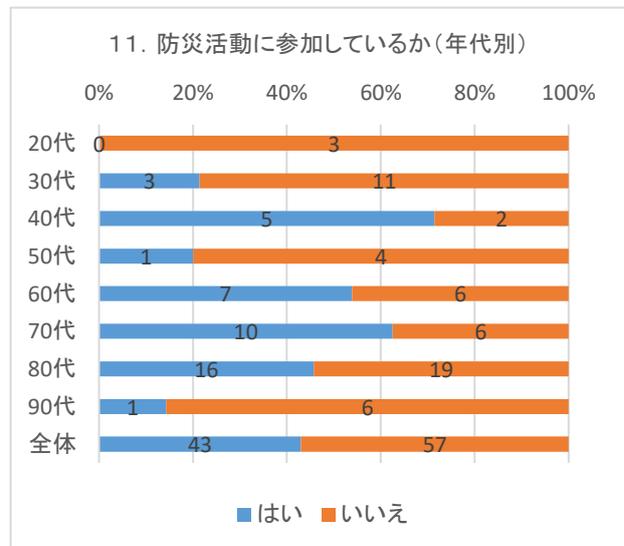
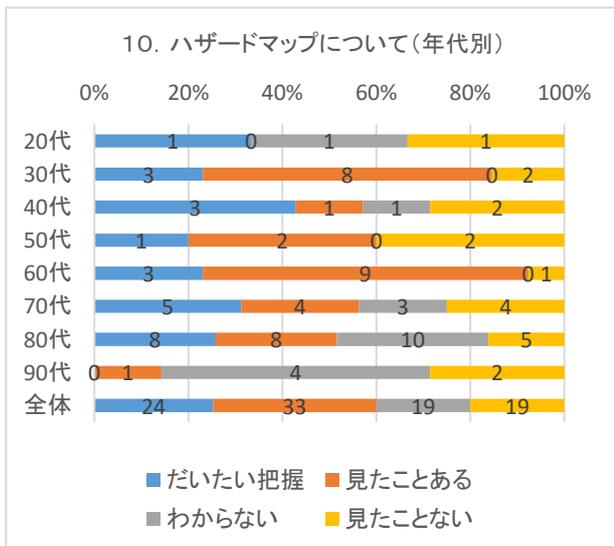
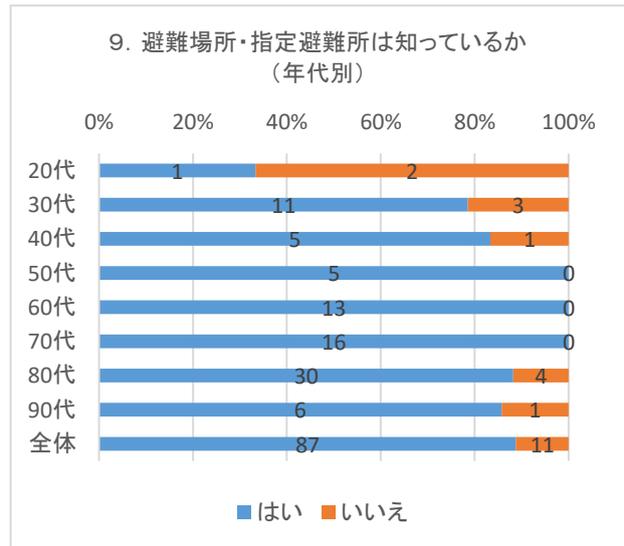
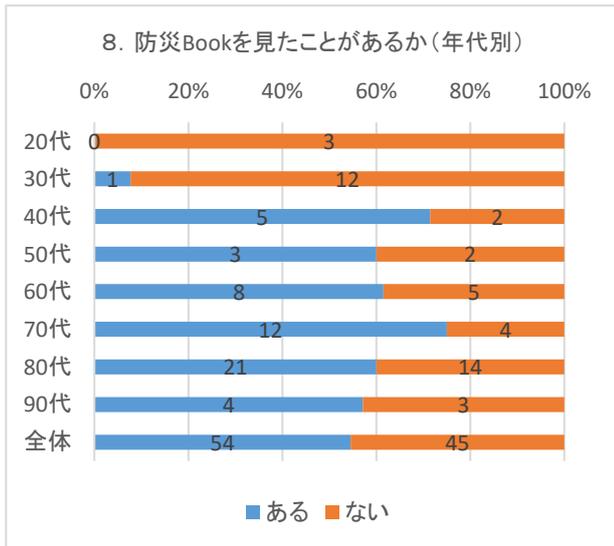
- ・ 家の横に川があるので、大雨、洪水が心配一人暮らしなので、2階に上がるしかできないかな
- ・ 家族が2人も高齢なので、避難方法が心配です。
- ・ 災害の状況が把握できるか？自分たちにその状況が伝えもらえるのか？
- ・ 防災ラジオの雑音が多すぎる。よく聞こえない。
- ・ 避難場所、食品、生命の危機

【80代】

- ・ 1人であるため、家族が桜井にいるけど少し不安です。
- ・ 1人暮らしだから色々不安（雨とか風とか）自然には勝てないと思っている。
- ・ あっという間に水がつくと思うので、年寄りには逃げられないだろう。
- ・ その後の火災が心配
- ・ オール電化なので漏電が心配
- ・ トイレ、水をどこでもらうか息子と携帯で連絡とれるはずだが心配
- ・ 一人暮らしなので、自分一人で避難できるか心配
- ・ 家
- ・ 公共交通
- ・ 高齢だから何かと心配
- ・ 自分の足で歩けるか不安
- ・ 初期避難の場所と方法
- ・ 水、電気、食料
- ・ 足が痛いので歩くのが心配
- ・ 津波(2名)
- ・ 電気、水道等ライフラインの停止
- ・ 土砂崩れ
- ・ 避難場所が遠い
- ・ 避難場所まで、歩いていけるか不安。夫は運転しているが、88歳であるので心配。
- ・ 歩いていけるかわからない（2名）
- ・ 夜は心配になります。
- ・ 連絡方法、家族の安否。自分のことについて連絡を取り合うことができるか？携帯がつながるか？

【参考】

※設問8～13までの年代別回答比較



黒部市社会福祉法人連合会『ふくしの暮らしアンケート【防災編】』

日頃より、本会の事業に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では地域のニーズや課題を受け止め、市民の福祉の向上を図ることを目的とし、年越しまつりにご来場いただきました皆様方を対象に調査を実施させていただきます。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

※あてはまる番号に○をつけてください。

◎あなた自身の情報について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年代をお聞かせください。

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
5. 60代 6. 70代 7. 80代 8. 90代以上

問3 あなたの住んでいる地域はどちらですか。

1. 市内（ 地区） 2. 市外（ ）

◎災害への意識について

問4 近年、各地で自然災害が発生していますが、あなたの防災への意識は高まりましたか。

1. 非常に高まった
2. ある程度高まった
3. あまり変わらない
4. 全く変わらない
5. その他（ ）

問5 お住いの地域における地震、台風、大雨など大きな自然災害が発生する確率が年々高まっていると感じますか。

1. とても感じる
2. ある程度感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない

◎災害への備えについて

問6 ご家庭で、備えをしている自然災害はありますか。

1. 地震 4. 特になし
2. 津波 5. その他（ ）
3. 大雨・台風

裏面に続きます →

問7 ご家庭では、地震や津波への備えを何かしていますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 家具の固定 | 6. ガラスの飛散防止 |
| 2. テレビなどの転落・落下防止 | 7. ポリタンク（水入れ）の準備 |
| 3. 非常持ち出し袋の準備 | 8. 消火器の設置 |
| 4. 非常食の準備 | 9. 住宅用火災報知器の設置 |
| 5. 飲料水の準備 | 10. その他 |
| | () |

問8 くろべ防災Bookを見たことがありますか。

1. ある 2. ない

問9 あなたの地域の指定緊急避難場所及び指定避難所をご存知ですか。

1. はい 2. いいえ

問10 「ハザードマップ」などで、ご自宅を見たことがありますか。

1. だいたいの災害リスクを把握している
2. 見たことはあるが災害リスクの確認まではしていない
3. どこにあるかわからない、または知らない
4. 聞いたことはあるが、見たことはない

問11 地域の防災活動（訓練）に参加されていますか。

1. はい 2. いいえ

理由：

問12 地域の防災活動（訓練）は必要だと思いますか。

1. はい 2. いいえ

理由：

問13 ご家族で避難の方法を話し合っていますか。

1. はい 2. いいえ

問14 仮に災害が起きた時、どのようなことが不安ですか。

ご協力ありがとうございました
黒部市社会福祉法人連合会

平成 2019 年度 黒部市社会福祉法人連合会
『ふくし暮らしアンケート【防災編】』調査報告書

発 行 令和 2 年 1 月

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp

社協広報誌「福祉くろべ」読者アンケート

調査報告書

令和2年1月

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

1 アンケート調査目的

黒部市社会福祉協議会は『誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり』を目指し、市民の皆様の地域福祉への関心と自発的な行動を促すような情報を提供することを目的に、毎月広報誌「福祉くろべ」を発行している。

この調査は、平成 29 年 4 月に誌面のリニューアルを行ってから 3 年が経過した「福祉くろべ」の今後の発行にあたって、読者の方々を対象にアンケート調査を行い、購読の現状と課題を整理分析し、より充実した誌面作りに活かすことが目的である。

2 調査対象(別紙送付先一覧参照)

- ・令和元年度共同募金 福祉くろべ送付団体 38 団体
- ・令和元年度賛助会員 福祉くろべ送付団体 41 団体
- ・地区社協 16 団体
- ・市内小中学校、保育施設、福祉施設など 49 団体
- ・県社協(他市町村社協含む)16 団体 計 160 団体
- ・一般市民(福祉くろべ 12 月号・黒部市社会福祉協議会ホームページに掲載)

3 調査実施期間

令和元年 11 月 26 日～令和 2 年 1 月 7 日

4 アンケート調査方法

方法 1:福祉くろべ 12 月号(No.165)の送付に合わせ、アンケート用紙を 1 団体(施設)に 3 枚ずつ送付し、本会へ返送していただくよう案内する。

方法 2:福祉くろべ 12 月号(No.165)に掲載し一般の読者からの回答

回収:回収団体・個人—27 団体・20 個人

回収数—187 枚

5. 調査結果まとめ (※調査報告書は別紙)

今回のアンケート調査では、27 団体、20 個人から、合計 187 枚の回答を得ることができた。

1. 「福祉くろべ」を読んでいますか

「毎号読んでいる」が 45.5%、「時々読んでいる」が 44.9%、「ほとんど読んでいない、全く読んでいない」が 9.7%であった。

2. よく読む記事

「特集」が 109 票と最も多く、次いで、「表紙」が 100 票、「活動レポート」が 51 票、「今月の表紙」が 43 票、「ふくしスマイルワーカー」が 37 票、「写真レポート」が 33 票と続いた。

特徴として、表紙を含む 1～6 頁までの写真入りの記事が多く読まれていた。

3. あまり読まない記事

うなづき生き生き倶楽部、元気はつらつ体操教室、今月の相談日、催し物と休館日等、広報誌 7～8 頁に掲載されている社会福祉協議会や福祉センターの行事予定等の情報はあまり読まれていなかった。

但し、今回調査を依頼した団体は企業等、就業者が多く、各種行事への参加が難しいことから、読まれていないと考えられるため、あまり読まない記事として票が多く入ったとはいえ、今後も市民ニーズがある記事と捉える。

4. 記事(内容)について

約 9 割が「ちょうどよい」と回答。リニューアル前の調査結果よりもよいと感じている人の割合が増えていることがわかった。

○2017 年調査:「ちょうどよい」84.2% → 2019 年調査:「ちょうどよい」90.5%

5. 誌面(デザイン)について

「ふつう」が 53.3%、「読みやすい」が 45.6%であった。この結果については、前回(2017 年)の調査結果とほとんど変わっていなかった。

6. 読んでいないと答えた方の理由

全体の約 1 割が「読んでいない」と回答し、その理由として「特に読みたい記事がない」が 38.9%、「読む時間がない」が 33.3%、「市外在住のため」が 22.2%であった。

7-1. 特集について、これまでに印象の残った特集

前回調査以降の 2017 年 3 月号から、現在までの特集テーマ全 34 号(No.132～No.165)の中から投票してもらい、票数にばらつきはあるものの、ほぼ全ての号に票が入ったことから、あらゆるテーマで特集を掲載していることが、読者にも幅広く興味を示してもらえていることがうかがえる。

7-2. 特集について、特によかったバックNo. と理由

特に関心が高かった記事は、No.158(LINE bot で福祉の「困った」に答えます！)、No.161(一緒になるということ 中学校の統合を通して)、No.165(おかげさまの 58 年 この町で生まれ、育ち、歩んで)であった。全体を通して、選ばれるテーマは様々であったが、選ばれた理由としては、どなたも自分のふだんの暮らしの中で、関わりのあった人やモノ、身近な地域に関するテーマであることがきっかけになっていることがわかった。

8. 今後取り上げてほしいテーマは？

世代によって多少違いはあったが、自分にとって身近なことをより詳しく知りたいという声が多かった。20代、30代からは子育てや福祉施設に関する情報、30代、40代からは中高生の活躍、介護、ボランティア活動等について、60代、70代になると子育て支援や高齢化対策、地域活動等に関心があった。

9. 今後登場してほしい人物は？

様々な回答が得られたが、地域で福祉に取り組んでいる方にスポットをあて、紹介して欲しいという声が多くあがった。

10. 今後の誌面の配布方法について

「これまで通り紙がよい」が 74.3%、「紙と SNS の両方あればよい」が 18.0%、「紙での広報誌は必要ない」が 1.8%と、紙での発行を望む声が多かった。

11. 本誌に対するご意見・ご感想

表紙やレイアウトがとてもよい、読みやすく、情報量もちょうどよいという意見が多くあった。一方で、広報誌と一緒にしてほしい、公共施設の設置場所を HP に掲載してほしいという声もあがっており、今後の課題として、改めて検討していきたい。

その他、自身や身近な人の掲載、このアンケートを通じて福祉くろべに対して興味を持つことができたという意見もあった。

<お客様情報>

(年齢・性別・居住地)

回答者の約半数が、40代、50代であったが、若年世代、高齢世代からも満遍なく回答を得ることができた。

回答者の性別は、女性が約 7 割、男性が約 2 割で、居住地は、約 7 割が市内在住で、約 2 割が市外在住であった。

○家族で福祉くろべはどなたが読まれていますか

(回覧方法・・読者の年齢)

市内在住者における家族間の回覧方法は、特定者のみで回覧している家庭が約 5 割、家族全員で読んでいる家庭が約 2 割であった。

読者の年齢は、50 代～60 代が多く全体の約 5 割を占めていたが、年代問わず、幅広い層で読まれていた。

○アンケート送付団体(地区社協・市内小中学校・保育施設・福祉施設他)

No.	団体名
1	生地地区社会福祉協議会
2	石田地区社会福祉協議会
3	田家地区社会福祉協議会
4	村椿地区社会福祉協議会
5	大布施地区社会福祉協議会
6	三日市地区社会福祉協議会
7	前沢地区社会福祉協議会
8	荻生地区社会福祉協議会
9	若栗地区社会福祉協議会
10	東布施地区社会福祉協議会
11	宇奈月公民館
12	音沢公民館
13	内山公民館
14	愛本公民館
15	下立公民館
16	浦山公民館
17	黒部市立中央公民館
18	黒部市立図書館
19	うなづき友学館
20	黒部市美術館
21	黒部市吉田科学館
22	生地小学校
23	石田小学校
24	たかせ小学校
25	村椿小学校
26	中央小学校
27	桜井小学校
28	荻生小学校
29	若栗小学校
30	宇奈月小学校
31	桜井中学校
32	鷹施中学校
33	高志野中学校
34	宇奈月中学校

No.	団体名
35	くるみ保育室
36	生地こども園
37	石田こども園
38	田家保育所
39	村椿保育所
40	大布施保育所
41	三日市保育所
42	三島保育所
43	前沢保育所
44	荻生保育所
45	若栗保育所
46	東布施保育所
47	愛児保育園
48	さくら幼稚園
49	下立保育所
50	うらやま保育園
51	東部児童センター
52	中央児童センター
53	子育て支援センター
54	宇奈月子育て支援センター
55	つばき苑
56	越野荘
57	越路さくら
58	おらはうす宇奈月
59	越之湖
60	シルバー人材センター
61	黒部市やわらぎデイサービスセンター
62	せせらぎハウス黒部
63	コラーレ
64	セレネ
65	黒部郵便局
66	富山県社会福祉協議会 2
67	富山県内 14市町村
計81団体	

○アンケート送付団体(共同企業募金・賛助会員)

共同企業募金

No.	企業名
1	飯澤醤油味噌店
2	池田電設興業株式会社
3	宇奈月グランドホテル
4	宇奈月国際ホテル
5	黒部・宇奈月温泉やまのは
6	宇奈月通運株式会社
7	エスケータック株式会社
8	延楽
9	大高建設株式会社
10	株式会社音沢土建
11	株式会社環境総合テクノス富山支店 宇奈月営業所
12	株式会社かんでんエンジニアリング黒部川営業所
13	株式会社此川運輸
14	株式会社新興
15	株式会社トヤマデータセンター
16	株式会社中西電気
17	株式会社ニイカワポータル
18	北埼玉物株式会社
19	共和土木株式会社
20	お酒のお宿 喜泉
21	黒部市宇奈月国際会館「セレネ」
22	此川建設株式会社
23	狐狸庵
24	桜井建設株式会社
25	JX金属三日市リサイクル株式会社
26	ダイヤテックス株式会社
27	東栄土木株式会社
28	富山三菱自動車販売株式会社 魚津南店
29	北星ゴム工業株式会社
30	北陸コカ・コーラボトリング株式会社 富山支店
31	ホテル溪仙
32	ホテル桃源
33	ホテル黒部
34	有限会社協和印刷社
35	有限会社篠崎自動車修理工場
36	吉田タイヤ
37	ワークマン 黒部店
38	YKK株式会社
計38団体	

その他

「福祉くろべ12月号」読者(一般市民)

賛助会員

No.	福祉団体
1	黒部市老人クラブ連合会
2	黒部市児童クラブ指導者協議会
3	黒部市視覚障害者協会
4	黒部市更生保護女性会
5	黒部手話サークルひまわりの会
6	青少年育成黒部市民会議
7	黒部市保護司会
8	黒部市更生保護協力会
9	くろべ女性団体連絡協議会

No.	社会福祉施設(社会福祉法人)
1	社会福祉法人緑寿会
2	社会福祉法人黒部笑福学園
3	社会福祉法人くろべ福祉会
4	社会福祉法人せせらぎ会
5	グループホーム荻生 金さん銀さん

No.	黒部市内NPO団体
1	特定非営利活動法人つむぎ
2	特定非営利活動法人コミュニティサポート黒部

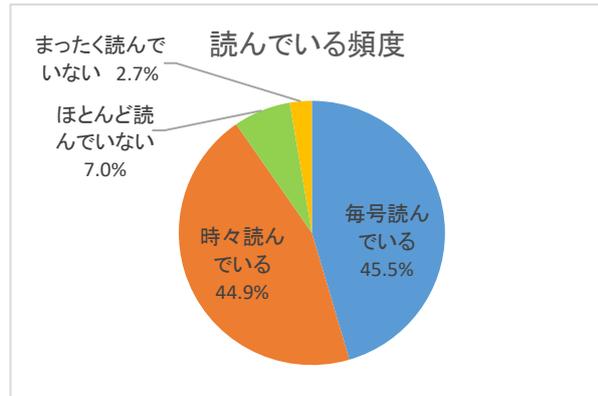
No.	団体・企業
1	黒部峡谷鉄道株式会社
2	関西電力株式会社
3	飛弾配管工業株式会社
4	有限会社八木商店
5	魚津印刷株式会社
6	デスクサポートくりっぷ
7	株式会社河上事務機
8	JAくろべ女性部
9	株式会社植万
10	丸中水産株式会社
11	協進工業株式会社
12	株式会社カーフィールド
13	辻建設
14	株式会社経塚組
15	東洋ゼンマイ株式会社
16	株式会社辻鉄工
17	カナヤママシンアリー株式会社
18	第一建設株式会社
19	株式会社堀内商会
20	株式会社すがの印刷
21	横山冷菓株式会社
22	リラハウスもりおか
23	株式会社吉田商会
24	平野工務店株式会社
25	北陸コンピュータ・サービス株式会社
計41団体	

アンケート結果報告書

「福祉くろべ」読者アンケート結果

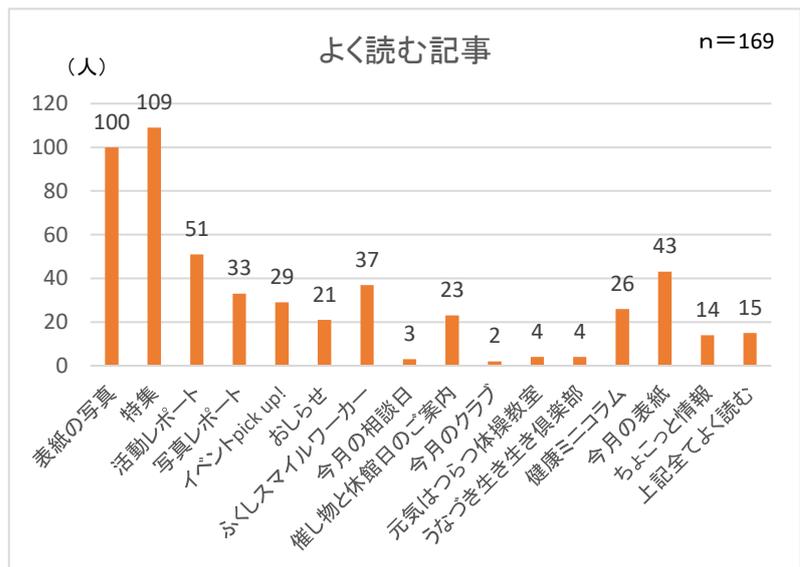
1. 「福祉くろべ」を読んでいますか

	回答(人)	%
毎号読んでいる	85	45.5
時々読んでいる	84	44.9
ほとんど読んでいない	13	7.0
まったく読んでいない	5	2.7
全体	187	100.0



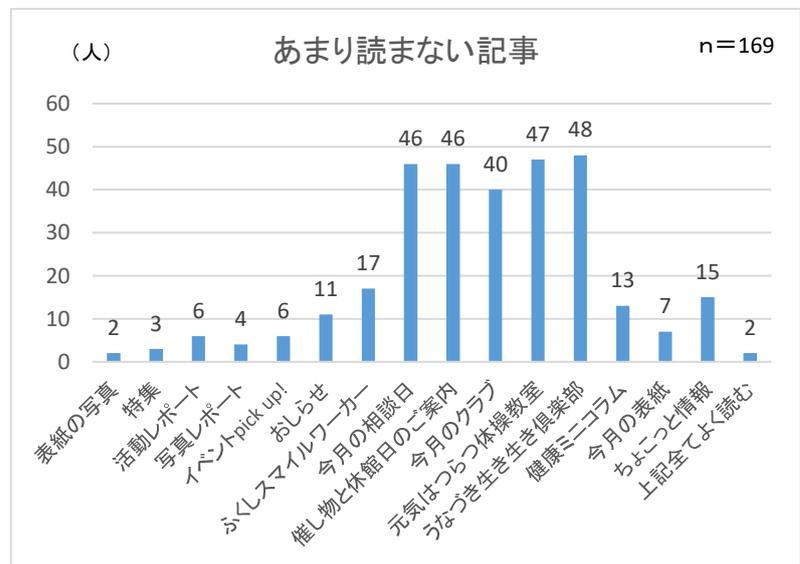
2. よく読む記事（複数回答可）

項目	回答数
表紙の写真	100
特集	109
活動レポート	51
写真レポート	33
イベントpick up!	29
おしらせ	21
ふくしまイルワーカー	37
今月の相談日	3
催し物と休館日のご案内	23
今月のクラブ	2
元気はつらつ体操教室	4
うなづき生き生き倶楽部	4
健康ミニコラム	26
今月の表紙	43
ちよこつと情報	14
上記全てよく読む	15



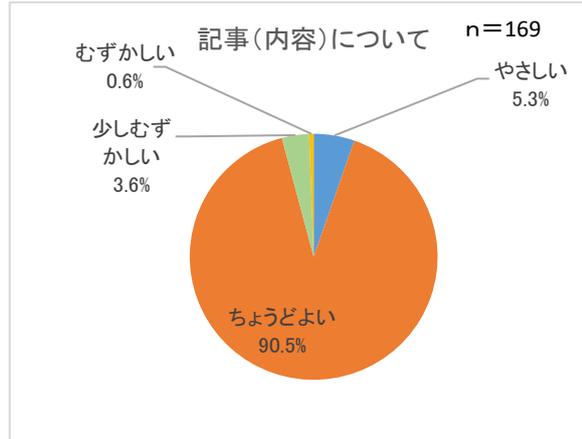
3. あまり読まない記事（複数回答可）

項目	回答数
表紙の写真	2
特集	3
活動レポート	6
写真レポート	4
イベントpick up!	6
おしらせ	11
ふくしまイルワーカー	17
今月の相談日	46
催し物と休館日のご案内	46
今月のクラブ	40
元気はつらつ体操教室	47
うなづき生き生き倶楽部	48
健康ミニコラム	13
今月の表紙	7
ちよこつと情報	15
上記全てよく読む	2



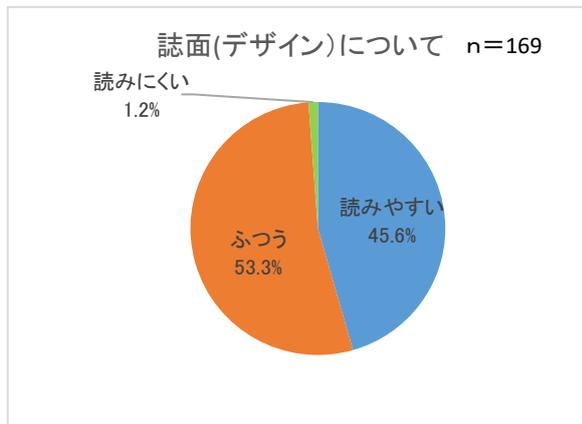
4. 記事（内容）について

	回答（人）	%
やさしい	9	5.3
ちょうどよい	153	90.5
少しむずかしい	6	3.6
むずかしい	1	0.6
全体	169	100.0



5. 誌面(デザイン)について

	回答（人）	%
読みやすい	77	45.6
ふつう	90	53.3
読みにくい	2	1.2
全体	169	100.0



○理由

内容が長く途中で嫌になる（60代・男性）

6. 問1で「読んでいない」と答えた方

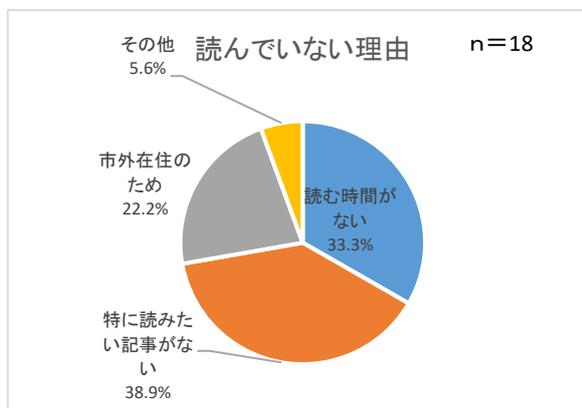
読んでいない理由

	回答（人）	%
読む時間がない	6	33.3
特に読みたい記事がない	7	38.9
市外在住のため	4	22.2
その他	1	5.6
全体	18	100.0

【その他】

存在自体に気がついていない

市報も基本的には目をとおしていない



7. 特集について

7-1. これまでに印象に残った特集

発行年月	発行No.	テーマ	回答数	
2017年	3月	No.132 自分の命を守るための -うらやま『命のポケット』-	14	
	4月	No.133 しあわせてなんだろう 松倉芳次郎さん10歳からのメッセージ	5	
	5月	No.134 人の心に寄り添うモノづくり 車椅子開発にかける思い	8	
	6月	No.135 「わからない」に寄り添う 外国人も暮らしやすい地域に	0	
	7月	No.136 子どもたちの成長に寄り添う 放課後児童クラブ	11	
	8月	No.137 「一緒に行かんまいけ！」 参加者を増やす魔法の言葉	2	
	9月	No.138 時間と仲間はつくるもの 人生を楽しもう	4	
	10月	No.139 もしも介護が必要になったら 家族で支え、制度で支える	17	
	11月	No.140 いきいきと生きる！ 佐々木さんの元気の秘訣	2	
	12月	No.141 自分と向き合う 引きこもり・ニートからの再出発	10	
	2018年	1月	No.142 「恩返し」 育つから育てるへ	3
		2月	No.143 黒部から世界を目指す 20歳の挑戦	9
3月		No.144 大好きな黒部で働く Uターンして地域を支える若者	17	
4月		No.145 羽ばたく若者たち 18歳、新生活スタート！	5	
5月		No.146 ともに考え、ともにつくる 自分たちで考えていく地域のあり方	6	
6月		No.147 好きなことを仕事にする 人もまちもハッピーになれる1杯	6	
7月		No.148 移住がつなぐ幸せ パパから見る黒部とは	13	
8月		No.149 ママたちの味方 地域で働く助産師	16	
9月		No.150 生まれ育った地域のために 四半世紀の思いをつなぐ	4	
10月		No.151 「大切に使う」を育てるボランティア 黒部のおもちゃドクター	15	
11月		No.152 笑顔あふれる黒部市消防団女性分団 10年を振り返る	11	
12月		No.153 高校生の思い 黒部をこう感じています	17	
2019年	1月	No.154 世界を見てきた黒部の若者 青年海外協力隊の活動を通じて	11	
	2月	No.155 田家地区が元気な理由は？ 話すことからはじめよう	11	
	3月	No.156 「いつもの備え」が「いざの備え」に 自分で、家族で、そして地域で	19	
	4月	No.157 「さらけだせ」から3年 次の合言葉は「お互いさま」	6	
	5月	No.158 LINE botで福祉の「困った」に答えます！ みんなでつくる知恵袋	12	
	6月	No.159 みんなで見守る「くろベネット」 安心して住み続けられるまちに	16	
	7月	No.160 “人づくり”が社会を明るくする 地域の安心を支える保護司	7	
	8月	No.161 一緒になるということ 中学校の統合を通して	27	
	9月	No.162 黒部からオリンピックを目指して 人のつながりを生み出す力	11	
	10月	No.163 支え合いのカタチ 「好き」を活かしたワンアクション	7	
	11月	No.164 縁をつなぐ場所とモノ お互いさまを育むために	14	
	12月	No.165 おかげさまの58年 この町で生まれ、育ち、歩んで	19	

7-2. 特によかったバックNo.と選ばれた理由

No.	理由	年齢	性別
132	一人暮らしの高齢者が増えており、もし何かあったときの備えが重要だと思うから。	40代	女性
133	父親と同じ年齢。息子さんも知人	60代	女性
138	人生を楽しく（まずは健康づくり）	60代	女性
139	介護は身近な問題なので、参考になりました。	50代	女性
139	自分も介護が必要になると思うので	60代	女性
139	自分の家族のことを考えた。	70代	女性
141	世間は隠すようなことを勇気をもって取り組んでいたから。	40代	男性
141	難しいことだけど、再出発した人も、それを支えた人もすごいと思ったから。	50代	女性

No.	理 由	年齢	性別
144	地元で働く若者の生まれ育った地域への愛着や家族への思いが伝わる内容でした。	50代	男性
145	若い世代が特集に出ることで、幅広い世代が興味を持ってくれるのではと思う。	30代	女性
149	子供を産んだ経験があるので、気になって読んだ記憶がある。	30代	女性
149	自分がお世話になった助産師さんだった。	30代	女性
149	自分がお世話になったので	40代	女性
149	ちょうどタイミングが良かった。	60代	女性
151	黒部の宝だと思う。実際利用し、助かっている。	40代	無回答
151	使い捨ての現代、治せばまだまだ使えるというのを思い出しました。	70代	女性
152	知人が活躍していた。	40代	女性
154	ボランティアを通じ、世界で頑張っている若者の姿が知れた事	50代	男性
154	興味のある内容だったから	30代	女性
155	公民館で催されているから	30代	女性
155	木曜カフェ	30代	女性
156	災害が続き、人ごととは思えなくなりました。	70代	女性
156	最近、様々な災害がおきているから	40代	男性
156	災害が少ない地域ではあるけれど、いつ何が起こるか分からないということを認識させられたから	40代	女性
157	みんなで作る、みんなの町を考える機会となりました。	40代	女性
158	自分も参加したから	無回答	無回答
158	どんなものなのかな？と興味があったから	20代	女性
158	福祉における先駆的な事業であるため	20代	女性
158	LINEbotに興味があったので	30代	無回答
158	LINEbotの研修に自分が参加したので	40代	男性
158	LINEアカウントを使う社協はあっても、bot対応するところまでは見たことが無かったため	40代	女性
158	LINEでこんな取り組みをしているんだなと知り、勉強になった。黒部市の保育士さんも多く参加していて、活用していきたいと思ったから	50代 60代	女性 女性
159	くろベネットに関わっているもので、しっかり読もうと思って目を通していた。	60代	女性
159	認知症の家族を見ていて、関心がありました。(No.163も選択)	50代	女性
161	普段とはちがったテーマだったので	40代	女性
161	今後は気になるので	40代	女性
161	統合に向けての取り組みを知ることができたから	40代	女性
161	子供が中学生なので	40代	無回答
161	課題としてあがっていても触れにくい部分をこどものフィルターを通していたため共感を感じやすかったです。社協の広報誌としてこの題材に攻め込めるのは、さすがだなと思いました。	50代	女性
162	銀盤につとめながらオリンピックを目指し、また会社や地域の応援が素晴らしい！	50代	男性
163	通いの場で、一人ひとりが役割をもって楽しんでおられる雰囲気伝わってきたため	20代	男性
163	自分の仕事に参考になったからです。	50代	女性
164	自分がしている活動を見える形にまとめてくださったことで、私自身振り返ることができ、引き続き活動を続ける励みになりました。また、反響の大きさに読者の多さと年代の幅広さを感じておりますとともに、私の存在は知っていても、どんな人かよく知らなかった人、活動していることを知らなかった人、写真付きの記事で知っていただけただけで、私自身またひとつ地域につながりを深めることができたと感じております。掲載いただきありがとうございました。	30代	女性
165	特集が良かった。	30代	女性
165	特集の内容が面白かった。	30代	男性
165	仕事＝生きがいとされている。地域の方からたよりにされている。	30代	女性
165	ひとつのことをずっと続けることがすごい	50代	女性
165	生まれ故郷の生地の特集で、なつかしく読ませて頂いた。	50代	男性
165	自分の住んでいる所の人なので	60代	無回答
165	気持ちのこもった、素敵な記事だと感じました。	70代	女性

8. 今後取り上げてほしいテーマ

今後取り上げてほしいテーマ	年齢	性別
障害児を育てておられる世帯（～日常の中にある辛さと楽しさ～）	20代	男性
子育てママの励みになるようなテーマ（息抜きの方法・場所etc）	20代	女性
これまでも取り上げられたかもしれませんが、先日ニュース（テレビ）で在宅の一人暮らしの方への支援（機械を通して安否確認する）が画期的だと思いました。一人の方もこれだったら安心できるなと思い、良かったらくわしく教えてほしいです。	30代	女性
企業の福祉（くろベネット企業版のとくみ）	30代	女性
子どもに関すること	30代	女性
地域で活動している個人事業主のママ	30代	女性
福祉とは…	30代	女性
福祉施設の活動紹介	30代	女性
福祉施設の内容 良い所や大変な所など	30代	女性
若い、福祉	30代	女性
福祉の現場で苦労したことや、それを乗り越えたエピソードを知りたい。	30代	無回答
コラーレ	40代	男性
ジェンダー	40代	男性
介護についての情報 ・災害時の助け合いのための地区の取り組み ・ボランティアや救援物資の募集（どこかで災害があった時に）	40代	女性
介護のことをテーマに出してほしい。	40代	女性
各地区についてピックアップしてとりあげてほしい。	40代	女性
孤独死を防ぐためには	40代	女性
黒部市の将来について	40代	女性
若い方が福祉にどのように関わっているか？そのようなテーマに興味があります。	40代	女性
手話、音訳ボランティア	40代	女性
地域で活動や活躍等している人、ボランティア	40代	女性
地域の子育て家庭の現状や、育児サークルなどの紹介	40代	女性
介護に関するいろいろな行政等のサービスや情報	50代	男性
いつも身近にあるテーマを新鮮な切り口で紹介されていて、とても魅力的な紙面だと感じています。身近な小さな取り組みに光を当てるような特集を（引き続き）期待します。	50代	女性
介護について、支援を受けたいけれど分からない人のために…の様な不安を少しでもとりのぞけるようなテーマを読みたいです。	50代	女性
地元の中学生、高校生の活躍も記事にしてほしい。スポーツや芸能だけでなく、地域とのかかわりを通して成長していく姿など	50代	女性
防災について、様々な視点から。	50代	女性
老老介護について	50代	女性
子育て支援（周囲ができること）	60代	男性
幅広く、特集を取り上げて（浅く広く）	60代	男性
ボランティア関係	70代	男性
各地域の活動状況を	70代	男性
共同募金について理解不足。助成を受けた福祉施設や団体等の配分先…	70代	男性
地区のニーズのとらえ方（例えばアンケートを）	70代	男性
「くろベネット」の内容を知らない人が多いので、何回も（少しずつ）しつこいくらいに取り上げる必要があるのでは？	70代	男性
高齢化をどのように乗り切っていくか。少子化対策	70代	女性

9. 今後登場してほしい人、紹介したい人

今後登場してほしい人、紹介したい人	年齢	性別
市内で活動しているボランティア団体さん等の紹介や活動にいたる経緯などを読みたいです。団体があることや活動内容を知らない人にとって、知る機会になりますし、知ることで活動に参加するきっかけになれば、団体側の新規会員や若い世代が集まらない悩みを解消するきっかけにつながるかもしれません。また、私自身がそうであったように掲載していただくことで引き続き活動を続ける励みになる人もいると思うからです。	30代	女性
TOMOMIさん、音空さんなどのアーティスト	40代	男性
高校生や中学生、若い方でボランティアに関わっている様子、方法などを紹介してほしいです。	40代	女性
若者やサークル活動をしている人など	40代	女性
地域で活動や活躍等している人、ボランティア	40代	女性
老人保健施設カリエールの舟田さん（富山県介護福祉士会会長）	40代	無回答
地域で頑張っている人、特技をいかして頑張っている人の紹介	50代	女性
地道に努力して活動している人たち（名前はわかりません）	50代	女性
福祉の先進地情報、今何の福祉が求められるか	50代	女性
大野市長	50代	女性
各地区から順番にジャンル関係なく登場してほしい（シリーズとして2～3人登場）	60代	男性
店舗が高齢で店じまいしている（もっとPRも含めて特集をしたら）	60代	男性
小学校の先生の苦労話	70代	女性

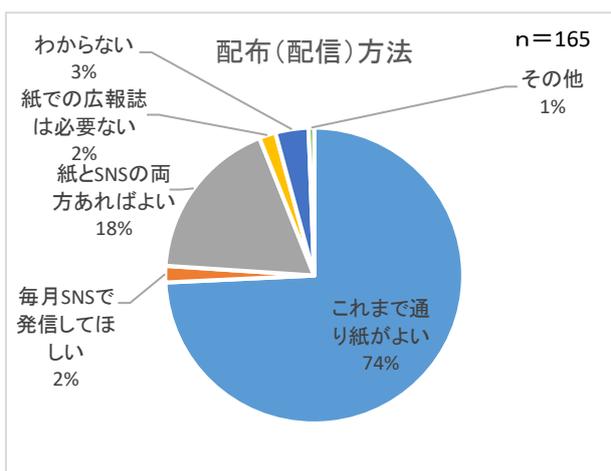
10. 今後の誌面の配布（配信）方法として望ましい手段（複数回答可）

	回答数	%
これまで通り紙がよい	124	74.3
毎月SNSで発信してほしい	3	1.8
紙とSNSの両方あればよい	30	18.0
紙での広報誌は必要ない	3	1.8
わからない	6	3.6
その他	1	0.6
全体	167	100.0

※無回答は除く

【その他】

団体長宛には不要だと思う



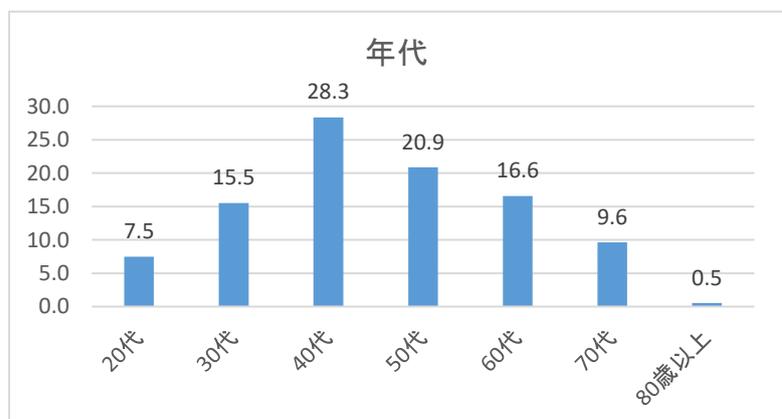
本誌に対するご意見・ご感想	年齢	性別
黒部市の市民の方々が楽しく活動されているところを紹介しているため、黒部市全体が生き生きしているように感じた。	20代	男性
京都在住ですが毎月チェックしています。	20代	男性
ふくしまイルワーカーでは知り合いの同業者が紹介されると「〇〇さんもがんばってるんだな」と励みになります。	20代	女性
仕事の休憩時間に見ている。いろいろな地域の情報がかかれていますので、これからも続けてほしい。紙での配信はあたたかみも感じられるので。(これまで通り紙がよい)	20代	女性
私は県外在住で毎回ホームページで見ますが、ホームページにあげるデータも表紙から順になっていけば見やすいと思います。黒部市の方は、見やすい広報紙でとても役に立っていると思います。	20代	女性
写真や絵が多く、色とりどりで非常に見やすいです。	20代	女性
正直なところ写真だけ見ている。	20代	女性
参考にさせていただいています。	30代	男性
誌面をとおして、人の生き方や考え方から学んだりエネルギーをもらったりすることが多くあります。毎号楽しみにしております。発行ありがとうございます。	30代	女性
おじいちゃんおばあちゃん向けの冊子だと思ったりもしていた。	30代	女性
見やすく、情報量もちょうど良いと思います。	30代	女性
見やすくてとても良いと思います。	30代	女性
同じ地域に住む人たちの生活や活動、人生について知ることができて、おもしろいです。表紙の写真が毎月とてもすてきなと思います。	30代	女性
特集で黒部に住んでいる様々な方を知ることができるので、大変ありがたいと思っています。	30代	女性
読みやすい内容だと思う。	30代	女性
表紙がかわいく、いつもこの子かなと楽しみに見えています。	30代	女性
福祉というワードがタイトルにあると、若い人たちは読むのに少しとっつきにくいかなと思います。	30代	女性
広報誌が自宅に届かない(マンション等)人が、HP上で見ることもできるのですが、入手したくて市内施設を探した(最終的にコラーレで見つけた)という話を聞きました。福祉くろべ設置(配布)場所を誌面またはHP(広報誌お知らせページ内など)にて紹介するといいいのかなと思います。	30代	女性
表紙の写真はいつもステキです。	40代	男性
すいません。市外在住のためほとんど読んだことがないですが、表紙のデザインがとても素敵で、良い意味で広報誌っぽくない見た目がイイなと思いました。	40代	男性
黒部広報にも入ってくるのでどちらか1通にしてください。	40代	男性
身近な方がのっているのとみてしまいます。写真が多いとよいです。	40代	女性
地域の中に様々な福祉の施設やグループなどあるんだなあ〜と。自分が年をとった時、どうなっているのだろうか…。と不安など	40代	女性
特集やスマイルワーカーに顔見知りの方が載っていると嬉しくなります。	40代	女性
表紙がほのぼのとしていいなと思う。誌面も見やすく、伝わりやすい。	40代	女性
福祉情報がわかりやすい。	40代	女性
毎月、これだけの情報をまとめられていることに、感心致します。お疲れ様です。	40代	女性
自分が公民館にかかわるようになり、広報や福祉くろべを読むようにしているが、その前は読んだことがなかった。	40代	女性
お疲れ様です。	40代	女性
いつも楽しく読まさせていただいております、特に、特集のテーマ、内容は期待しています。	40代	無回答
福祉くろべ 黒部広報と同じに入ってくるのが困りますどちらか1にしてほしいです。	50代	男性
介護等に関する相談内容をQ&Aのような形式で紹介する。毎号一つでもよい。過去3年間の内容を見て、中には興味を引くものもあり、今後開いてみるようにしようと思いました。	50代	男性
編集担当の方、いつも大変なご苦労があると思います。ありがとうございます。これまでも読んでいましたが、自分が出ることになってから、それまで以上に読むようになりました。大事な情報がたくさん詰まっていると思うので、これからもよろしくおねがいいたします。「今月の表紙」についているプチコメントがいつも楽しみです!!	50代	男性

本誌に対するご意見・ご感想	年齢	性別
いつも市報と一緒に配られてくるので、パラパラと見えています。このアンケートを機に、もう少ししっかり読みます。	50代	女性
いつも表紙がステキだなと思って見えています。	50代	女性
さっと読めるので読みやすい	50代	女性
どの記事も優しい気持ちがあふれていると思い、読ませていただいています。	50代	女性
毎回読んでいますが、写真の掲載や内容が読みやすくわかりやすい広報だと思います。	50代	女性
黒部市報と一緒に配られている為、見逃してしまいがちになる。配布する人も大変だと思うが別の日だと目にとまるのではないかな…。	50代	女性
紙面の構成が洗練されていて手に取りたくなる広報です。表紙の写真も何気ない風景が魅力的に切り取られていて、印象に残るものが多いです。	50代	女性
時代にあわせた今地域が求めることに合わせるのも大事ですが、高齢者に寄り添った情報の発信も大切にしてほしい。	50代	女性
毎号、興味深く読んでいます。まだまだくべの知らないことばかりだと思います。楽しい記事を待っています。	50代	女性
いつも楽しみにしています。	60代	男性
地区の記事がでていれば見るが、その他の地区はさっと流す程度である。	60代	男性
特集は1件以上でも良いのでは	60代	男性
全体的に読みやすく、なにか暗いイメージを持つ“福祉”ですが、明るく、将来的な希望があふれていて、楽しい毎回は毎回です。	60代	女性
自分も高齢になり福祉に関わることが多くなると思います。同年代の人達の考えにふれる為にも続けて読んでいきたい一冊です。	60代	女性
特集の題名（タイトル）のつけ方が気に入っています。	60代	女性
1か月に1回の発行は大変だと思います。ご苦労様です。	70代	男性
黒部広報と共に入り小家族にとっては迷惑しています。何れかにしてほしいです。	70代	男性
ページ数が少なく気軽に読めて、心に残る写真とコメントが多い。表紙の写真をいつも楽しみにしている。	70代	女性
文字は大きく、そしてテーマを少なくして下さい。	70代	女性

<お客様情報>

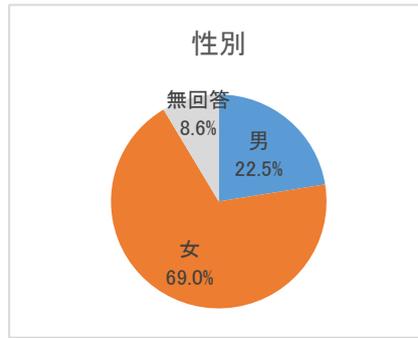
年代

	回答(人)	%
10代	0	0.0
20代	14	7.5
30代	29	15.5
40代	53	28.3
50代	39	20.9
60代	31	16.6
70代	18	9.6
80歳以上	1	0.5
無回答	2	1.1
全体	187	100.0



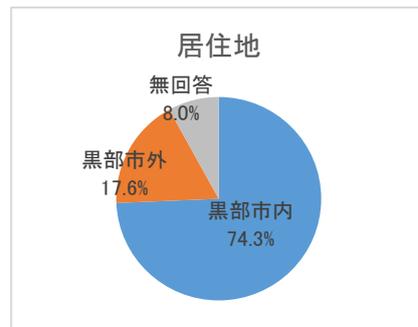
性別

	回答 (人)	%
男	42	22.5
女	129	69.0
無回答	16	8.6
全体	187	100.0



居住地

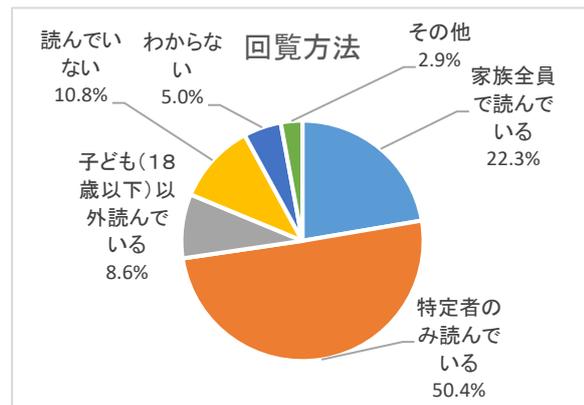
	回答 (人)	%
黒部市内	139	74.3
黒部市外	33	17.6
無回答	15	8.0
全体	187	100.0



【黒部市在住の方のみ回答】

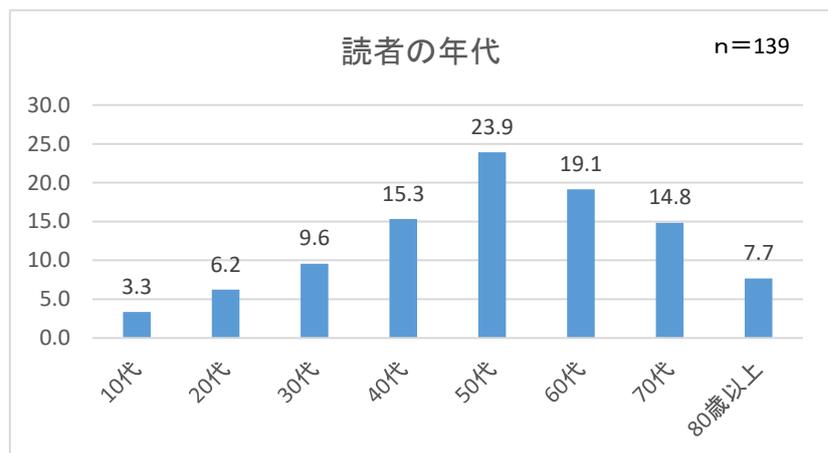
回覧方法

	回答 (人)	%
家族全員で読んでいる	31	22.3
特定者のみ読んでいる	70	50.4
子ども(18歳以下)以外読んでいる	12	8.6
読んでいない	15	10.8
わからない	7	5.0
その他	4	2.9
全体	139	100.0



読者の年代

	回答 (人)	%
10代	7	3.3
20代	13	6.2
30代	20	9.6
40代	32	15.3
50代	50	23.9
60代	40	19.1
70代	31	14.8
80歳以上	16	7.7
全体	209	100.0



アンケートフォーマット

黒部市社会福祉協議会 広報誌「福祉くろべ」読者アンケート

日頃は、福祉くろべをお読みいただきまして、ありがとうございます。
福祉くろべでは、より充実した誌面作りのために、記事内容に関する
ご意見・ご要望をお聞きする読者アンケートを実施します。
ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



同封の返信用封筒に回答を入れて、**1月7日(火)**までにご返送願います。
アンケートにご回答いただいた方全員に、粗品をプレゼントいたします。
複数でお答えいただける場合は、アンケート用紙をコピーしてご使用願います。

広報誌「福祉くろべ」とは…

福祉くろべは、『誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり』を目指し、住民の地域福祉への関心と福祉活動に関する啓発活動の推進を目的とし、毎月1回発行しています。

※該当箇所に☑をつけてください。

(記入日：令和 年 月 日)

1. 「福祉くろべ」を読んでいますか

- 毎号読んでいる
- 時々読んでいる
- ほとんど読んでいない →問6へ
- まったく読んでいない →問6へ



↑↑↑↑

スマホからもご回答いただけます

2. よく読む記事

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 表紙の写真 | <input type="checkbox"/> 黒部市福祉センター 催し物と休館日のご案内 |
| <input type="checkbox"/> 特集 | <input type="checkbox"/> 今月のクラブ |
| <input type="checkbox"/> 活動レポート | <input type="checkbox"/> 元気はつらつ体操教室(くろべ) |
| <input type="checkbox"/> 写真レポート | <input type="checkbox"/> 生き生き倶楽部(うなづき) |
| <input type="checkbox"/> イベントpick up! | <input type="checkbox"/> 健康ミニコラム |
| <input type="checkbox"/> おしらせ | <input type="checkbox"/> 今月の表紙 |
| <input type="checkbox"/> ふくしスマイルワーカー | <input type="checkbox"/> ちょこっと情報 |
| <input type="checkbox"/> 今月の相談日 | <input type="checkbox"/> 全て |

3. あまり読まない記事

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 表紙の写真 | <input type="checkbox"/> 黒部市福祉センター 催し物と休館日のご案内 |
| <input type="checkbox"/> 特集 | <input type="checkbox"/> 今月のクラブ |
| <input type="checkbox"/> 活動レポート | <input type="checkbox"/> 元気はつらつ体操教室 |
| <input type="checkbox"/> 写真レポート | <input type="checkbox"/> うなづき生き生き倶楽部 |
| <input type="checkbox"/> イベントpick up! | <input type="checkbox"/> 健康ミニコラム |
| <input type="checkbox"/> おしらせ | <input type="checkbox"/> 今月の表紙 |
| <input type="checkbox"/> ふくしスマイルワーカー | <input type="checkbox"/> ちょこっと情報 |
| <input type="checkbox"/> 今月の相談日 | <input type="checkbox"/> 全て |

4. 記事(内容)について

- やさしい ちょうどよい 少しむずかしい むずかしい

5. 誌面(デザイン)について

- 読みやすい ふつう 読みにくい(理由：)

→問7へ

アンケートフォーマット

6. 問1で「読んでいない」と答えた方 理由をお聞かせください。

- 読む時間がない 特に読みたい記事がない 市外在住のため
その他 ()

7. 特集について

7-1. 過去3年間で印象に残った記事がありましたら裏面の発行No.に☑をつけてください。

7-2. 過去3年間で特によかった発行No.をお選びいただき、選ばれた理由をお聞かせください。

No.	(理由)

8. 今後、取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。

--

9. 今後、登場してほしい人、紹介したい人がありましたらお聞かせください。

--

10. 今後、誌面はどのように配布（配信）することが望ましいと考えますか。（複数回答可）

- これまで通り紙がよい 紙での広報誌は必要ない
毎月SNSで発信してほしい わからない
紙とSNSの両方あればよい その他 ()

11. 本誌に対する皆さまの率直なご意見・ご感想等を是非お聞かせください。

--

<お客様情報>

- 年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
性別 男性 女性 居住地 黒部市内 黒部市外

黒部市在住の方にお聞きします。ご家族で福祉くろべはどなたが読まれていますか。

- 家族全員で読んでいる 読んでいない
特定者のみ読んでいる わからない
子ども（18歳以下）以外読んでいる その他 ()

↓
読者の年代(該当するものすべて)

- 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上

※粗品をご希望の方は、ご記入ください。

お名前

--

粗品送付先ご住所 ご自宅 お勤め先

〒

※お勤め先への送付をご希望の方は、社名・部署も併せてご記入ください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。
お答えいただいた内容を、今後の誌面作りに役立ててまいります

黒部市社会福祉協議会
TEL : 0765-54-1082
FAX : 0765-52-2797

7-1. 印象に残った発行No.に☑をつけてください。(複数回答可)

発行年月	発行No.	テーマ	
2017年	3月	<input type="checkbox"/> No. 132 自分の命を守るための -うらやま『命のポケット』-	
	4月	<input type="checkbox"/> No. 133 しあわせってなんだろう 松倉芳次郎さん102歳からのメッセージ	
	5月	<input type="checkbox"/> No. 134 人の心に寄り添うモノづくり 車椅子開発にかける思い	
	6月	<input type="checkbox"/> No. 135 「わからない」に寄り添う 外国人も暮らしやすい地域に	
	7月	<input type="checkbox"/> No. 136 子どもたちの成長に寄り添う 放課後児童クラブ	
	8月	<input type="checkbox"/> No. 137 「一緒に行かんまいけ！」 参加者を増やす魔法の言葉	
	9月	<input type="checkbox"/> No. 138 時間と仲間はつくるもの 人生を楽しもう	
	10月	<input type="checkbox"/> No. 139 もしも介護が必要になったら 家族で支え、制度で支える	
	11月	<input type="checkbox"/> No. 140 いきいきと生きる！ 佐々木さんの元気の秘訣	
	12月	<input type="checkbox"/> No. 141 自分と向き合う 引きこもり・ニートからの再出発	
	2018年	1月	<input type="checkbox"/> No. 142 「恩返し」 育つから育てるへ
		2月	<input type="checkbox"/> No. 143 黒部から世界を目指す 20歳の挑戦
3月		<input type="checkbox"/> No. 144 大好きな黒部で働く Uターンして地域を支える若者	
4月		<input type="checkbox"/> No. 145 羽ばたく若者たち 18歳、新生活スタート！	
5月		<input type="checkbox"/> No. 146 とともに考え、ともにつくる 自分たちで考えていく地域のあり方	
6月		<input type="checkbox"/> No. 147 好きなことを仕事にする 人もまちもハッピーになれる1杯	
7月		<input type="checkbox"/> No. 148 移住がつなく幸せ パパから見る黒部とは	
8月		<input type="checkbox"/> No. 149 ママたちの味方 地域で働く助産師	
9月		<input type="checkbox"/> No. 150 生まれ育った地域のために 四半世紀の思いをつなぐ	
10月		<input type="checkbox"/> No. 151 「大切に使う」を育てるボランティア 黒部のおもちゃドクター	
11月		<input type="checkbox"/> No. 152 笑顔あふれる黒部市消防団女性分団 10年を振り返る	
12月		<input type="checkbox"/> No. 153 高校生の思い 黒部をこう感じています	
2019年	1月	<input type="checkbox"/> No. 154 世界を見てきた黒部の若者 青年海外協力隊の活動を通じて	
	2月	<input type="checkbox"/> No. 155 田家地区が元気な理由は？ 話すことからはじめよう	
	3月	<input type="checkbox"/> No. 156 「いつもの備え」が「いざの備えに」に 自分で、家族で、そして地域で	
	4月	<input type="checkbox"/> No. 157 「さらけだせ」から3年 次の合言葉は「お互いさま」	
	5月	<input type="checkbox"/> No. 158 LINE botで福祉の「困った」に答えます！ みんなでつくる知恵袋	
	6月	<input type="checkbox"/> No. 159 みんなで見守る「くろベネット」 安心して住み続けられるまちに	
	7月	<input type="checkbox"/> No. 160 “人づくり”が社会を明るくする 地域の安心を支える保護司	
	8月	<input type="checkbox"/> No. 161 一緒になるということ 中学校の統合を通して	
	9月	<input type="checkbox"/> No. 162 黒部からオリンピックを目指して 人のつながりを生み出す力	
	10月	<input type="checkbox"/> No. 163 支え合いのカタチ 「好き」を活かしたワンアクション	
	11月	<input type="checkbox"/> No. 164 縁をつなぐ場所とモノ お互いさまを育むために	
	12月	<input type="checkbox"/> No. 165 おかげさまの58年 この町で生まれ、育ち、歩いて	

※特集記事は、黒部市社会福祉協議会のホームページ (<http://www.kurobesw.com/>)より、バックナンバーをご覧ください。

HPIはこちら↓



令和2年度

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 事業計画

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会事業計画の全体構成

I 基本構想（法人の経営理念）



○社会福祉協議会が目指す社会：ビジョン

「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」の推進

○実現のための重点項目：ミッション ※黒部市社会福祉大会決議 重点3項目

- 1 人材育成・組織強化の環境整備
- 2 地域福祉推進の場づくりと拠点整備
- 3 財源の確保

II 基本計画（＝黒部市への要望事項）

大会決議並びに「第3次黒部市地域福祉活動計画（2019年度～2023年度）」の〈第5章地域福祉活動計画を推進する組織基盤の強化〉に基づく黒部市社会福祉協議会の1期を3ヵ年とする事業計画

第1期事業計画	平成27年度(2015)～平成29年度(2017)
第2期	平成30年度(2018)～令和2年度(2020)
第3期	令和3年度(2021)～令和7年度(2023)
最終期	令和8年度(2024)～令和12年度(2026)

III 基本設計

令和2年度（2020年度）黒部市社会福祉協議会

予算編成方針 第2期基本計画（3ヵ年の1年目・2年目・**3年目**の位置づけ）

IV 事業計画

令和2年度（2020年度）黒部市社会福祉協議会

事業計画・予算 第2期基本計画（3ヵ年の1年目・2年目・**3年目**の単年）

I. 基本構想（法人の経営理念）

○社会福祉協議会が目指す社会（ビジョン）

経営方針やすべての事業計画は、

「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」

の推進を図るために行われるものとする。

○実現のための重点項目（ミッション）



重点3項目：第14回黒部市社会福祉大会決議に基づく

第14回黒部市社会福祉大会において、「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」を目指し、参加者一同の連携協働をもって推進するために次の事項の決議を行った。

1 人材育成の環境整備



地域福祉推進の要となる「人」に主眼を置き、地域の担い手、リーダーの育成を行い住民主体のまちづくりを目指す。また、地域課題解決のための専門職の資質向上と関係機関同士のネットワークづくりを進める。

2 地域福祉推進の場づくりと拠点整備



地域福祉推進のために、多様な団体が集い話し合いのできる場づくり、連携できる拠点整備の早期実現を目指す。さらに今ある機能の効率化、機能面の充実と共に、これからの地域課題解決の体制づくりを進める。

3 財源の確保

様々な課題解決に向け、公的な資金を活用した安定的なサービスを提供すると共に、市民の善意による募金や寄付、民間財源などを活かしながら地域ニーズに合った事業に取り組むため、黒部市全体の地域福祉推進を後押しする財源の確保を図る。

II 基本計画

基本構想並びに「第3次黒部市地域福祉活動計画（2019年度～2023年度）」の〈第5章地域福祉活動計画を推進する組織基盤の強化〉で目標とした5goalと15targetに基づく、黒部市社会福祉協議会の1期を3ヵ年とする事業計画

第2期基本計画（令和2年度3年目） 平成30年度～令和2年度（3ヵ年計画）

社会福祉協議会の定款に定められた経営の原則に基づき、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的、かつ適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともにその提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性を図る。そして、市民に対してのサポート（支援）と組織・団体をつなぐプラットフォーム機能の充実を進めていく。

1 人材育成・組織強化の環境整備

活動の主体となる人を育て、組織を強くする。

地域福祉推進の要となる「人」に主眼を置き、地域の担い手、リーダーの育成を行い住民主体のまちづくりを目指す。また、地域課題解決のための専門職の資質向上と関係機関同士のネットワークづくりを進める。



2 地域福祉推進の場づくりと拠点整備

集える場、連携できる拠点整備と体制づくりを進める。

地域福祉推進のために、多様な団体が集い話し合いのできる場づくりと連携できる拠点「(仮称)新総合福祉会館」建設の早期実現を目指す。さらに今ある機能の効率化、機能面の充実と共に、これからの地域課題解決の体制づくりを進める。



3 財源の確保

市の財政的支援は基より、自ら資金確保に努める。

様々な課題解決に向け、公的な資金を活用した安定的なサービスを提供すると共に、市民の善意による募金や寄付、民間財源などを活かしながら地域ニーズに合った事業に取り組むため、黒部市全体の地域福祉推進を後押しする財源の確保を図る。

Ⅲ.IV 基本設計・事業計画

令和2年度（2020年度）社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 基本設計・事業計画

第2期3ヵ年（1年目・2年目・3年目）

黒部市社会福祉協議会は、個人の尊厳保持と自立支援を基本理念とする福祉サービスを提供し「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」を実現するため、次の事項を地域の住民及び関係団体の参画と協働をもって、平成30年度（2019年度）から第2期3ヵ年の計画を順次、段階的に実施し、2026年度までに達成することを目標とする。（基本計画に基づく）

I 人材育成・組織強化の環境整備

活動の主体となる人を育て、組織を強くする。

1 黒部市社会福祉協議会の基盤強化計画の推進

社会情勢や福祉政策の動向を見極めながら、黒部市社会福祉協議会としての使命を明確にし、長期（10年）、中期（5年）、短期（3年）の目標設定となる基盤強化計画とその進捗状況の確認と修正をチェックする体制を構築する。

2 小地域福祉活動の中核となる地区社会福祉協議会の基盤強化

地区単位で行われる自助・共助の力を最大限に活かした地域づくりを推進していくために、その活動の中核的役割を担う地区社会福祉協議会の基盤強化を図る。また、各地区へ住民座談会や地域アセスメントを実施し、将来的に地区ごとの小地域福祉活動計画の策定につなげていく。



3 シンクタンク機能の強化（継続発展）

地域福祉推進の中心となる社協の機能向上として、知識や情報を組織として蓄積し、その集まったものの分析と研究を行い、より効果的に事業や施策を実施できる体制を構築し、専門機関としての機能を高めていく。



II 地域福祉推進の場づくりと拠点整備

集える場、連携できる拠点整備と体制づくりを進める。

1 話し合いの場づくり（継続強化）

地域福祉推進や地域課題解決のために、多様な団体が集い話し合いのできる場づくり（マルチステークホルダープロセス）を様々な場面でつくり出す。



2 第3次黒部市地域福祉活動計画の推進（5ヵ年計画）

多様な組織、団体と連携・協働し策定した活動計画の評価、推進を図る委員会の設置や、地区ごとの小地域福祉活動計画整備に向けての体制づくりを行う。

3 活動拠点となる場の検討・調査・実施（継続発展）

地域福祉推進のために必要な拠点整備の必要性和地域の現状調査を継続的に進め、市社会福祉大会での決議や行政に対して建設要望していくとともに、必要なソフト事業についても検討と実施を行う。

III 財源の確保

市の財政的支援は基より、自ら資金確保に努める。

1 市民活動への資金供給（継続強化）

ボランティア活動や非営利活動の身近な財源となる赤い羽根共同募金を活用し、市民活動の財源を供給し団体の活動を活性化していく。そのための資金調達の強化や資金循環の仕組みを市民に可視化し、「自分たちの町を自分たちで良くしていく」意識を浸透させていく。



2 先駆的事業への投資（継続強化）

国、県、または民間の助成金やモデル事業などの活用や社協の自主財源を投入し、先駆的事業への取り組みも積極的に行い、制度の狭間にある課題の解決を図る。また、そのための自主財源の確保について、会費制度や寄付を効果的に活用し、共感から寄付へつなぐしくみを構築していく。



令和2年度（2020年度）重点事業

1 「くろベネット」を中心とした包括的な見守り体制推進事業

基本設計との関連：【地域福祉推進の場づくり】

【集える場、連携できる体制づくり】



本会の事業の中心に「くろベネット」を位置付けし、担い手の育成、活動の体制、様々な地域資源の活用などを多角的に検討し、包括的な見守り体制を整備していく必要がある。この事業では、平成30年度に策定した3カ年の「くろベネット推進計画」を基に、市全域、地区単位での包括的な見守りの体制を推進し、個別支援から地域づくりまでの幅広い事業とも連動した包括的な地域の支え合い体制を構築していく。

また、第2次黒部市総合振興計画にも記載されている重要事業として、行政や関係機関との連携をより一層の強化を図る。

なお、昨年度に実施したICT利活用実証実験については、将来的な事業化に向けての実証世帯拡大と効果検証の実施を行い、支援者がより支援しやすい体制づくりを図る。

○具体的事業

- ・くろベネット運営委員会の開催
- ・広報、PR活動による認知度UP
- ・企業との連携による活動推進
- ・くろベネットICT利活用実証実験（拡大継続）

○予算 2,280,000円（前年度比+300,000円）

財源：黒部市補助金 1,700,000円（前年度比0円） 自主財源 580,000円

くろベネット体制整地区補助 1,000,000円（継続）

事業推進研修会/定期事例検討会 230,000円（継続）

PR・広報ツール作成費 200,000円（継続）

運営委員会設置費 50,000円（継続）

企業との連携協働 50,000円（継続）

モデル地区活動支援費 150,000円（継続）

①くろベネットICT利活用実証実験 600,000円（新規）※予算化は新規

※くろベネット推進事業計画に基づき事業を進めていく。

2 小地域福祉活動の強化



基本設計との関連：【市社会福祉協議会の基盤強化計画の推進】

【小地域福祉活動の中核となる地区社協の基盤強化】

地区単位で行われる自助・共助の力を最大限に活かした地域づくりを推進していくために、その活動の中核的役割を担う地区社会福祉協議会の基盤強化を図る。令和元年度に一般財団法人CSOネットワークと協働で実施する地域診断調査と地域単位で行われている事業の現状調査などを組み合わせながら地域との話し合い（対話）の場づくりを行い、緩やかに地域福祉活動事業のリフォームを行っていく小地域福祉活動リフォーム事業をモデル地区で実施した内容を基に、3年度以降は検証を踏まえ、社協職員の地区担当制の本格的な導入とともに全地区へ広めていく。また小地域福祉活動の支援のあり方として「コミュニティサポートプログラム（CSP）の体系化」によりまとめていく。

○具体的事業

・モデル地区での伴走型支援による地域福祉活動のリフォーム（大布施地区は継続・新規1地区予定）

・小地域福祉活動支援の在り方の研究（コミュニティサポートプログラムの開発）

○予算 400,000 円+α

財源：黒部市補助金 200,000 円（シンクタンク事業内での予算組み替え）

市社協自主財源 200,000 円

内訳：調査経費、会議費、アドバイザー派遣費、印刷製本費等

未確定予算：富山県社協助成金 200,000 円（モデル事業）※令和2年度初めに申請

※モデル地区2地区（大布施地区は継続）を選定し伴走型の支援を行う。検証を踏まえ地区担当制の本格的な導入とともに全地区へ広めていく。

○その他の関連事業

・相談事業では、地区単位での身近な相談窓口の開設、体制整備について検討を進め令和2年度に4地区での開設を目指す。

・小地域福祉活動の活性化を目指し、くろべミニサミットを毎年1地区で開催を行う。

3 地域福祉分野での ICT 利活用



基本設計との関連：【先駆的事業への投資】

ICT の利活用については、平成29年度より調査研究を行ってきた。その結

果に基づき、地域福祉分野での利活用とその活動基盤となる法人内部への利活用を実験的に行い、その効果を検証し、これからの ICT 利活用の方向性を定めていく。また、その事業を調査研究していくための場づくりを行うと共に令和 2 年度からの地域福祉分野における ICT 利活用推進計画（3 ヶ年）に基づき計画的な推進を図っていく。

○具体的事業

- ・地域住民、福祉関係団体等の ICT リテラシー向上のためのセミナーやフォーラム
- ・ボランティア団体の立ち上げ支援
- ・新たな相談体制の構築、WEB を通じての相談支援「くろべふくし知恵袋」の運用
- ・地域福祉分野における ICT 利活用連携協定（国立研究開発法人情報通信研究機構・株式会社日新システムズ）による調査研究事業
- ・社内/社外コミュニケーションのサポート、働き方改革、社協事業での地区や企業との連携事業、個人情報保護や情報管理体制の強化を図るためのビジネスチャット「LINEWORKS」の活用

○予算 2,000,000 円（拡充）

- 財源：黒部市補助金 200,000 円（シンクタンク事業内での予算組み替え）
市社協自主財源 1,800,000 円
- 内訳：講師謝金、業務委託費、研修にかかる経費等

4 ㊦第 3 次黒部市地域福祉活動計画「5goals for 黒部」の推進評価

基本設計との関連：【地域福祉推進の場づくり】

【集える場、連携できる体制づく



活動計画策定後に計画の推進と評価体制を整備していくことを目的に、次期計画策定までの期間を継続的に進めていく。推進評価委員会の設置や WEB 上での地域課題や活動の可視化、参加のプラットフォームなどを構築していく。

○具体的事業

- ・推進評価委員会の設置
- ・「5goals for 黒部」PR 広報強化
- ・WEB サイトでの可視化、参加のプラットフォーム構築
（CSO ネットワークとの連携 ※民間助成金の活用も検討）

○予算 600,000 円（新規）

- 財源：黒部市補助金 100,000 円（シンクタンク事業内での予算組み替え）
市社協自主財源 500,000 円
- 内訳：講師謝金、業務委託費、印刷製本費にかかる経費等

第3次黒部市地域福祉活動計画の推進と

黒部市社会福祉協議会実施事業の関連性について

1 第3次黒部市地域福祉活動計画の推進と関連性

本会は、黒部市の地域福祉の推進を図る中核的組織として、第3次黒部市地域福祉活動計画の推進と共に、黒部市の様々な福祉関係団体と連携協働を行いこの計画のPDCAサイクルを回していく存在である。

また、黒部市の社会福祉法人として、本会の実施計画にも反映し、各事業が活動計画のどの部分に関連があるかを明らかにして取り組む必要がある。

2 具体的な実施事業

(1) 市社会福祉協議会事業計画への反映

- ・既存事業ごとの関連性の確認
- ・新規事業の企画立案
- ・事業計画書へのマーキング（5goalのロゴを付ける）

(2) 第3次黒部市地域福祉活動計画推進評価委員会の設置

- ・推進評価を行うための体制として委員会を設置
- ・福祉関係団体及び地域福祉活動者への周知と啓発

(3) 第3次黒部市地域福祉活動計画に掲げる重点事業の推進

本会の重点事業と同じく黒部市全体で推進を図る3つの事業の取り組み

- ・くろベネット
誰もが安心して暮らせる包括的な見守りの強化
- ・地域福祉分野でのICTの利活用
ICTを利活用した地域福祉事業の効率化、発展的な継続
- ・小地域福祉活動の強化
それぞれの地域特性に対応した福祉推進の計画づくり

黒部の福祉を良くする活動計画

Kurobe Social Welfare Action Plan

2019年度 - 2023年度



黒部の福祉を良くする活動計画

Kurobe Social Welfare Action Plan

2019年度 — 2023年度



この活動計画は、「お互いさまの社会の実現」を目指し民間の福祉活動団体や活動者が、ここから5年間、何を目標（ゴール）にどんなこと（ターゲット）に力を入れて取り組んでいくのかを示すものです。なお、本計画は「第3次黒部市地域福祉活動計画」をわかりやすくまとめたものです。

作成：第3次黒部市地域福祉活動計画策定委員会 事務局：社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

第3次黒部市地域福祉活動計画概要版「黒部の福祉を良くする活動計画」②



Kurobe Social Welfare Action Plan
黒部の福祉を良くする活動計画

Vision

お互いさまの社会の実現に向けて

Mission

誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくりの推進

地域福祉に関わる全ての団体や人々と共に目指す5の目標と15の取り組み



活動人口を増やそう

黒部市人口ビジョン(2015年策定)では、今後の人口は減少し、一方で高齢者の増加が見込まれます。そのような中で、地域活動を発展的または、維持していくためには、一人ひとりが2役、3役と様々な「出番と役割」を持つ必要があります。地域活動に参加する機会を増やし、人口減に反比例するように活動人口(地域活動に参加する人)を増加させていくことを目指します。

は、維持していくためには、一人ひとりが2役、3役と様々な「出番と役割」を持つ必要があります。地域活動に参加する機会を増やし、人口減に反比例するように活動人口(地域活動に参加する人)を増加させていくことを目指します。

地域で活動する人を増やし 地域の担い手を育てる

- 1 小さな地域で出番を増やす
- 2 住民主体の意識を育てる
- 3 世代間交流事業に取り組む



話すことから はじめよう

人と人とのつながり、信頼関係を構築するためには、知る場、学ぶ場、話し合う場、そして当事者同士が支え合う場づくりが必要です。話し合い、相互理解、情報を共有することから、新たな手立てが導き出され、それが行動促進へつながります。地域のこれからを自分たちで考える対話の場づくりを増やし、住民主体のまちづくりを目指します。

話し合い、相互理解、情報を共有することから、新たな手立てが導き出され、それが行動促進へつながります。地域のこれからを自分たちで考える対話の場づくりを増やし、住民主体のまちづくりを目指します。

話し合う場、学び合う場、 支え合う場をつくる

- 1 市内で学び合う場をつくる
- 2 新しい話し合いの場をつくる
- 3 ICTを活用した「知る・学ぶ・つながる」場をつくる



ICT(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)……情報通信技術の略。パソコンやスマートフォン、スマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

第3次黒部市地域福祉活動計画概要版「黒部の福祉を良くする活動計画」③

3



すべての
人々に福祉を

誰もが安心して地域で生活していくことができる地域共生社会を実現するためには、「お互いさまの助けあい」の心を育てていく必要があります。また、声なき声を拾い、時代の変化と共に生まれ続けるマイノリティーな立場にある人々を「誰ひとり取り残さない」の精神のもと支えていく社会の実現を目指します。

マイノリティー……社会的少数者または社会的少数集団。社会的少数派とは、その社会の権力関係において、その属性が少数派に位置する者の立場やその集団を指す。

誰もが安心して暮らせる
社会的孤立の無い
地域をつくる

- 1 「お互いさまの支え合い」を実現する
- 2 「声が届く地域、声を見つける地域」を目指す
- 3 小地域単位での地域課題解決力を高める

4



U-40代の
力を活かそう

地域を支える支援者の高齢化が深刻な課題として上げられている中、次世代に引き継ぐしくみとして、地域での話し合いの場面において若者の声を意識して入れていく必要があります。人生100年時代を見据えて、40代以下が地域づくりに関心を持つ機会をつくり出し、参加する場を提供することで次世代の社会参加を促すことを目指します。

U-40代(アンダー40代)……「U(ユー)」はアンダー(under)の漢文字で、「下の」、「下に」を意味する。この場合は49歳以下を指す。

U-40代に
地域福祉への関わりや
参加の機会を増やす

- 1 小中高生の福祉に触れ合う機会を増やす
- 2 10代、20代、30代、40代の声を入れる
- 3 全世代で福祉体験教育に取り組む

5



パートナー
シップで目標を
達成しよう

複雑多様化する地域課題を解決していくためには、それぞれの強みや利害を明確に連携協働していくことが必要不可欠です。異業種や異分野でつながる多職種の間づくりや市内16地区間での連携体制の強化を目指します。

パートナーシップ……協力関係、共同、連携。
プラットフォーム……動かすために必要な、土台となる環境、土台となっているもの。
コラボレーション……共に働く、協力するという意味で、共演、合作、共同作業、利他的協力を指す語である。

様々な連携・共同で
地域課題を
解決していく力をつける

- 1 つなぐプラットフォームを整備する
- 2 異業種／異分野が
コラボレーションする場づくり
- 3 地区間での助け合い、連携を強化する

第3次黒部市地域福祉活動計画概要版「黒部の福祉を良くする活動計画」④
 (黒部市社会福祉協議会の重点事業と整合性)



Kurobe Social Welfare Action Plan
 黒部の福祉を良くする活動計画

私たちが取り組む 3つの重点事業 [5カ年推進]

くろベネット

誰もが安心して暮らせる包括的な見守り支援体制の強化

「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」の実現のために、ご近所や地域単位での普段の見守りを大切にしながら、黒部市全域で住民と企業や行政、専門職などが連携することで市民総参加の地域共生社会の実現に取り組んでいきます。



地域福祉分野でのICTの利活用

ICTを活用した地域福祉事業の効率化、発展的な継続

人口減少や福祉の担い手不足、複雑多様化する地域課題に対して、ICTの力を活用することにより、効率や利便性を高め、福祉活動支援者の環境や活動を間接的に支援し、地域福祉推進力を強化していきます。



小地域福祉活動の強化

それぞれの地域特性に対応した地域福祉推進の計画づくり

黒部市全体を考えながらも、それぞれの小地域(16地区)の地域特性や実情にあった活動や事業を考えることが必要です。地域単位で調べ、考え、話し合う機会をつくり「自分たちの地域を自分たちで良くしていく」住民主体の活動をつくりだします。



PDCAサイクルで
ビジョンを実現しよう



この詳細は、黒部市社会福祉協議会のホームページ(<http://www.kurobesw.com/>)「第3次黒部市地域福祉活動計画」からダウンロードできます。

[編集・発行] 第3次黒部市地域福祉活動計画策定委員会 事務局：社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会
 〒938-0022 富山県黒部市金屋464-1 TEL.0765-54-1082(代表) FAX.0765-52-2797

黒部市社会福祉協議会
ホームページ



令和2年度（2020年度）社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

実施事業計画

総務課

地域福祉推進を図る中核的組織としての基盤強化を更に図り先駆的な事業にも取り組んでいく。また職員一人ひとりがやりがいをもって働ける職場環境の充実を目指していく。

1 経営戦略

法人全体の横断的な事業の企画立案と内部での調整を円滑に行う。また ICT の利活用など将来を見据えた先駆的な事業を進めていく。

(1) 経営戦略会議の開催

理事会、評議員会、運営協議会、部会、専門委員会、法人内の連携調整

(2) 法人内の連携会議の開催（体制強化）

(3) シンクタンク（調査・研究）の設置並びに強化

(4) 黒部市社会福祉法人連合会による地域での公益的な活動の推進

(5) 地域福祉分野と法人内部への ICT 利活用の実証実験と運用

(6) 第3次黒部市地域福祉活動計画の推進と評価委員会の設置

(7) 黒部市社会福祉協議会経営戦略計画の整備（重点事業計画の整備）

(8) 小地域福祉活動強化のための CSP（コミュニティーサポートプログラム）の開発



2 法人運営

事業の多様性や専門性が求められるのに伴い、それに対処できる人材の育成、柔軟な対応等により、円滑かつ迅速な法人運営を行えるようにする。

(1) 広報誌「福祉くるべ」「災害マニュアル」の発行

(2) 黒部市社会福祉大会の開催

(3) 黒部善意銀行との連携事業

(4) 関係機関との事業交流、人事交流の推進



- (5) 職員の資質向上（資格の取得、研修プログラムの体系化）
- (6) 会員サポート事業（会員拡充）
- (7) 法人の経営基盤強化
- (8) 労働環境の整備
 - ・年間有給休暇 5 日間取得の推進
 - ・「同一労働同一賃金」移行化の準備
- (9) (仮称) 新黒部市総合福祉会館の建設に向けての要望と調整



施設運営班

黒部市民の健康や生きがい、仲間づくりを目的に施設の利用の向上を図るとともに、耐用年数に伴う施設整備の更新を順次行い、施設の管理運営を行う。

3 施設運営

施設において介護予防活動などを行い、施設利用者の向上を図り、施設整備においては耐用年数に応じ老朽化設備の順次更新を行う。

- (1) 黒部市福祉センターの運営
- (2) 黒部市宇奈月老人福祉センターの指定管理（平成 31(2019)年～2023 年）



地域福祉課

住民一人ひとりを支える個別支援体制の強化と地区社会福祉協議会を中心とした住民主体のまちづくりを推進する。

4 生活支援

地域課題解決のための包括的な支援体制づくりを推進すると共に、個人の基本的な人権を尊重し寄り添いながら自立支援を行う。

- (1) 地域総合福祉活動・ふれあい型事業・ケアネット型事業の推進
- (2) 総合相談センター事業の推進
- (3) 生活福祉資金貸付事業の推進
- (4) 日常生活自立支援事業の推進



- (5) 地域ケア会議への参画
- (6) 生活困窮者自立支援事業の推進



5 地域支援

地区社会福祉協議会を中心とした地域づくりの推進を図るために職員の派遣や各種研修会を行う。また地域の担い手となる人材育成やボランティア活動の推進を図る。

- (1) 地区社会福祉協議会への伴走型支援
- (2) 地区社会福祉協議会事業への職員派遣及び研修会の開催
- (3) 「くろベミニサミット」の開催
- (4) ボランティア活動の推進



- ・ ボランティア団体の育成と組織化の推進
- ・ 児童生徒のボランティア活動の普及と福祉教育の推進
- ・ 災害ボランティア活動の推進
- ・ ボランティア養成研修会の開催



- (5) 介護予防教室の開催
- (6) 高齢者の生きがいと健康づくり事業の推進
- (7) 介護予防活動普及員設置事業・元気はつらつ体操教室事業の推進
- (8) 黒部市共同募金委員会との連携事業
- (9) 黒部市民生委員児童委員協議会との連携事業
- (10) 福祉団体の育成



6 共生推進

「くろベネット」を中心とした包括的支援体制構築のためのネットワークづくりと意識づくりを進め、共生社会の実現を目指す。また地域包括ケアシステムや国が将来的に実施する「我が事、丸ごと」事業（厚生労働省）について研究を進めていく。

- (1) 「くろベネット」事業の推進（くろベネット事業推進計画：3カ年）
- (2) くろベネット定期事例検討会の実施（法テラス魚津との連携事業）



(3) ⑧くろべ ICT 利活用実証実験の実施



(4) 避難行動要援護者地図情報事業の実施



地域包括支援班

7 地域包括支援センター

医療・介護・福祉の専門職がそれぞれの視点を活かし、地域住民の多様なニーズに対応するために、多職種との連携・協働を図りながら、総合的な支援を行う。

(1) 黒部市東部地域包括支援センターの運営



- ・総合相談支援業務
- ・包括的・継続的ケアマネジメント業務
- ・虐待防止・早期発見等権利擁護業務
- ・介護予防ケアマネジメント業務

(2) 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み



- ・市や関係機関との連携の推進
- ・地域ケア会議の開催
- ・地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員等との連携
- ・医療と介護の連携推進（ICT 利活用「あんしん在宅ネットにいかわ Net4U」）

(3) 認知症施策推進に向けた取り組み

- ・認知症初期集中支援の実施
- ・認知症サポーター養成講座開催など認知症に対する正しい知識や認知症予防に関する啓発活動



在宅福祉課

介護を必要としている方やその家族が豊かな在宅生活を送れるように支援し、介護サービスを提供できる介護職員の質の向上を図る。また将来につなぐ新たな人材確保と育成、更に ICT を活用し、多職種との連携を積極的に図りながら

在宅介護の推進に取り組む。



8 居宅介護支援

介護と医療の連携を強化し、地域資源の有効活用ができるよう、情報収集に努め、質の高いケアマネジメントができるよう、3人体制にて特定事業所加算Ⅲを取得し、専門職としての資の向上を図る。

- (1) 介護保険ケアマネジメント事業
- (2) 介護予防ケアマネジメント委託事業
- (3) ICT 利活用（「あんしん在宅ネットにいかわ Net 4 U」、「LINEWORKS」）



9 居宅訪問介護

特定事業所加算Ⅱの取得により、介護職員の研修体制の拡充を図り質の向上に努め、さらに事務効率化により業務改善を図る。

- (1) 介護保険事業
- (2) 障害者総合支援事業
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業
- (4) 総合事業訪問型サービスA事業
- (5) ファミリーサービス事業
- (6) ICT 利活用（「あんしん在宅ネットにいかわ Net 4 U」、「LINEWORKS」）



10 在宅福祉

子供から高齢者まで車椅子等の日常生活用具の必要な方に器具を貸出し、利用者および家族の在宅生活支援の充実を図る。

- (1) 日常生活用具貸出事業
- (2) 介護保険請求業務

内部プロジェクトチーム（PT）の設置

内部 PT は、横断的な事業や法人全体として検討する事業等について必要に応じ、期間とメンバーを定め設置する。

1 介護保険事業に関する PT

期間：平成 29 年 5 月～継続 4 年目

内容：人材確保、経営体制、業務効率改善の ICT 利活用

構成：事務局長、在宅福祉課 3 名、総務課 2 名、地域福祉課 1 名

2 第 3 次黒部市地域福祉活動計画推進評価 PT

期間：平成 31（2019）年 3 月～継続 2 年目

内容：計画推進と評価について検討を進める

構成：事務局長、総務課経営戦略係、地域福祉課を中心に構成予定

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会
令和元年度 シンクタンク事業調査報告書

発 行 令和2年3月

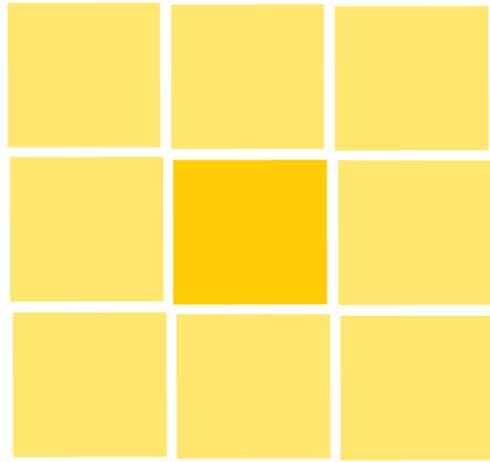
編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp



 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会